

## 第4章 施設分類ごとの個別施設計画

### 1. 地域活性化施設

表 4-1 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
駅前交流センター	本館	平成25年12月(2013.12)	12	13	—	1,441.10	RC	I a
大富士交流センター	本館	平成27年 6月(2015. 6)	10	2	—	1,314.09	RC+S	I a
富丘交流センター	本館	令和 3年 3月(2021. 3)	5	2	—	1,122.02	S	I a
富士根交流センター	本館	令和 7年12月(2025.12)	1	2	—	1,169.54	S	I a
柚野の里活性化施設	集会場	平成23年 6月(2011. 6)	14	1	—	236.64	W	I a
(旧) 富士根南公民館	本館	平成 2年 3月(1990. 3)	36	2	—	653.44	RC	I a

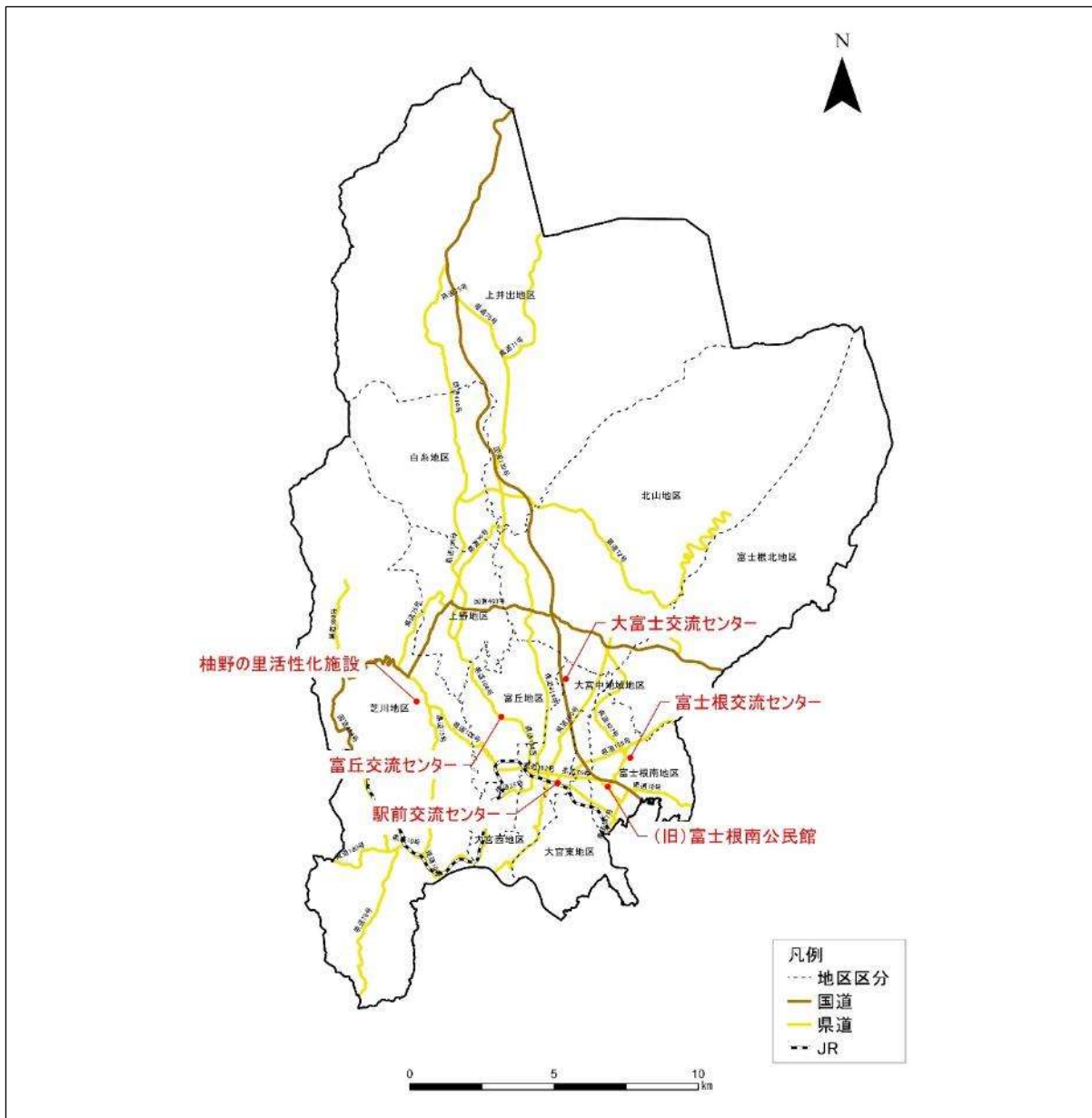


図 4-1 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-2 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
駅前交流センター	本館	A	A	C	A	-	-	A	A	A	A	-	A	-	A	-	A	-
大富士交流センター	本館	A	A	C	A	-	-	A	A	A	A	-	A	-	A	-	A	-
富丘交流センター	本館	令和2年度竣工のため未実施																
富士根交流センター	本館	令和7年度竣工のため未実施																
柚野の里活性化施設	集会場	A	A	C	A	-	-	A	A	-	-	-	A	-	-	-	A	-
(旧)富士根南公民館	本館	平成30年度長寿命化改修実施のため未実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
駅前交流センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後12年が経過しています。</li> <li>・ 運営は指定管理者により行われています。</li> <li>・ 民間の共同住宅(マンション)の1階・2階部分(市所有)を施設として利用しています。</li> <li>・ 改修や修繕は、国土交通省の基準をもとに策定され、管理組合で承認された長期修繕計画に基づき行われる予定であり、市も持分に応じた修繕積立金を負担しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の緊急避難場所に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な緊急避難場所機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
大富士交流センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後10年が経過しています。</li> <li>・ 運営は指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標(立地特性、年間収支状況、施設利用率)

施設名称	現状と課題	
富丘交流センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 5 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～1.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
富士根交流センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 7（2025）年度に建築されました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の地区本部に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な地区本部機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
柚野の里 活性化施設	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 14 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡県による「柚野の里地区」整備事業の拠点施設として整備され、県からの移譲を受けた施設です。そのため、施設の再編を検討する場合は、耐用年数及び利用目的に制約があることを考慮する必要があります。</li> </ul>
(旧) 富士根南 公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 36 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30（2018）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～1.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
駅前交流センター	本館	令和4年度LED化改修	—	—	—
大富士交流センター	本館	—	—	—	—
富丘交流センター	本館	—	—	—	—
富士根交流センター	本館	—	—	—	—
柚野の里活性化施設	集会場	—	—	—	—
(旧)富士根南公民館	本館	平成30年度長寿命化改修 (建築・機械)	改修 70,000千円	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
駅前交流センター	1,441.10			多機能化、集約化を検討	→
大富士交流センター	1,314.09			多機能化、集約化を検討	→
富丘交流センター	1,122.02			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～1.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討 多機能化、集約化を検討	→
富士根交流センター	1,169.54			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満)のため、施設の浸水対策について検討	→
柚野の里活性化施設	236.64				→
(旧) 富士根南公民館	653.44		用途変更及び多機能化改修を実施	敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～1.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	→

凡例) 適切な維持管理の実施 : →

## 2. 社会教育施設

表 4-3 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
南部公民館	公民館	昭和58年 6月(1983. 6)	42	2	—	601.95	RC	I a
西公民館	公民館	平成 9年 3月(1997. 3)	29	2	—	935.94	RC	I a
富士根北公民館	公民館	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	604.28	RC	I a
芝川公民館	公民館	平成17年 1月(2005. 1)	21	2	1	2,245.82	RC	I a
柚野公民館	公民館	昭和49年 1月(1974. 1)	52	2	—	388.09	RC	I a
	別館	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	221.00	S	I a
芝川公民館内房分館	公民館	昭和56年 1月(1981. 1)	45	2	—	343.84	RC	I a
富士宮市立中央図書館	図書館	昭和64年 1月(1989. 1)	37	2	1	3,802.06	RC	I a
富士宮市立西富士図書館	図書館	平成 5年 2月(1993. 2)	33	1	—	622.55	S	I a
市民文化会館	会館	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	1	8,252.72	SRC	III
埋蔵文化財センター	本館	平成 7年 1月(1995. 1)	31	1	—	1,372.85	RC	I a
郷土資料館内房収蔵庫	倉庫	昭和56年 3月(1981. 3)	45	1	—	253.90	S	未診断

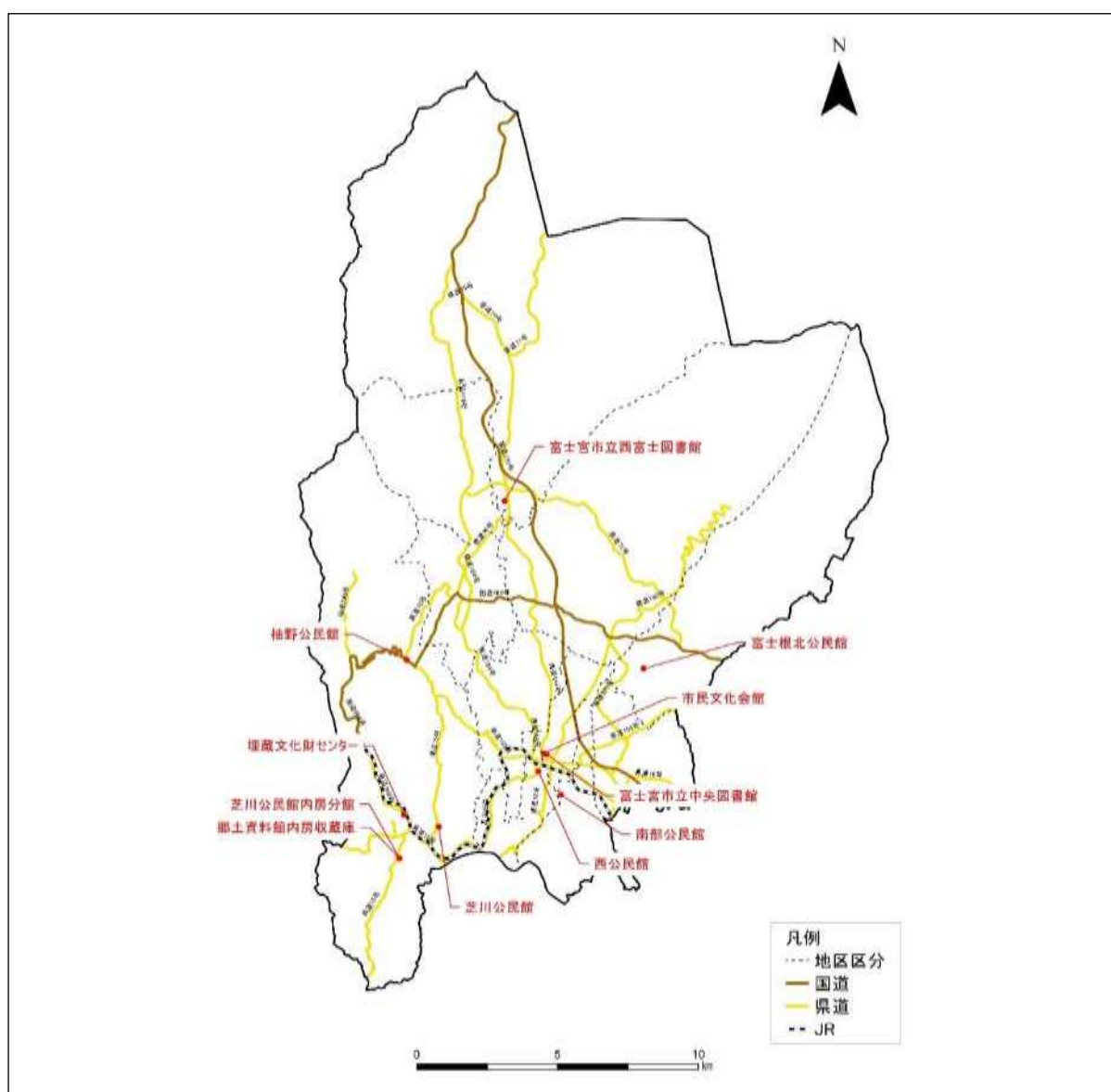


図 4-2 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

(ア) 劣化状況調査結果

表 4-4 施設の劣化状況調査結果（公民館、図書館）

施設名称	棟名称	建築				電気						機械						
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
南部公民館	公民館	令和2年度及び令和7年度長寿命化改修実施																
西公民館	公民館	令和6年度長寿命化改修実施																
富士根北公民館	公民館	C	B	D	A	-	-	E	E	-	B	-	A	-	-	-	B	-
芝川公民館	公民館	C	C	E	D	-	-	A	A	A	A	-	B	B	A	B	B	B
柚野公民館	公民館	令和元年度長寿命化改修実施のため未実施																
	倉庫	C	E	D	-	-	-	A	A	-	-	-	-	-	-	-	A	-
芝川公民館内房分館	公民館	B	A	E	-	-	-	E	A	-	-	-	A	-	-	-	D	-
富士宮市立中央図書館	図書館	令和3・4年度長寿命化改修実施																
富士宮市立西富士図書館	図書館	令和5年度長寿命化改修実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

表 4-5 施設の劣化状況調査結果（文化施設）

施設名称	棟名称	建築				電気設備	機械設備
		構造部	屋根	外壁	内部		
市民文化会館	会館	D	C	B	C	B	B
埋蔵文化センター	本館	A	B	B	C	B	C
郷土資料館内房収蔵庫	倉庫	B	B	C	D	C	C

注3) 「富士宮市文化施設個別施設計画（令和3(2021)年3月策定）」における劣化状況調査による。A~Dの4段階で評価。

(イ) 構造躯体の健全性調査結果

表 4-6 構造躯体の健全性調査結果 (公民館)

施設名称	棟名称	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	中性化深さ(mm)				鉄筋かぶり厚(mm)				
			箇所	筒元※		筒先※		柱頭		柱脚	
		平均		最大	平均	最大	平均	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況
柚野公民館	公民館	33.1	①	4.0	1.8	3.5	2.4	73	A	61	A
			②	9.5	6.3	16.5	14.9				
芝川公民館内房分館	公民館	36.9	①	3.0	2.4	20.5	16.8	44	A	65	A
			②	全面	全面	全面	全面				

注) 基準値は P. 6 参照

※ 筒元：室外側、筒先：室内側

(柚野公民館)

- ・コンクリート圧縮強度、中性化深さ及び鉄筋のかぶり厚ともに基準値内です。

(芝川公民館内房分館)

- ・コンクリート圧縮強度、鉄筋のかぶり厚については基準値内です。中性化深さについては、1ヶ所、全面的に中性化しています。

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
南部公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2 (2020) 年度及び令和 7 (2025) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の地区本部に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な地区本部機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
西公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 29 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 6 (2024) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の地区本部に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な地区本部機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m～3.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
富士根北公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 41 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
芝川公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 21 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 7 (2025) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の緊急避難場所に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な緊急避難場所機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
柚野公民館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 41～52 年が経過しています。</li> <li>・ 令和元（2019）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> </ul>
芝川公民館内房分館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30（2018）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 3.0m～5.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
富士宮市立 中央図書館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 37 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2 (2021) 年度～令和 4 (2022) 年度にかけて長寿命化工事を実施しました。</li> <li>・ 土日の利用者が比較的多く、日によっては駐車スペースの確保が難しい状況です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場が不足しているため、多機能化を検討する際には、駐車場を含めた規模の適正化の検討が必要です。</li> <li>・ 図書館機能を有する交流センターの整備が進んでおり、今後は、交流センターの整備と併せて施設の適正な規模及び配置について検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の緊急避難場所に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な緊急避難場所機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士宮市立 西富士図書館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 33 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 5 (2023) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
市民文化会館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 6 (2024) 年度～令和 8 (2026) 年度にかけて耐震補強を含めたりリニューアル工事を実施中です。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場が不足しているため、施設の再編を検討する際には、建物だけではなく駐車場を含めた規模の適正化の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
埋蔵文化財センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 5.0m～10.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
郷土資料館 内房収蔵庫	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> <li>・ 機能については埋蔵文化財センターに移しており、現在は使用されていません。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup> (ハード) 及び機能<sup>※</sup> (ソフト) とともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 3.0m～5.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
南部公民館	公民館	令和2年度長寿命化改修 (建築)  令和7年度LED化改修  令和7年度長寿命化改修 (電気)	—	—	—
西公民館	公民館	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	長寿命化改修 (建築) 56,000千円	—
富士根北公民館	公民館	—	長寿命化改修 (建築・機械・電気) 97,000千円	—	—
芝川公民館	公民館	令和7年度長寿命化改修 (機械)	—	特定天井耐震改修 63,400千円  長寿命化改修実施設計 13,860千円	—
柚野公民館	公民館	令和元年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	倉庫	—	—	—	—
芝川公民館内房分館	公民館	平成30年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
富士宮市立 中央図書館	図書館	令和3年度長寿命化改修 (機械)  令和4年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)  令和4年度内部改修  令和5年度1階床改修	—	—	—
富士宮市立 西富士図書館	図書館	令和5年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
市民文化会館	会館	—	耐震補強、 長寿命化改修及び 環境改善工事 3,982,950千円  工事監理委託料 47,500千円	—	—
埋蔵文化財センター	本館	—	—	—	—
郷土資料館内房収蔵庫	倉庫	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
南部公民館	601.95			→	更新 多機能化
西公民館	935.94		長寿命化改修を実施		敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m～3.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討
富士根北公民館	604.28		長寿命化改修を実施	→	更新 多機能化
芝川公民館	2,245.82		天井耐震改修を実施 交流センター化を実施		
柚野公民館	609.09			更新 多機能化	敷地全体が土砂災害警戒区域内のため、施設の移転も含め検討
芝川公民館内房分館	343.84				更新 民間への移譲を検討 敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ3.0m～5.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討
富士宮市立中央図書館	3,802.06			→	
富士宮市立西富士図書館	622.55			→	
市民文化会館	8,252.72		耐震補強を含めたリニューアル工事を実施	→	更新 多機能化、集約化
埋蔵文化財センター	1,372.85				敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ5.0m～10.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討
郷土資料館内房収蔵庫	253.90		除却を検討		

凡例) 適切な維持管理の実施 : →

### 3. スポーツ施設

表 4-7 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士宮市民体育館	体育館	平成 1年12月(1989.12)	36	2	-	8,398.44	RC+S	I a
富士宮市民プール	管理棟	平成 3年 7月(1991. 7)	34	3	-	3,541.91	RC	I a
B&G海洋センター	体育館	昭和61年 4月(1986. 4)	39	2	-	1,716.17	RC+S	I a

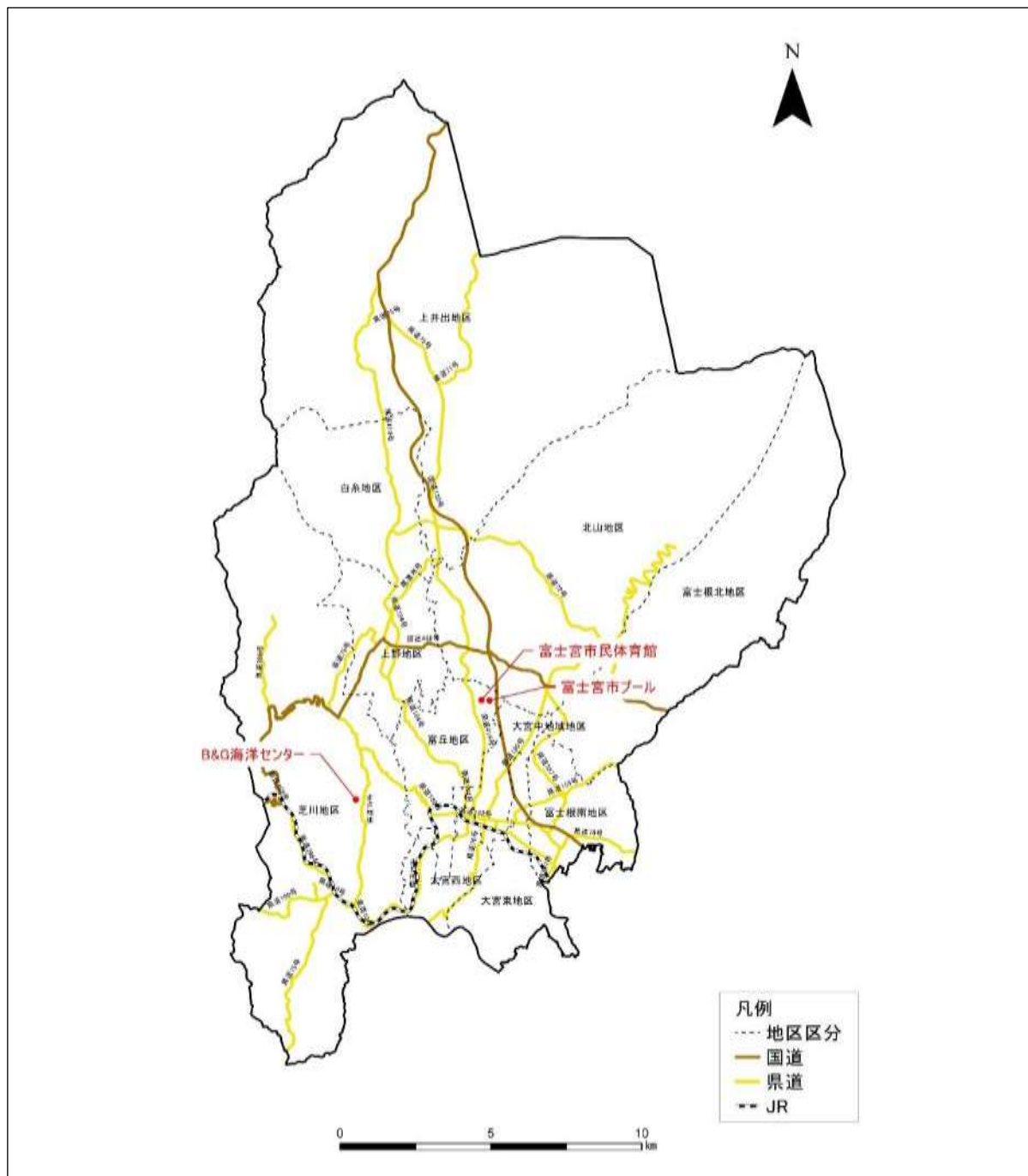


図 4-3 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-8 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	評価項目												
		漏水	屋根	外壁	内装	設備	室内環境	フロアー	水泳プール	特定天井	落下防止	災害対策	バリアフリー	その他
富士宮市民体育館	体育館	令和2・3年度長寿命化改修実施												
富士宮市民プール	管理棟	平成29年度長寿命化改修実施												
B&G海洋センター	体育館	A	A	B	B	B	A	B	—	—	—	A	C	—

注1) 「富士宮スポーツ施設ストック適正化計画(令和3(2021)年3月策定)」における健全度等の評価結果による。A～Dの4段階で評価。

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士宮市民体育館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 36 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2 (2020) ～令和 3 (2021) 年度にかけて長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の緊急避難場所に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な緊急避難場所機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士宮市民プール	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 34 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29 (2017) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
B&G 海洋センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 39 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満～1.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標(立地特性、年間収支状況、施設利用率)

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士宮市民体育館	体育館	平成29年度吊り天井改修 (建築・電気) 令和元年度トイレ改修 令和2年度長寿命化改修 (機械) 令和2・3年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
富士宮市民プール	管理棟	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械) 令和6年度屋内プール水槽 改修	—	—	—
B&G海洋センター	体育館	—	—	—	エアコン設置 100,415千円 LED化改修 16,512千円

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

### イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士宮市民体育館	8,398.44				→
富士宮市民プール	3,541.91				→
B&G海洋センター	1,716.17		長寿命化改修を 実施	敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～1.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	

凡例) 適切な維持管理の実施: →

#### 4. 観光・産業施設

表 4-9 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士山天母の湯	本館	平成10年 6月(1998. 6)	27	1	-	995.89	W	I a
道の駅朝霧高原	売店食堂・事務所	平成12年 2月(2000. 2)	26	2	-	697.72	S	I a
白糸の滝観光案内所	観光案内所・便所	平成25年 3月(2013. 3)	13	1	-	218.61	W	I b
新富士川温泉ユニー・トリオ	本館	平成 5年 1月(1993. 1)	33	1	-	450.75	W	I a
	温泉棟	平成29年 3月(2017. 3)	9	1	-	449.13	S	I a

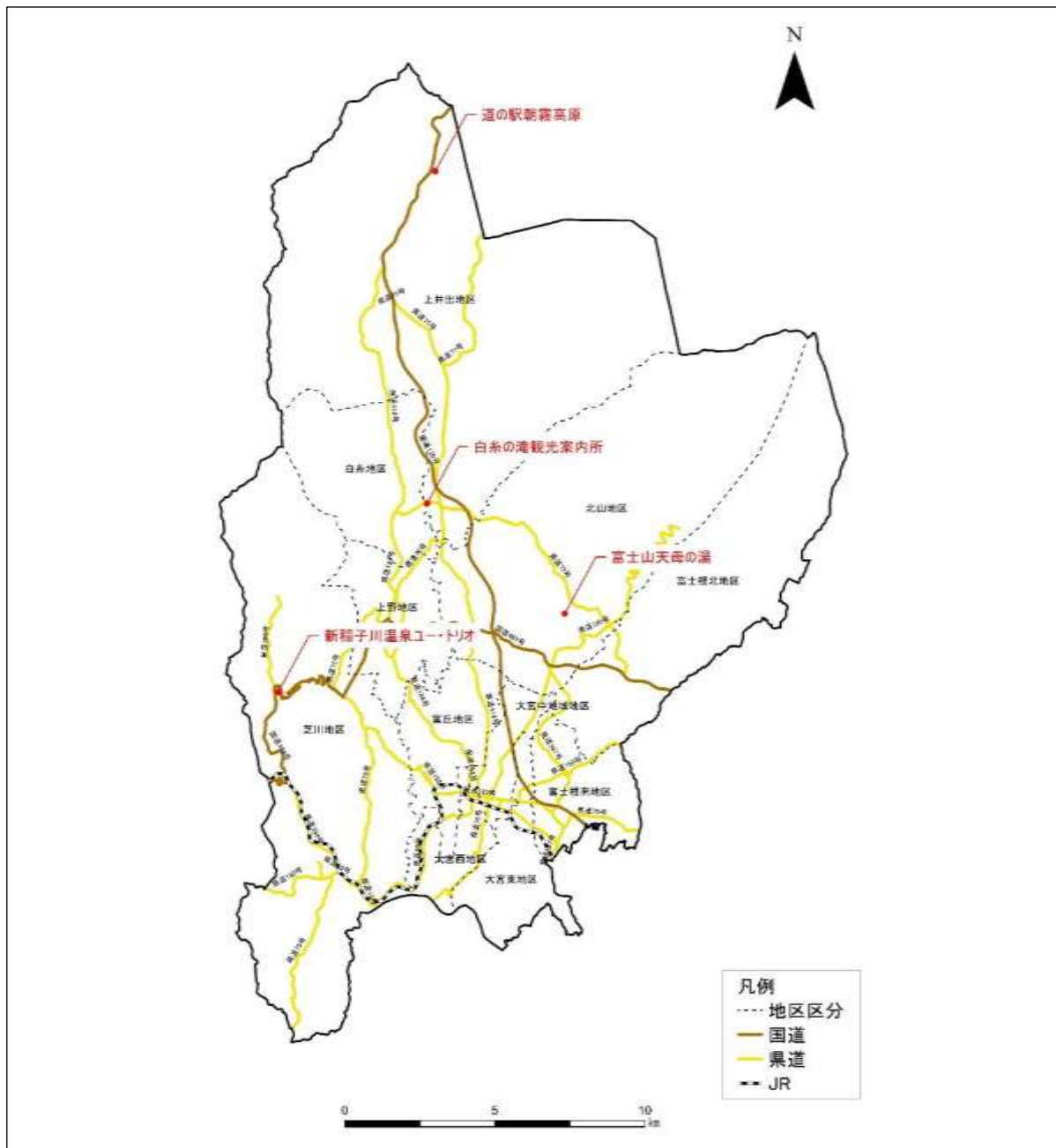


図 4-4 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-10 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気						機械						
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
富士山天母の湯	本館	B	B	D	D	-	-	E	E	-	A	-	E	E	-	-	E	-
道の駅朝霧高原	売店食堂・事務所	平成30年度長寿命化改修実施のため未実施																
白糸の滝観光案内所	観光案内所・便所	A	A	C	-	-	-	-	A	-	-	A	-	-	-	-	A	-
新稲子川温泉ユー・トリオ	本館	A	C	E	D	-	-	E	A	-	A	-	B	A	-	-	E	-
	温泉棟	A	A	C	A	-	A	A	E	-	A	-	A	A	-	-	A	A

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士山天母の湯	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 27 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29 (2017) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>*</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
道の駅朝霧高原	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 26 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30 (2018) 年度に長寿命化改修を、令和 5 (2023) 年度に増改築を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
白糸の滝観光案内所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 13 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～10.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
新稲子川温泉ユー・トリオ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 9～33 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～5.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士山天母の湯	本館	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
道の駅朝霧高原	売店食堂・事務所	平成30年度長寿命化改修 (建築・機械・電気) 令和5年度増改築	—	—	—
白糸の滝観光案内所	観光案内所・便所	—	—	—	—
新稲子川温泉 ユニー・トリオ	本館	—	—	—	—
	温泉プール棟	令和6年度解体	—	—	—
	温泉棟	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

### イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士山天母の湯	995.89		民間移譲を検討		
道の駅朝霧高原	794.90				→
白糸の滝観光案内所	218.61			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～10.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	
新稲子川温泉ユニー・トリオ	899.88			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～5.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	

凡例) 適切な維持管理の実施: →

## 5. 小学校

表 4-11 対象施設 (1/2)

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
東小学校	教室棟	昭和56年 3月(1981. 3)	45	4	—	1,884.62	RC	I a
	屋内運動場	昭和58年 2月(1983. 2)	43	1	—	795.70	S	I a
黒田小学校	教室棟(南)	昭和46年 3月(1971. 3)	55	3	—	1,693.00	RC	I b
	管理教室棟	昭和48年 3月(1973. 3)	53	3	—	1,548.23	RC	I b
	普通教室棟	昭和52年 3月(1977. 3)	49	4	—	747.62	RC	I b
	教室棟(中)	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	—	431.66	RC	I a
	教室棟(南西)	昭和57年 3月(1982. 3)	44	3	—	408.99	RC	I a
	屋内運動場	昭和51年 3月(1976. 3)	50	1	—	725.00	RC+S	Ⅱ
富士見小学校	普通教室・管理棟	昭和54年 5月(1979. 5)	46	3	—	3,908.46	RC	I a
	屋内運動場	令和 6年 8月(2024. 8)	1	1	—	774.00	S	I a
大宮小学校	教室棟	昭和53年 5月(1978. 5)	47	4	—	3,304.36	RC	I a
	管理教室棟	昭和54年 3月(1979. 3)	47	4	—	2,201.91	RC	I a
	屋内運動場	昭和60年 2月(1985. 2)	41	2	—	1,000.12	S	I a
	昇降棟	昭和53年 5月(1978. 5)	47	2	—	315.80	RC	I a
大富士小学校	教室棟(南・南東)	昭和57年 3月(1982. 3)	44	2	—	1,855.78	RC	I a
	教室棟(東)	昭和47年 2月(1972. 2)	54	3	—	1,406.00	RC	I b
	屋内運動場	昭和56年 3月(1981. 3)	45	1	—	998.15	S	I a
	管理教室棟	昭和51年 3月(1976. 3)	50	3	—	837.29	RC	I a
	普通教室棟	昭和54年 2月(1979. 2)	47	3	—	688.97	RC	I a
貴船小学校	教室棟(中)	昭和47年 2月(1972. 2)	54	3	—	1,573.44	RC	I b
	教室棟(西)	昭和49年 3月(1974. 3)	52	3	—	1,528.00	RC	I b
	管理教室棟	昭和58年 3月(1983. 3)	43	3	—	1,524.83	RC	I a
	屋内運動場	昭和53年 3月(1978. 3)	48	1	—	1,164.80	S	I a
西小学校	管理・特別教室棟・普通教室棟	昭和64年 1月(1989. 1)	37	2	—	2,827.40	RC	I a
	屋内運動場	昭和64年 1月(1989. 1)	37	1	—	996.47	S	I a
富丘小学校	管理教室棟・普通教室棟	昭和52年 3月(1977. 3)	49	3	—	2,035.00	RC	I b
	教室棟(東)	昭和45年 3月(1970. 3)	56	3	—	1,608.00	RC	I b
	屋内運動場	昭和61年 3月(1986. 3)	40	1	—	944.88	S	I a
	普通特別教室棟	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	—	904.26	RC	I a
富士根南小学校	教室棟(西)	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	—	1,852.97	RC	I a
	特別教室棟(西)・教室棟(南)	昭和50年 3月(1975. 3)	51	3	—	1,775.00	RC	I b
	屋内運動場	昭和55年 2月(1980. 2)	46	1	—	1,163.54	RC+S	I a
	管理教室棟	平成13年 3月(2001. 3)	25	3	—	998.94	RC	I a
	教室棟(東)	昭和41年 3月(1966. 3)	60	2	—	938.67	RC	I b
	特別教室棟(東)	平成13年 3月(2001. 3)	25	3	—	776.71	RC	I a
	教室棟(中)	昭和54年 2月(1979. 2)	47	3	—	616.95	RC	I a

表 4-11 対象施設 (2/2)

施設名称	種名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士根北小学校	管理教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	3	—	1,658.06	RC	I a
	教室棟	昭和54年 3月(1979. 3)	47	3	—	885.40	RC	I a
	屋内運動場	昭和61年 3月(1986. 3)	40	2	—	739.57	S	I a
	児童クラブ・給食受入室・倉庫	昭和41年 3月(1966. 3)	60	1	—	196.00	RC	未診断
富士根北小学校栗倉分校	管理教室棟	昭和61年 5月(1986. 5)	39	2	—	744.00	RC	未診断
山宮小学校	普通教室・特別教室棟	昭和50年 5月(1975. 5)	50	3	—	1,241.00	RC	I b
	教室棟(管理教室棟同一棟)	昭和57年 3月(1982. 3)	44	3	—	913.30	RC	I a
	管理教室棟	昭和55年 3月(1980. 3)	46	3	—	279.25	RC	I a
	屋内運動場	昭和58年 2月(1983. 2)	43	1	—	1,000.00	S	I a
北山小学校	管理教室棟	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	2,650.00	RC	I a
	屋内運動場	昭和63年 3月(1988. 3)	38	1	—	919.35	S	I a
上野小学校	管理教室棟・特別教室棟	平成21年 7月(2009. 7)	16	3	—	3,785.27	RC	I a
	屋内運動場	昭和49年 3月(1974. 3)	52	1	—	660.87	RC+S	I a
上井出小学校	普通教室棟・特別教室棟	昭和53年 2月(1978. 2)	48	2	—	1,726.22	RC	I a
	屋内運動場	昭和54年 2月(1979. 2)	47	1	—	899.37	RC+S	I a
人六小学校	管理教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	2	—	802.10	RC	I a
	特別教室棟	平成 6年 3月(1994. 3)	32	1	—	270.00	S	I a
	屋内運動場	昭和53年 5月(1978. 5)	47	1	—	532.75	RC+S	I a
	図書室	昭和63年 2月(1988. 2)	38	1	—	99.63	S	未診断
井之頭小学校	管理特別教室棟	昭和45年 3月(1970. 3)	56	3	—	817.90	RC	I b
	教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	3	—	741.70	RC	I a
	屋内運動場	昭和46年 3月(1971. 3)	55	2	—	555.00	S	I a
井之頭小学校根原分校	管理教室棟	昭和52年 8月(1977. 8)	48	1	—	480.00	S	未診断
白糸小学校	管理教室棟	昭和46年12月(1971.12)	54	3	—	2,410.00	RC	I b
	屋内運動場	平成 3年 3月(1991. 3)	35	1	—	997.04	S	I a
芝富小学校	教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	3	—	2,098.01	RC	I a
	管理・特別教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	2	—	1,852.21	RC	I a
	屋内運動場	昭和49年12月(1974.12)	51	2	—	698.11	RC+S	I a
内房小学校	普通教室棟	昭和57年 3月(1982. 3)	44	3	—	1,758.17	RC	I a
	屋内運動場	昭和48年12月(1973.12)	52	2	—	623.00	S	I a
稲子小学校	普通教室棟(東/西)	昭和56年 3月(1981. 3)	45	2	—	856.92	RC	I a
	屋内運動場	昭和59年 2月(1984. 2)	42	2	—	549.00	S	I a
柚野小学校	普通教室棟	昭和58年 3月(1983. 3)	43	3	—	2,113.65	RC	I a
	屋内運動場	昭和63年 2月(1988. 2)	38	2	—	654.00	S	I a
	給食室	昭和58年 3月(1983. 3)	43	1	—	120.00	RC	I a



图 4-5 位置图

(1) 個別施設の状態等

ア 構造躯体の健全性・劣化状況

表 4-12 施設の構造躯体の健全性・劣化状況調査結果 (1/2)

施設名	建物名	劣化状況評価				
		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
東小学校	教室棟	B	B	B	B	B
	屋内運動場	A	B	B	B	B
黒田小学校	教室棟 (南)	C	B	B	C	C
	教室棟 (中)	令和3年度長寿命化改修実施				
	教室棟 (南西)	令和2年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟	令和2年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	A	C	B	C	C
	普通教室棟	令和2年度長寿命化改修実施				
大宮小学校	教室棟	A	A	C	C	C
	昇降棟	B	A	C	C	C
	管理教室棟	平成29年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	令和7年度長寿命化改修実施				
貴船小学校	教室棟 (中)	令和6年度長寿命化改修実施				
	教室棟 (西)	令和6年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	A	A	B	C	C
	管理教室棟	令和7年度長寿命化改修実施				
富丘小学校	教室棟 (東)	平成30年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟・普通教室棟	令和元～2年度長寿命化改修実施				
	普通特別教室棟	A	A	B	B	B
	屋内運動場	A	A	B	B	B
西小学校	管理・特別教室棟・普通教室棟	令和7年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	B	B	B
大富士小学校	教室棟 (東)	平成29年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟	A	A	B	C	C
	普通教室棟	A	A	B	C	C
	屋内運動場	平成30年度長寿命化改修実施				
	教室棟 (南・南東)	令和4年度長寿命化改修実施				
富士根南小学校	教室棟 (東)	令和4年度長寿命化改修実施				
	特別教室棟 (西)・教室棟 (南)	平成29年度長寿命化改修実施				
	教室棟 (中)	B	B	B	C	C
	教室棟 (西)	B	B	B	B	B
	屋内運動場	A	A	B	B	B
	管理教室棟	A	B	A	A	A
	特別教室棟 (東)	A	B	A	A	A
富士根北小学校	教室棟	B	A	B	C	C
	管理教室棟	A	B	B	B	B
	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修実施				
富士根北小学校栗倉分校	管理教室棟	D	B	B	B	B

注1) 「富士宮市学校長寿命化計画 (個別施設計画) (令和3 (2021) 年2月策定)」における健全度の評価結果による。A～Dの4段階で評価。なお、対象建築物のうち、駐輪場及び小規模な建築物 (概ね200m<sup>2</sup>以下で倉庫、更衣室等については対象外とした。

表 4-12 施設の構造躯体の健全性・劣化状況調査結果 (2/2)

施設名	建物名	劣化状況評価				
		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
北山小学校	管理教室棟	令和元年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	B	B	B
山宮小学校	普通教室・特別教室棟	平成29年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
	教室棟（管理教室棟同一棟）	平成30年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	B	B	B
上井出小学校	普通教室棟・特別教室棟	A	A	C	C	C
	屋内運動場	B	B	C	C	C
人穴小学校	屋内運動場	B	B	B	C	C
	管理教室棟	令和3年度長寿命化改修実施				
	特別教室棟	B	B	B	B	B
井之頭小学校	管理特別教室棟	A	A	B	C	C
	屋内運動場	令和元年度長寿命化改修実施				
	教室棟	令和4年度長寿命化改修実施				
井之頭小学校根原分校	管理教室棟	B	B	C	C	C
白糸小学校	管理教室棟	令和2年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	平成30年度長寿命化改修実施				
上野小学校	屋内運動場	A	A	B	C	C
	管理教室棟・特別教室棟	A	A	A	A	A
富士見小学校	屋内運動場	A	B	B	C	C
	普通教室・管理棟	B	B	B	C	C
芝富小学校	屋内運動場	B	B	B	C	C
	教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
	管理・特別教室棟	令和5年度長寿命化改修実施				
内房小学校	屋内運動場	B	B	C	C	C
	普通教室棟	A	A	B	B	B
柚野小学校	普通教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	令和4年度長寿命化改修実施				
稲子小学校	普通教室棟（東/西）	令和3年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	B	B	B

注1) 「富士宮市学校長寿命化計画（個別施設計画）（令和3（2021）年2月策定）」における健全度の評価結果による。A～Dの4段階で評価。なお、対象建築物のうち、駐輪場及び小規模な建築物（概ね200m<sup>2</sup>以下で倉庫、更衣室等については対象外とした）。

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
東小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 43 年～45 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟及び特別教室棟は令和 7(2025)年度～令和 8(2026)年度にかけて改築を実施中です。(管理教室棟及び特別教室棟は、令和 7 年度解体済み)</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
黒田小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 44 年～55 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟及び普通教室棟は令和 2 (2020) 年度に、教室棟(南)、教室棟(南西)及び教室棟(中)は令和 3 (2021) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 屋内運動場は耐震性能がやや劣る状況です。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士見小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 1 年～46 年が経過しています。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
大宮小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 41 年～47 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟は平成 29(2017) 年度に、屋内運動場は令和 7(2025) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
大富士小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 44 年～54 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 30 (2018) 年度に耐震改修及び長寿命化改修を実施しました。教室棟 (東) は平成 29 (2017) 年度、教室棟 (南・南東) は令和 4 (2022) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
貴船小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 43 年～54 年が経過しています。</li> <li>・ 教室棟（中）及び教室棟（西）は令和 6（2024）年度、管理教室棟は令和 7（2025）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
西小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 37 年が経過しています。</li> <li>・ 管理・特別教室棟・普通教室棟は令和 7（2025）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
富丘小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 40 年～56 年が経過しています。</li> <li>・ 教室棟（東）は平成 30（2018）年度、管理教室棟・普通教室棟は令和元（2019）年度～令和 2（2020）年度にかけて長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～3.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
富士根南小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 25 年～60 年が経過しています。</li> <li>・ 特別教室棟（西）・教室棟（南）は平成 29（2017）年度、教室棟（東）は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～3.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
富士根北小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 40～60 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 29（2017）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士根北小学校 栗倉分校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 39 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 5（2023）年 4 月から休校中です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
山宮小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 43 年～50 年が経過しています。</li> <li>・ 普通教室・特別教室棟は平成 29（2017）年度、管理教室棟及び教室棟は平成 30（2018）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
北山小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 38 年～41 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟は令和元（2019）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
上野小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 16 年～52 年が経過しています。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～3.0m未満の区域に指定されています。</li> </ul>
上井出小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 47 年～48 年が経過しています。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
人穴小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 32 年～47 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟は令和 3（2021）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質*及び機能*ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
井之頭小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年～56 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は令和 2（2020）年度に耐震改修及び長寿命化改修、教室棟は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m未満～3.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
井之頭小学校 根原分校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 48 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 19 (2007) 年 4 月から休校中です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
白糸小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 35 年～54 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 30 (2018) 年度、管理教室棟は令和 2 (2020) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
芝富小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年～51 年が経過しています。</li> <li>・ 教室棟は平成 30 (2018) 年度、管理・特別教室棟は令和 5 (2023) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
内房小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 44 年～52 年が経過しています。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～5.0m 未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
稲子小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年～45 年が経過しています。</li> <li>・ 普通教室棟（東/西）は平成 30（2018）年度、屋内運動場は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～5.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
柚野小学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 38 年～43 年が経過しています。</li> <li>・ 普通教室棟は令和 3（2021）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 児童数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

(2) 対策の内容と実施時期

ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
東小学校	教室棟	平成28年度トイレ改修	—	長寿命化改修 (建築・機械) 86,300千円	—
	管理教室棟	令和7年度解体	改築 1,458,900千円	—	—
	特別教室棟	令和7年度解体			
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
黒田小学校	教室棟(南)	—	—	—	—
	管理教室棟	令和2年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	普通教室棟	令和2年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	屋内運動場	—	改築 100,000千円	改築 600,000千円	解体 50,000千円
	教室棟(中)	—	—	—	—
	教室棟(南西)	—	—	—	—
大宮小学校	教室棟	—	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 136,100千円 トイレ改修 118,300千円
	管理教室棟	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	長寿命化改修 (建築・電気) 85,510千円	—
	屋内運動場	令和7年度長寿命化改修 (建築)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	昇降棟	—	—	長寿命化改修 (建築) 30,100千円	—
貴船小学校	教室棟(中)	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	トイレ改修 103,350千円	—
	教室棟(西)	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械)	—		—
	管理教室棟	令和7年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	屋内運動場	—	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 56,780千円
			全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富丘小学校	管理教室棟・普通教室棟	平成28年度耐震改修	—	—	—
		令和元年度長寿命化改修(建築)			
	教室棟(東)	令和2年度長寿命化改修(機械)	—	—	—
		平成30年度長寿命化改修(建築)			
屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円			
普通特別教室棟	平成28年度耐震補強	—	—	—	
西小学校	管理・特別教室棟・普通教室棟	令和5年度トイレ改修	—	—	—
		令和7年度長寿命化改修(建築・機械)			
	屋内運動場	—	—	—	長寿命化改修(建築・機械) 90,500千円
			全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
大富士小学校	教室棟(南・南東)	令和4年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	トイレ改修 76,700千円	—	—
	教室棟(東)	平成29年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
	屋内運動場	平成29年度耐震改修	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	管理教室棟	—	—	—	—
	普通教室棟	—	—	—	—
富士根南小学校	教室棟(西)	—	—	—	長寿命化改修(建築) 42,600千円
					トイレ改修 104,650千円
	特別教室棟(西)・教室棟(南)	平成29年度長寿命化改修(建築)	トイレ改修 67,600千円	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	管理教室棟	—	—	—	—
	教室棟(東)	令和4年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
	特別教室棟(東)	—	—	—	—
教室棟(中)	—	—	—	長寿命化改修(建築) 23,900千円	

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士根北小学校	管理教室棟	—	—	—	長寿命化改修 (建築・機械・電気) 100,340千円
	教室棟	—	—	—	長寿命化改修(建築) 33,800千円
	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	給食受入室・宿直室	—	—	—	—
富士根北小学校栗倉分校	管理教室棟	—	—	—	—
北山小学校	管理教室棟	令和元年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	令和2年度器具庫改築	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
山宮小学校	普通教室・特別教室棟	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	教室棟(管理教室棟同一棟)	平成30年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
上井出小学校	普通教室棟・特別教室棟	令和元年度トイレ改修	—	—	—
	屋内運動場	—	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 85,480千円
人穴小学校	管理教室棟	令和3年度長寿命化改修 (建築・電気)	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	特別教室棟	—	—	—	—
	図書室	—	—	—	—
井之頭小学校	管理特別教室棟	平成28年度外壁屋根改修 令和4年度水道管改修	—	—	—
	教室棟	令和4年度長寿命化改修 (建築・電気)	—	—	—
	屋内運動場	令和元年度耐震改修	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
井之頭小学校根原分校	管理教室棟	—	—	—	—
白糸小学校	管理教室棟	令和2年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	平成30年度長寿命化改修 (建築)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
上野小学校	管理教室棟・特別教室棟	—	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士見小学校	普通教室・管理棟	令和7年度トイレ改修	長寿命化改修 (建築・機械・電気) 240,000千円	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
芝富小学校	教室棟	平成30年度長寿命化改修 (建築) 令和4年度トイレ改修	—	—	—
	管理・特別教室棟	令和5年度長寿命化改修 (建築・電気)	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
内房小学校	普通教室棟	平成28年度外壁塗装及び 屋上防水改修	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
柚野小学校	普通教室棟	令和3年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	給食室	—	—	—	—
稲子小学校	普通教室棟(東/西)	平成30年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
	屋内運動場	令和4年度長寿命化改修 (建築・電気)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
東小学校	2,680.32		校舎の建て替え 及び長寿命化改修を実施	→	更新 多機能化、集約化
黒田小学校	5,554.50		屋内運動場の建て替え	更新 多機能化、集約化	→
富士見小学校	4,682.46		校舎の長寿命化改修を実施	→	更新 多機能化、集約化
大宮小学校	6,822.19		校舎の長寿命化改修を実施	→	更新 多機能化、集約化
大富士小学校	5,786.19			更新 多機能化、集約化	→
貴船小学校	5,791.07		屋内運動場の長寿命化改修を実施	更新 多機能化、集約化	→
西小学校	3,823.87		屋内運動場の長寿命化改修を実施		→
富丘小学校	5,492.14			更新 多機能化、集約化 敷地の一部が洪水 浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未 満～3.0m未満)の ため、地域の浸水想 定及び施設の機能・ 規模・利用状況を踏 まえ、浸水対策のほ か、移転等を含めて 総合的に検討	→
富士根南小学校	8,122.78		更新 多機能化、集約化 校舎の長寿命化改修を実施		→
富士根北小学校	3,476.03		校舎の長寿命化改修を実施	→	更新 多機能化、集約化
富士根北小学校栗倉分校	744.00				敷地の一部が土砂災害特別警戒区域内 及び土砂災害警戒区域内であるとともに、 休校中のため、今後の施設のあり方を含 めて検討
山宮小学校	3,433.55			更新 多機能化、集約化	→
北山小学校	3,569.35				更新 多機能化、集約化
上野小学校	4,446.14			更新 屋内運動場の建て替えを検討 敷地の一部が洪水 浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未 満～3.0m未満)の ため、地域の浸水想 定及び施設の機能・ 規模・利用状況を踏 まえ、浸水対策のほ か、移転等を含めて 総合的に検討	→

凡例) 適切な維持管理の実施 : →

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
上井出小学校	2,625.59		屋内運動場の長 寿命化改修を 実施	→	更新 多機能化、集約化
人穴小学校	1,704.48			→	更新 多機能化、集約化
井之頭小学校	2,114.60			更新 多機能化、集約化 敷地の一部が洪水 浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未 満～3.0m未満)の ため、地域の浸水想 定及び施設の機能・ 規模・利用状況を踏 まえ、浸水対策のほ か、移転等を含めて 総合的に検討	→
井之頭小学校根原分校	480.00			→	今後の施設の在り方を検討
白糸小学校	3,407.04			更新 多機能化、集約化	→
芝富小学校	4,648.33			更新 多機能化、集約化 敷地の一部が土砂 災害警戒区域内の ため、施設の移転も 含め検討	→
内房小学校	2,381.17			更新 多機能化、集約化 敷地全体が洪水浸 水想定区域内(浸 水想定深さ1.0m～ 5.0m未満)のため、 地域の浸水想定及 び施設の機能・規 模・利用状況を踏ま え、浸水対策のほか、 移転等を含めて総 合的に検討	→
稲子小学校	1,405.92			更新 多機能化、集約化 敷地の一部が土砂災害警戒区域内及 び敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸 水想定深さ1.0m～5.0m未満)のため、 地域の浸水想定及び施設の機能・規 模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、 移転等を含めて総合的に検討	→
柚野小学校	2,887.65			更新 多機能化、集約化 敷地全体が土砂災害警戒区域内のた め、施設の移転も含め検討	→

凡例) 適切な維持管理の実施: →

6. 中学校

表 4-13 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士宮第一中学校	管理教室棟・教室棟(東)	昭和54年 3月(1979. 3)	47	4	—	3,506.89	RC	I a
	教室棟(西)(給食受入室)	昭和62年 3月(1987. 3)	39	4	—	1,140.00	RC	I a
	屋内運動場	昭和52年 3月(1977. 3)	49	1	—	1,111.06	RC+S	I a
	技術科室	平成 4年 3月(1992. 3)	34	1	—	326.99	S	I a
富士宮第二中学校	教室・特別教室棟・管理・教室棟	昭和50年 3月(1975. 3)	51	4	—	3,081.00	RC	I b
	教室棟	昭和59年 3月(1984. 3)	42	3	—	1,730.93	RC	I a
	屋内運動場	昭和54年 8月(1979. 8)	46	1	—	1,188.11	RC+S	I a
	特別教室棟	昭和38年 3月(1963. 3)	63	1	—	472.47	RC	II
富士宮第三中学校	給食受入室	昭和39年 3月(1964. 3)	62	1	—	129.00	CB	未診断
	管理教室棟・教室棟(東西)	昭和52年 3月(1977. 3)	49	4	—	3,029.00	RC	I b
	屋内運動場	昭和56年 3月(1981. 3)	45	1	—	1,042.39	RC+S	I b
	教室棟(南)	昭和57年 3月(1982. 3)	44	2	—	1,008.65	RC	I a
富士宮第四中学校	技術科室	昭和63年 3月(1988. 3)	38	1	—	321.91	S	I a
	管理教室棟(昇降棟含)	昭和54年 1月(1979. 1)	47	4	—	3,474.76	RC	I a
	屋内運動場	昭和55年 3月(1980. 3)	46	1	—	1,312.00	S	I b
	教室棟(東側倉庫含)	昭和40年 3月(1965. 3)	61	2	—	1,096.90	RC	I b
富士根南中学校	技術科室	平成 2年 3月(1990. 3)	36	1	—	326.98	S	I a
	屋内運動場	平成16年11月(2004. 11)	21	2	—	2,614.77	SRC+S	I a
	管理教室棟	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	—	2,458.95	RC	I b
	教室棟(南)	昭和57年 3月(1982. 3)	44	3	—	2,389.45	RC	I a
	教室棟(南東)	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	345.00	S	I a
富士根北中学校	技術科棟	昭和63年 3月(1988. 3)	38	1	—	321.91	S	I a
	管理教室棟	昭和58年 3月(1983. 3)	43	3	—	1,901.70	RC	I a
	屋内運動場	昭和57年 2月(1982. 2)	44	1	—	1,026.00	S	I a
北山中学校	特別教室棟	平成10年 3月(1998. 3)	28	3	—	655.55	RC	I a
	管理教室棟・教室棟	昭和55年 3月(1980. 3)	46	3	—	2,261.84	RC	I a
	屋内運動場	昭和59年 3月(1984. 3)	42	1	—	1,000.02	S	I a
	教室棟(西)	昭和61年 2月(1986. 2)	40	2	—	365.43	RC	I a
西富士中学校	技術科室	平成 5年 3月(1993. 3)	33	1	—	326.99	S	I a
	給食受入室	昭和40年 3月(1965. 3)	61	1	—	100.16	SRC	未診断
	教室棟・管理教室棟	昭和42年 3月(1967. 3)	59	3	—	2,795.00	RC	I b
非之瀬中学校	屋内運動場	平成12年 3月(2000. 3)	26	1	—	1,499.36	S	I a
	技術科棟	平成25年 2月(2013. 2)	13	1	—	298.99	S	I a
	普通教室・管理棟	昭和53年 3月(1978. 3)	48	3	—	1,170.40	RC	I a
上野中学校	技術室棟	昭和53年 3月(1978. 3)	48	1	—	240.00	S	I a
	屋内運動場	昭和54年 2月(1979. 2)	47	1	—	749.75	RC+S	I a
	管理教室棟	昭和56年 3月(1981. 3)	45	3	—	2,495.12	RC	I a
大富士中学校	屋内運動場	昭和54年 3月(1979. 3)	47	1	—	885.08	RC+S	I a
	技術科室	昭和62年 3月(1987. 3)	39	1	—	271.92	S	I a
	管理特別教室棟・普通教室棟	平成 7年 2月(1995. 2)	31	3	—	5,589.71	RC	I a
芝川中学校	屋内運動場	平成 7年 2月(1995. 2)	31	3	—	2,806.37	S	I a
	倉庫	平成 7年 2月(1995. 2)	31	1	—	134.00	RC	I a
	屋内運動場棟	平成17年11月(2006. 11)	20	3	—	3,217.55	RC+S	I a
袖野中学校	普通教室棟	令和 6年11月(2024. 11)	1	3	—	2,854.07	RC	I a
	特別教室棟	昭和57年12月(1982. 12)	43	1	—	547.55	RC	I a
	普通教室棟	昭和56年 8月(1981. 8)	44	3	—	1,273.37	RC	I a
特別教室多目的教室棟	屋内運動場	昭和53年 2月(1978. 2)	48	3	—	809.14	RC+S	I a
	特別教室多目的教室棟	昭和62年 2月(1987. 2)	39	2	—	538.10	RC	I a



图 4-6 位置图

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-14 施設の劣化状況調査結果

施設名	建物名	劣化状況評価				
		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
富士宮第一中学校	屋内運動場	令和5年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟・教室棟（東）	令和6年度長寿命化改修実施				
	教室棟（西）（給食受入室）	令和7年度長寿命化改修実施				
富士宮第二中学校	技術科室	令和元年度長寿命化改修実施				
	特別教室棟	B	B	B	C	C
	教室・特別教室棟・管理・教室棟	令和元・2年度長寿命化改修実施				
富士宮第三中学校	屋内運動場	A	A	B	C	C
	教室棟	令和4年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟・教室棟（東西）	平成29年度長寿命化改修実施				
富士宮第四中学校	屋内運動場	B	C	B	B	B
	教室棟（南）	令和5年度長寿命化改修実施				
	技術科室	B	B	B	B	B
富士宮第四中学校	教室棟（東側倉庫含）	令和5年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟（昇降棟含）	令和3年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修実施				
富士根南中学校	技術科室	A	B	B	B	B
	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
	教室棟（南）	令和元年度長寿命化改修実施				
富士根北中学校	教室棟（南東）	B	B	B	B	B
	技術科棟	B	B	B	B	B
	屋内運動場	A	B	A	A	A
北山中学校	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
	特別教室棟	平成30年度長寿命化改修実施				
西富士中学校	管理教室棟・教室棟	令和元年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	A	A	B	B	B
	教室棟（西）	令和2年度長寿命化改修実施				
井之頭中学校	技術科室	B	B	B	B	B
	教室棟・管理教室棟	令和4年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	A	A	A	A	A
上野中学校	技術科棟	A	A	A	A	A
	普通教室・管理棟	令和3年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	C	C	C
大富士中学校	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修実施				
	管理教室棟	A	A	B	B	B
	技術科室	B	B	B	B	B
芝川中学校	管理特別教室棟・普通教室棟	令和5年度長寿命化改修実施				
	屋内運動場	B	B	B	B	B
	普通教室棟	令和6年度竣工のため未実施				
柚野中学校	特別教室棟	B	B	B	B	B
	屋内運動場	A	A	A	A	A
	屋内運動場	平成30年度長寿命化改修実施				
柚野中学校	普通教室棟	令和4年度長寿命化改修実施				
	特別教室多目的教室棟	令和4年度長寿命化改修実施				

注1) 「富士宮市学校長寿命化計画（個別施設計画）（令和3（2021）年2月策定）」における健全度の評価結果による。A～Dの4段階で評価。なお、対象建築物のうち、駐輪場及び小規模な建築物（概ね200m<sup>2</sup>以下で倉庫、更衣室等については対象外とした）。

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士宮第一中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 34 年～49 年が経過しています。</li> <li>・ 技術科室は令和元（2019）年度、管理教室棟・教室棟（東）は令和 6（2024）年度、教室棟（西）（給食受入室）は令和 7（2025）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 屋内運動場は令和 5（2023）年度に耐震改修及び長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士宮第二中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年～63 年が経過しています。</li> <li>・ 教室・特別教室棟・管理・教室棟は令和元（2019）年度及び令和 2（2020）年度、教室棟は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
富士宮第三中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 38 年～49 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟・教室棟（東西）は平成 29（2017）年度、教室棟（南）は令和 5（2023）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
富士宮第四中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 36 年～61 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 29（2017）年度、管理教室棟（昇降棟含）は令和 3（2021）年度、教室棟（東側倉庫含）は令和 5（2023）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
富士根南中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 21 年～45 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟は平成 30 (2018) 年度、教室棟 (南) は令和元 (2019) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満～3.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>
富士根北中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 28 年～44 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟及び特別教室棟は平成 30 (2018) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 29 (2017) 年度に耐震改修及び長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
北山中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 33 年～61 年が経過しています。</li> <li>・ 管理教室棟・教室棟は令和元（2019）年度に耐震改修及び長寿命化改修、教室棟（西）は令和 2（2020）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
西富士中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 13 年～59 年が経過しています。</li> <li>・ 教室棟・管理教室棟は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
井之頭中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 47 年～48 年が経過しています。</li> <li>・ 普通教室・管理棟は令和 3（2021）年度に耐震改修及び長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
上野中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 39 年～47 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 29（2017）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
大富士中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31 年が経過しています。</li> <li>・ 管理特別教室棟・普通教室棟（渡廊下含）は令和 5（2023）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
芝川中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 1 年～43 年が経過しています。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
柚野中学校	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 39 年～48 年が経過しています。</li> <li>・ 屋内運動場は平成 30（2018）年度、普通教室棟及び特別教室多目的教室棟は令和 4（2022）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 生徒数が年々減少傾向にあることから、余裕教室を特別活動室や多目的教室に変更するなど、多様な教育環境に対応するための活用が図られています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士宮第一中学校	管理教室棟・教室棟(東)	令和4年度トイレ改修 令和6年度長寿命化改修(建築・機械)	—	—	—
	教室棟(西)(給食受入室)	平成30年度トイレ改修 令和7年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
	屋内運動場	令和5年度耐震改修	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	技術科室	令和元年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
富士宮第二中学校	教室・特別教室棟・管理・教室棟	令和元・2年度長寿命化改修(建築・電気)	改修 115,000千円	—	—
	教室棟	令和4年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	特別教室棟	—	—	解体 53,000千円	—
	渡廊下	—	—	—	—
	給食受入室	—	—	—	—
富士宮第三中学校	管理教室棟・教室棟(東西)	平成29年度長寿命化改修(建築・機械) 令和7年度トイレ改修	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	教室棟(南)	令和5年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	—	—	—
	技術科室	—	—	—	—
富士宮第四中学校	管理教室棟(昇降棟舎)	平成29年度トイレ改修 令和3年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修(建築・機械)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	教室棟(東側倉庫舎)	令和5年度長寿命化改修(建築)	—	—	—
	技術科室	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士根南中学校	屋内運動場	令和2年度天井改修	長寿命化改修実施設計 9,940千円	長寿命化改修 (建築・機械) 184,580千円	—
			全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修 (建築) 令和5年度トイレ改修	—	—	—
	教室棟(南)	令和元年度長寿命化改修 (建築・電気)	—	トイレ改修 87,750千円	—
	教室棟(南東)	—	—	—	—
技術科室	—	—	—	—	
富士根北中学校	管理教室棟	平成30年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	屋内運動場	平成28年度耐震改修	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	特別教室棟	平成30年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
北山中学校	管理教室棟・教室棟	令和元年度耐震改修 令和6年度トイレ改修	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	教室棟(西)	令和2年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
	技術科室	—	—	—	—
	給食受入室	—	—	—	—
西富士中学校	教室棟・管理教室棟	令和元年度床改修 令和4年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	—	—	長寿命化改修実施設計 8,260千円	—
	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円				
技術科棟	令和元年度床改修	—	—	—	
井之頭中学校	普通教室・管理棟	令和3年度耐震改修	—	—	—
	屋内運動場	—	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	技術室棟	—	—	—	—
上野中学校	管理教室棟	令和2年度トイレ改修	—	—	長寿命化改修 (建築・機械・電気) 141,690千円
	屋内運動場	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	技術科室	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8年(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
大富士中学校	管理特別教室棟・普通教室棟(渡廊下含)	令和5年度長寿命化改修(建築) 令和6年度トイレ改修	—	防火扉改修 27,000千円	—
	屋内運動場	—	—	—	長寿命化改修(建築・機械) 190,350千円
			全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	倉庫	—	—	—	—
芝川中学校	屋内運動場棟	—	—	—	長寿命化改修実施設計 10,340千円
			全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	普通教室棟	—	—	—	—
	特別教室棟	—	—	—	長寿命化改修(建築) 42,600千円
袖野中学校	普通教室棟	令和4年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	—	—	—
	屋内運動場	平成30年度長寿命化改修(建築・機械)	全小中学校空調設置 R8:222,000千円、R9:1,003,493千円、R10:1,216,507千円		
	特別教室多目的教室棟	令和4年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士宮第一中学校	6,084.94			→	更新 多機能化、集約化
富士宮第二中学校	6,601.51		更新 多機能化、集約化 特別教室棟除却	→	
富士宮第三中学校	5,401.95			→	更新 多機能化、集約化
富士宮第四中学校	6,210.64		更新 多機能化、集約化	敷地の一部が洪水浸水想定区域内 (浸水想定深さ0.5m未満)のため、施設 の浸水対策について検討	→
富士根南中学校	8,130.08		屋内運動場の長 寿命化改修を実施	敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未満～3.0m未満)のため、地域 の浸水想定及び施設の機能・ 規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、 移転等を含めて総合的に検討	更新 多機能化、集約化
富士根北中学校	3,583.25			→	更新 多機能化、集約化
北山中学校	4,054.44			→	更新 多機能化、集約化
西富士中学校	4,593.35			更新 多機能化、集約化	→
井之頭中学校	2,160.15			→	更新 多機能化、集約化
上野中学校	3,652.12		校舎の長寿命化 改修を実施	→	更新 多機能化、集約化
大富士中学校	8,530.08		屋内運動場の長寿 命化改修を実施	→	
芝川中学校	6,619.17		校舎の長寿命化 改修を実施	→	
柚野中学校	2,620.61				更新 多機能化、集約化 敷地全体が土砂災害警戒区域内のため、 施設の移転も含め検討

凡例) 適切な維持管理の実施: →

7. その他学校施設

表 4-15 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
市立学校給食センター	本館	平成28年 8月 (2016. 8)	9	2	-	4,777.88	S	I a

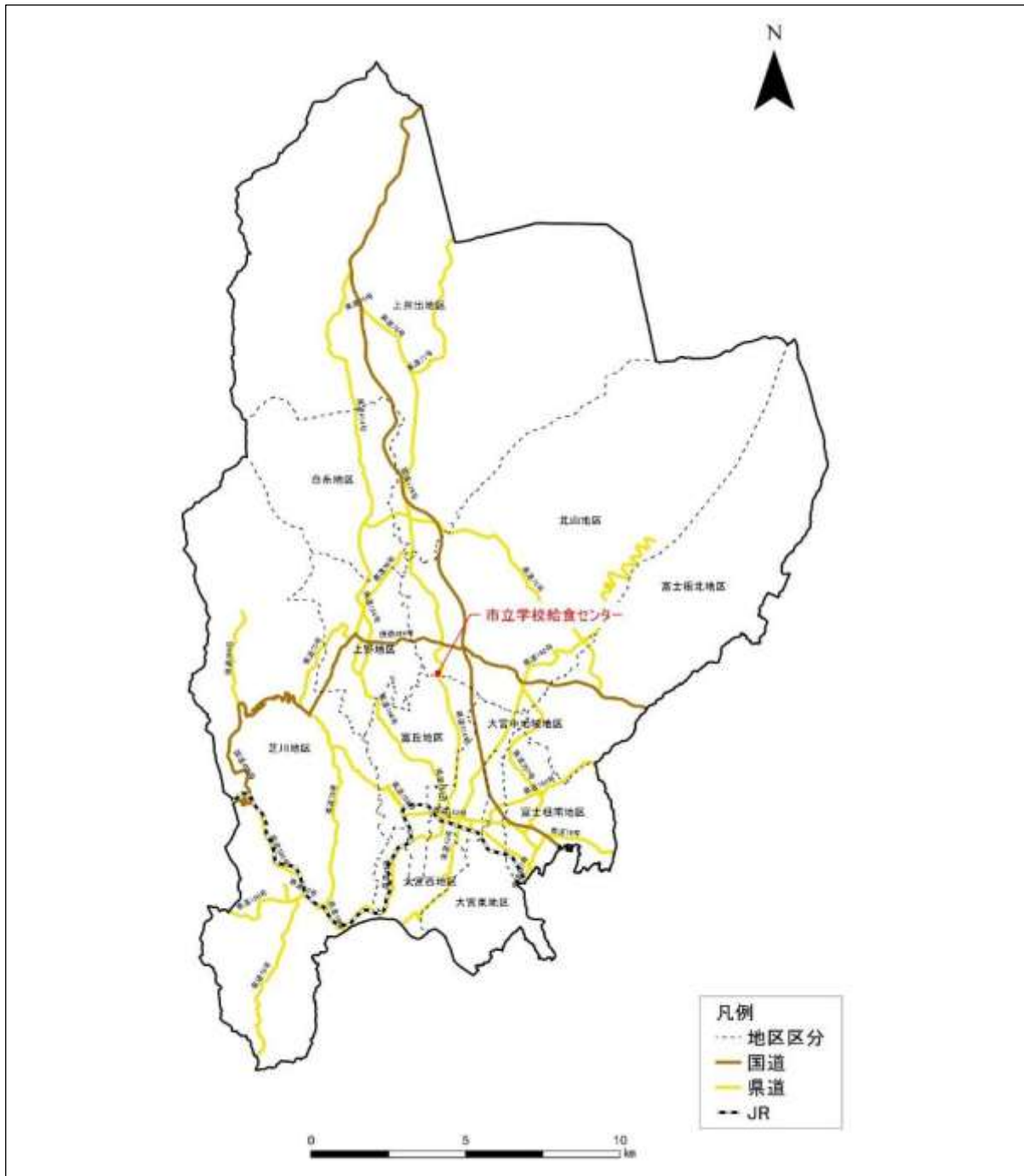


図 4-7 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-16 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
市立学校給食センター	本館	A	A	B	A	—	—	A	A	A	A	—	A	A	A	—	A	A

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「—」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
市立学校給食センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後9年が経過しています。</li> <li>・ 調理及び配送業務は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化の改善の検討が必要です。</li> <li>・ 学校給食衛生管理基準に基づく徹底した衛生管理が必要な施設であるため、常に不特定の人が利用する施設（機能）との多機能化を行うことは現実的ではありません。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

(2) 対策の内容と実施時期

ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度
市立学校給食センター	本館	—	—	—	—

※ 過去10年間（平成28(2016)～令和7(2025)年度）に実施した500万円以上の改修工事を記載

注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積(m <sup>2</sup> )	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
市立学校給食センター	4,777.88				→

凡例) 適切な維持管理の実施： →



(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-18 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気						機械						
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
あすなろ園	園舎	令和2年度及び令和4年度長寿命化改修実施																
療育支援センター	本館	A	A	C	A	-	-	A	A	A	A	A	A	-	A	-	A	-
保健センター・救急医療センター	事務所・診療所	令和元年度長寿命化改修実施のため未実施																
総合福祉会館	本館	令和7年度長寿命化改修実施																
長生園	本館	令和5・6年度長寿命化改修実施																
児童館	本館	令和4年度竣工のため未実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
あすなろ園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 26 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2 (2020) 年度及び令和 4 (2022) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 外壁や付帯設備に木材を多用しており、定期的な修繕周期が短い状況です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> </ul>
療育支援センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 12 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
保健センター・ 救急医療センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31 年が経過しています。</li> <li>・ 令和元 (2019) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>*</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
総合福祉会館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 27 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 7 (2025) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
長生園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 38 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
児童館	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 4 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
あすなろ園	園舎	令和2年度長寿命化改修 (機械) 令和4年度LED化改修 令和4年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
療育支援センター	本館	令和5年度LED化改修	—	—	—
保健センター・ 救急医療センター	事務所・ 診療所	令和元年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
総合福祉会館	本館	令和7年度長寿命化改修 (建築) 令和7年度特定天井耐震改 修実施設計	—	長寿命化改修 (機械) 200,000千円	長寿命化改修 (機械) 55,500千円 特定天井耐震改修 75,200千円
長生園	本館	令和元年度和室改修 令和2・3年度空調設備設置 令和5年度長寿命化改修 (建築・機械) 令和6年度長寿命化改修 (建築・機械) 令和7年度トイレ改修	—	—	—
児童館	本館	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

## イ 中・長期ロードマップ

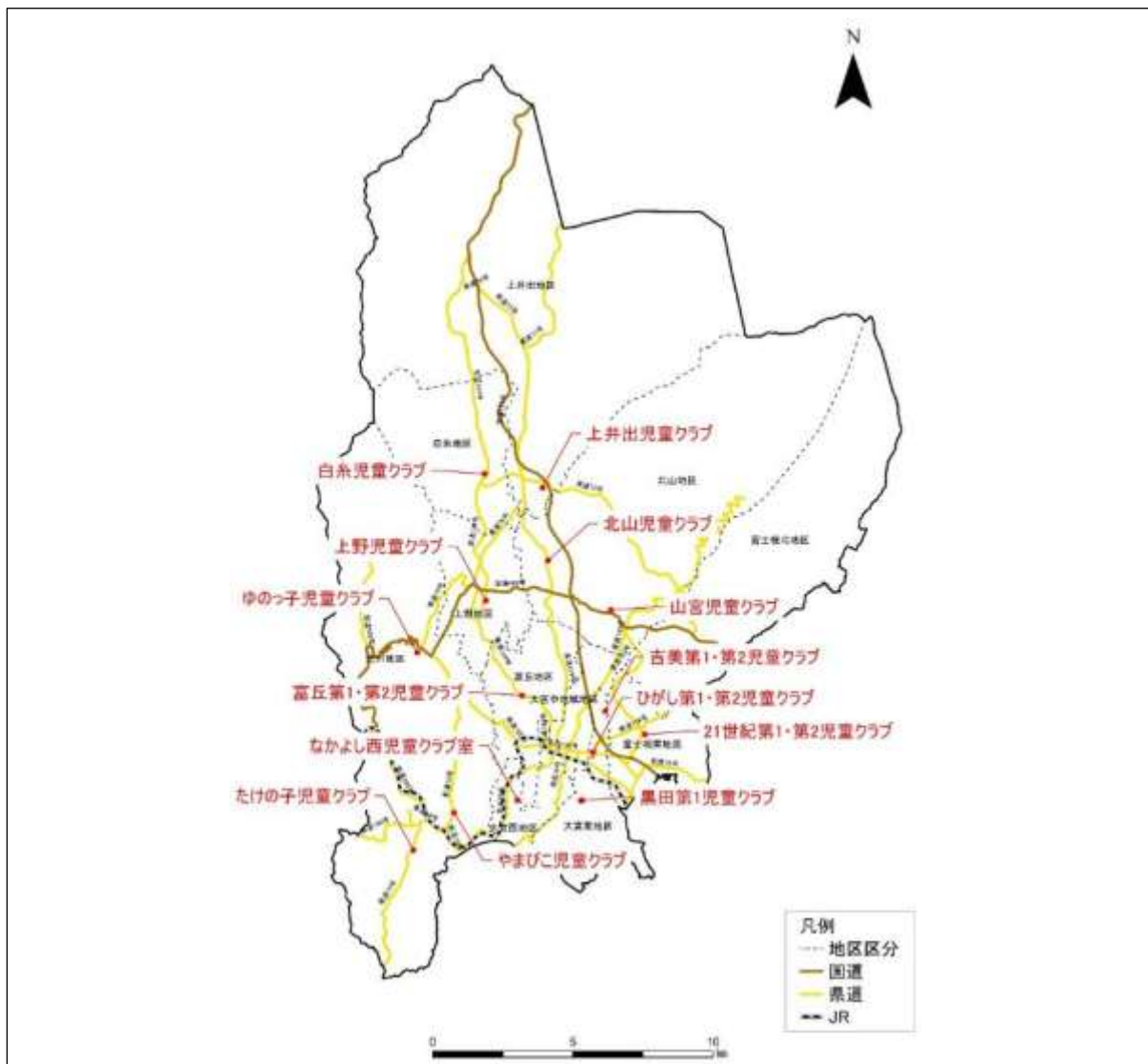
施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
あすなろ園	635.79			敷地の一部が土砂災害警戒区域内のため、施設の移転も含め検討	
療育支援センター	1,061.96				→
保健センター・ 救急医療センター	3,171.19				→
総合福祉会館	5,928.12		長寿命化改修及び天井耐震改修を実施	余剰スペースが発生した場合、施設の有効活用等を検討	
長生園	1,841.23			管理運営方法の検討	
児童館	619.82				→

凡例) 適切な維持管理の実施: →

## 9. 児童クラブ

表 4-19 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
黒田第1児童クラブ	児童クラブ室	平成 4年 4月(1992. 4)	33	1	—	81.00	S	I a
黒田第2・第3児童クラブ	児童クラブ室	平成28年 3月(2016. 3)	10	2	—	264.98	S	I a
ひがし第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	平成30年 3月(2018. 3)	8	2	—	265.00	S	I a
吉美第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	平成30年 3月(2018. 3)	8	2	—	265.00	S	I a
なかよし西児童クラブ室	児童クラブ室	平成24年 2月(2012. 2)	14	1	—	76.18	W	I b
富丘第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	令和 3年 3月(2021. 3)	5	2	—	265.00	S	I a
21世紀第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	令和 8年 2月(2026. 2)	1	2	—	322.42	S	I a
北山児童クラブ	児童クラブ室	平成24年 9月(2012. 9)	13	1	—	96.88	W	I b
山宮児童クラブ	児童クラブ室	昭和53年 8月(1978. 8)	47	1	—	39.00	W	I b
上野児童クラブ	児童クラブ室	平成31年 2月(2019. 2)	7	1	—	149.06	W	I a
上井出児童クラブ	児童クラブ室	昭和53年 6月(1978. 6)	47	1	—	63.00	W	I b
白糸児童クラブ	児童クラブ室	昭和33年 3月(1958. 3)	68	1	—	47.00	W	未診断
たけの子児童クラブ	児童クラブ室	昭和57年 1月(1982. 1)	44	1	—	53.00	W	I b
やまびこ児童クラブ	児童クラブ室	平成13年 1月(2001. 1)	25	1	—	79.92	W	I b
ゆのっ子児童クラブ	児童クラブ室	昭和53年 1月(1978. 1)	48	1	—	53.00	W	I b



(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-20 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
黒田第1児童クラブ	児童クラブ室	B	C	E	-	-	-	D	-	-	-	-	A	-	-	-	E	-
黒田第2・第3児童クラブ	児童クラブ室	A	A	A	-	-	A	A	A	-	-	-	A	-	-	-	A	-
ひがし第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	A	A	A	-	-	-	A	A	-	-	-	A	-	-	-	A	-
吉美第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	A	A	A	-	-	-	A	A	-	-	-	A	-	-	-	A	-
なかよし西児童クラブ室	児童クラブ室	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
富丘第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	令和2年度竣工のため未実施																
21世紀第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	令和7年度竣工のため未実施																
北山児童クラブ	児童クラブ室	A	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
山宮児童クラブ	児童クラブ室	A	B	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
上野児童クラブ	児童クラブ室	A	A	A	-	-	-	A	A	-	-	-	A	-	-	-	A	-
上井出児童クラブ	児童クラブ室	B	B	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
白糸児童クラブ	児童クラブ室	D	A	D	-	-	-	A	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
たけの子児童クラブ	児童クラブ室	A	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	E	-
やまびこ児童クラブ	児童クラブ室	B	B	C	-	-	-	-	E	-	-	-	A	-	-	-	A	-
ゆのっ子児童クラブ	児童クラブ室	A	A	C	-	-	-	A	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
黒田第1 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 33 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
黒田第2・第3 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 10 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
ひがし第1・第2 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 8 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
吉美第1・第2 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 8 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
なかよし西 児童クラブ室	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 14 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>*</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
富丘第 1・第 2 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 5 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満～3.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>
北山児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 13 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
山宮児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 47 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>*</sup>及び機能<sup>*</sup>ともに課題があるため、建築物の解体及び跡地の売却の検討が必要です。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
上野児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 7 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>
上井出児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 47 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> </ul>
白糸児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 68 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> </ul>
たけの子児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 44 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能ともに課題があるため、建築物の解体の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～3.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
やまびこ児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 25 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> </ul>
ゆのっ子児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 48 年が経過しています。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> </ul>
21世紀第1・第2 児童クラブ	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 7（2025）年度に建築されました。</li> <li>・ 運営は、民間委託により行われています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
黒田第1児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
黒田第2・第3児童クラブ	児童クラブ室	—	長寿命化改修 (建築) 21,000千円	—	—
ひがし第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
吉美第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
なかよし西児童クラブ室	児童クラブ室	—	—	—	—
富丘第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
北山児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
山宮児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
上野児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
上井出児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
白糸児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
たけの子児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
やまびこ児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
ゆのっ子児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—
21世紀第1・第2児童クラブ	児童クラブ室	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

## イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
黒田第1児童クラブ	90.72				→
黒田第2・第3児童クラブ	264.98		長寿命化改修を実施		→
ひがし第1・第2児童クラブ	265.00				→
吉美第1・第2児童クラブ	265.00				→
なかよし西児童クラブ室	76.18				→
富丘第1・第2児童クラブ	265.00			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～3.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	→
北山児童クラブ	96.88				→
山宮児童クラブ	39.00				更新 多機能化、集約化
上野児童クラブ	149.06			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満)のため、施設の浸水対策について検討	→
上井出児童クラブ	63.00				更新 多機能化、集約化
白糸児童クラブ	47.00		更新 多機能化、集約化 余裕教室の活用等を検討		→
たけの子児童クラブ	53.00			敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ1.0m～3.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	更新 多機能化、集約化
やまびこ児童クラブ	79.92				→
ゆのっ子児童クラブ	53.00				更新 多機能化、集約化 敷地全体が土砂災害警戒区域内のため、施設の移転も含め検討
21世紀第1・第2児童クラブ	332.42			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満)のため、施設の浸水対策について検討	→

凡例) 適切な維持管理の実施: →

## 10. 保育園

表 4-21 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
明星保育園	園舎	昭和53年 3月(1978. 3)	48	2	-	963.86	RC	I b
大宮保育園	園舎	平成19年 9月(2007. 9)	18	2	-	1,490.93	S	I a
大富士保育園	園舎	昭和61年 3月(1986. 3)	40	2	-	609.85	RC	I a
西保育園	園舎	昭和48年 3月(1973. 3)	53	2	-	893.33	RC	I a
大岩明倫保育園	園舎	昭和52年 3月(1977. 3)	49	2	-	953.00	RC	I b
富士根保育園	園舎	平成26年 3月(2014. 3)	12	2	-	1,231.15	RC	I a
栗倉保育園	園舎	昭和53年 3月(1978. 3)	48	1	-	604.62	RC	I a
北山保育園	園舎	昭和56年 3月(1981. 3)	45	2	-	868.05	RC	I a
山宮保育園	園舎	昭和58年 3月(1983. 3)	43	1	-	541.05	RC	I a
上井出保育園	園舎	昭和56年 3月(1981. 3)	45	1	-	842.24	RC	I a
井之頭保育園	園舎	昭和59年 3月(1984. 3)	42	1	-	420.31	RC	I a
白糸保育園	園舎	昭和59年 3月(1984. 3)	42	1	-	643.82	RC	I a
柚野保育園	園舎	昭和60年 1月(1985. 1)	41	2	-	578.06	RC	I a

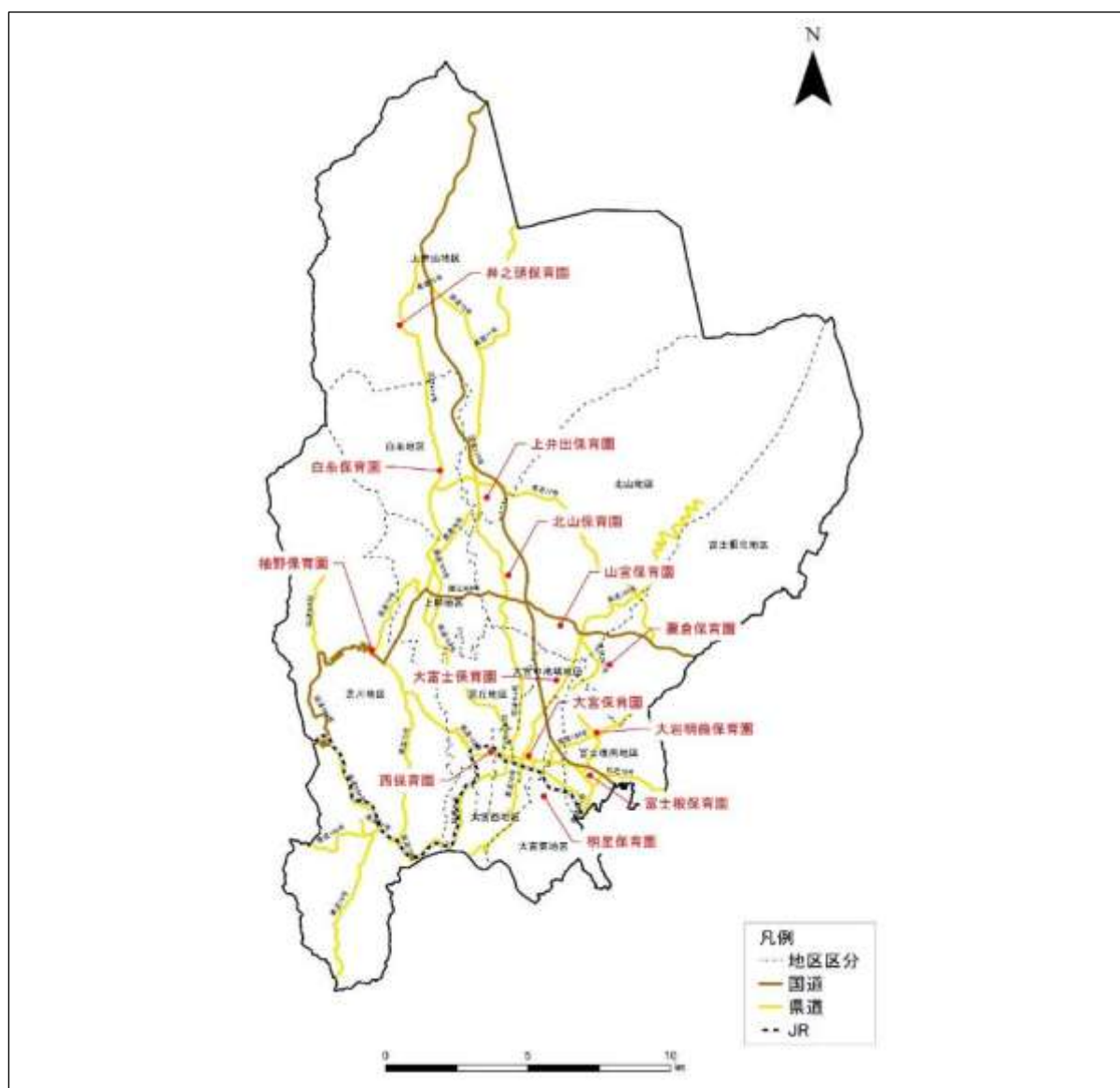


図 4-10 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

(ア) 劣化状況調査結果

表 4-22 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
明星保育園	園舎	令和7年度長寿命化改修実施																
大宮保育園	園舎	B	D	C	D	-	-	A	E	A	A	-	A	-	A	-	B	-
大富士保育園	園舎	令和2年度長寿命化改修実施のため未実施																
西保育園	園舎	令和6年度長寿命化改修実施																
大岩明倫保育園	園舎	令和元年度長寿命化改修実施のため未実施																
富士根保育園	園舎	A	A	D	A	-	-	A	A	A	A	A	A	-	A	-	A	-
栗倉保育園	園舎	令和5年度長寿命化改修実施																
北山保育園	園舎	平成29年度長寿命化改修実施のため未実施																
山宮保育園	園舎	平成29年度及び令和6年度長寿命化改修実施																
上井出保育園	園舎	A	A	D	A	-	-	E	C	-	-	-	A	-	-	-	E	-
井之頭保育園	園舎	平成30年度長寿命化改修実施のため未実施																
白糸保育園	園舎	A	E	D	A	-	-	E	A	-	-	-	A	-	-	-	A	A
袖野保育園	園舎	平成29年度長寿命化改修実施のため未実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

(イ) 構造躯体の健全性調査結果

表 4-23 構造躯体の健全性調査結果

施設名称	棟名称	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	中性化深さ(mm)					鉄筋かぶり厚(mm)			
			箇所	筒元※		筒先※		柱頭		柱脚	
				最大	平均	最大	平均	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況
明星保育園	園舎	43.8	①	0.0	0.0	11.5	8.5	28	A	43	A
			②	0.0	0.0	0.0	0.0				
西保育園	園舎	29.9	①	0.0	0.0	6.5	3.3	25	A	8	A
			②	47.0	6.3	13.0	4.6				
大岩明倫保育園	園舎	40.75	①	0.0	0.0	1.5	0.9	32	A	38	A
			②	0.0	0.0	1.0	0.3				
粟倉保育園	園舎	45.2	①	0.0	0.0	3.0	0.5	40	A	33	A
			②	0.0	0.0	0.0	0.0				
北山保育園	園舎	46.25	①	2.5	0.6	0.5	0.1	28	A	35	C
			②	0.0	0.0	0.0	0.0				
上井出保育園	園舎	47.3	①	0.0	0.0	6.5	3.8	43	A	60	A
			②	0.0	0.0	1.5	0.6				

注) 基準値は P. 6 参照

※ 明星保育園の②は内壁のため、筒元及び筒先ともに室内側。その他の建物及び箇所はすべて筒元：室外側、筒先：室内側

(明星保育園)

- ・コンクリート圧縮強度、中性化深さについては基準値内です。鉄筋のかぶり厚については1ヶ所基準値を満たしていません。

(西保育園)

- ・コンクリート圧縮強度は基準値内です。中性化深さについては1ヶ所、鉄筋のかぶり厚については2ヶ所とも基準値を満たしていません。

(大岩明倫保育園、粟倉保育園、上井出保育園)

- ・コンクリート圧縮強度、中性化深さ及び鉄筋のかぶり厚ともに基準値内です。

(北山保育園)

- ・コンクリート圧縮強度、中性化深さについては基準値内です。鉄筋のかぶり厚については1ヶ所基準値を満たしていません。また、鉄筋の腐食も見られます。

## イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
明星保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 48 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 7（2025）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
大宮保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 18 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
大富士保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 40 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2（2020）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
西保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 53 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 6（2024）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 災害時の緊急避難場所に指定されていますが、敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 施設の再編を検討する際には、地域に必要な緊急避難場所機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
大岩明倫保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 49 年が経過しています。</li> <li>・ 令和元（2019）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
富士根保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 12 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満～1.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
栗倉保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 48 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 5（2023）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
北山保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29（2017）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
山宮保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 43 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29（2017）年度及び令和 6（2024）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
上井出保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
井之頭保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30（2018）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
白糸保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 42 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>
柚野保育園	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 41 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29（2017）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化及び集約化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 建築物の更新に併せて利用需要や社会情勢等を踏まえた適正な施設配置の検討が必要です。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
明星保育園	園舎	令和7年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
大宮保育園	園舎	令和4年度病児保育室等改修	—	—	—
大富士保育園	園舎	令和2年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
西保育園	園舎	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
大岩明倫保育園	園舎	令和元年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
富士根保育園	園舎	—	—	—	—
栗倉保育園	園舎	令和5年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
北山保育園	園舎	平成29年度長寿命化改修 (建築)	長寿命化改修 (機械) 26,000千円	—	—
山宮保育園	園舎	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械) 令和6年度長寿命化改修 (機械)	—	—	—
上井出保育園	園舎	平成28年度屋根・屋上防水改修	—	—	—
井之頭保育園	園舎	平成30年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
白糸保育園	園舎	—	—	—	—
柚野保育園	園舎	平成29年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
明星保育園	963.86				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
大宮保育園	1,490.93				多機能化、集約化を検討
大富士保育園	609.85				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
西保育園	893.33			更新 多機能化、集約化 敷地の一部が洪水 浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未 満)のため、施設の 浸水対策について 検討	
大岩明倫保育園	953.00				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
富士根保育園	1,231.15			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸 水想定深さ0.5m未満～1.0m未満)のた め、地域の浸水想定及び施設の機能・ 規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほ か、移転等を含めて総合的に検討 多機能化、集約化を検討	
粟倉保育園	604.62				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
北山保育園	868.05				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
山宮保育園	541.05				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
上井出保育園	842.24				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
井之頭保育園	420.31				更新 多機能化、集約化 敷地の一部が洪水浸水想定区域内 (浸水想定深さ0.5m未満)のため、施 設の浸水対策について検討 多機能化、集約化を検討
白糸保育園	643.82				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討
柚野保育園	578.06				更新 多機能化、集約化 多機能化、集約化を検討

凡例) 適切な維持管理の実施: →

## 11. 庁舎施設

表 4-24 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
市役所	庁舎	平成 3年 9月 (1991. 9)	34	8	1	21,014.11	SRC	I a
	車庫	平成 3年 9月 (1991. 9)	34	1	—	533.78	S	I a
北山出張所	会館	昭和56年 3月 (1981. 3)	45	2	—	668.88	RC	I a
上野出張所	会館	平成 9年 3月 (1997. 3)	29	2	—	1,058.33	RC	I a
白糸出張所	会館	令和 3年 2月 (2021. 2)	5	2	—	828.90	RC+S	I a
芝川出張所	会館	昭和63年 1月 (1988. 1)	38	3	1	2,760.58	SRC	I a

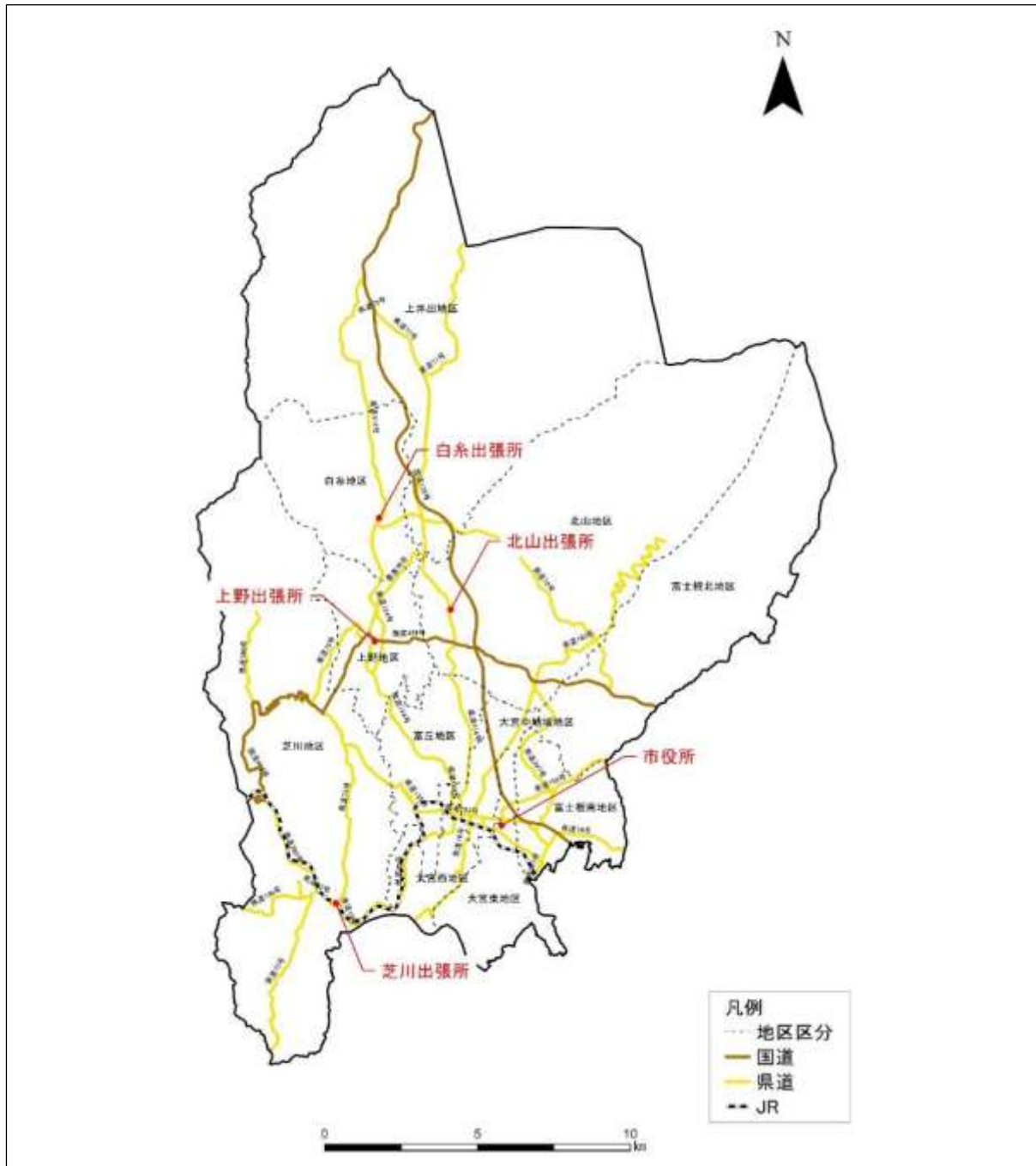


図 4-11 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-25 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気						機械						
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
市役所	庁舎	平成29年度から長寿命化改修中のため未実施																
	車庫	A	B	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北山出張所	会館	令和2年度耐震補強工事と併せて長寿命化改修を実施のため未実施																
上野出張所	会館	令和元年度及び令和3年度長寿命化改修実施																
白糸出張所	会館	令和2年度竣工のため未実施																
芝川出張所	会館	平成30年度長寿命化改修実施のため未実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
市役所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 34 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29 (2017) 年度から長寿命化改修を実施しています (令和 9 年度まで継続実施予定)。</li> <li>・ 令和 7 (2025) 年度から市民ホール及び待合ホールの天井耐震改修を実施しています (令和 8 年度まで継続実施予定)。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> </ul>
北山出張所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 45 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 2 (2020) 年度に耐震改修及び長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標 (立地特性、年間収支状況、施設利用率)

施設名称	現状と課題	
上野出張所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 29 年が経過しています。</li> <li>・ 令和元（2019）年度及び令和 3（2021）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。</li> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満～1.0m 未満の区域に指定されています。</li> </ul>
白糸出張所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 5 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の避難場所等に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な避難場所等の機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>
芝川出張所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 38 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30（2018）年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 施設の 1・2 階に富士宮市立芝川図書館が併設されています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の一部が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～10.0m 未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 災害時の地区本部に指定されていることから、施設の再編を検討する際には、地域に必要な地区本部機能の確保という点について考慮する必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期


### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
市役所	庁舎	平成29年度長寿命化改修【低層棟】(建築) 平成30・令和元年度長寿命化改修【議会棟】(建築) 平成30年度長寿命化改修(機械) 令和2・3年度長寿命化改修【高層棟】(建築) 令和2年度長寿命化改修(電気・機械) 令和3年度長寿命化改修(電気・機械) 令和4年度議会LED化改修 令和4年度長寿命化改修(建築・電気) 令和5年度長寿命化改修(建築・機械) 令和5・6年度長寿命化改修(電気) 令和5・6年度議場音響システム改修 令和7年度特定天井耐震改修 令和6・7年度長寿命化改修(機械)	—	長寿命化改修(建築) 29,000千円	—
	車庫	平成28年度屋上防水・外壁改修	—	—	—
北山出張所	会館	令和元年度エレベータ新設 令和2年度耐震改修 令和4年度トイレ改修	LED化改修 5,600千円	—	—
上野出張所	会館	平成30・令和元年度長寿命化改修(建築) 令和3年度長寿命化改修(機械) 令和7年度LED化改修	—	長寿命化改修(建築・機械) 84,700千円	—
白糸出張所	会館	—	—	—	—
芝川出張所	会館	平成30年度長寿命化改修(建築・機械) 令和5年度LED化改修	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
市役所	21,547.89		長寿命化改修及び天井耐震改修を実施	余剰スペースが発生した場合は、多機能化を検討	
北山出張所	668.88				更新 多機能化
上野出張所	1,058.33		長寿命化改修を実施	敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満～1.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	
白糸出張所	828.90				
芝川出張所	2,760.58			敷地の一部が土砂災害警戒区域内及び敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ1.0m～10.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討	

凡例) 適切な維持管理の実施 : 

## 12. 消防施設

表 4-26 対象施設（消防署）

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
中央消防署	庁舎	平成12年 6月(2000. 6)	25	3	—	1,606.78	RC	1 a
西消防署	庁舎	平成 7年 2月(1995. 2)	31	2	—	724.22	RC	1 a
中央消防署東分署	庁舎	平成 9年 3月(1997. 3)	29	1	—	293.37	RC	1 a
西消防署上野分署	庁舎	平成16年 4月(2004. 4)	21	2	—	340.27	S	1 a
西消防署北分署	庁舎	平成28年 3月(2016. 3)	10	2	—	650.47	RC+S	1 a
	訓練棟	平成28年 3月(2016. 3)	10	4	—	203.40	S	1 a
中央消防署芝川分署	庁舎	平成 3年 4月(1991. 4)	34	2	—	503.27	RC	1 a
芝川分署水防倉庫	倉庫	平成 7年 3月(1995. 3)	31	1	—	196.05	S	1 a

表 4-27 対象施設（分団詰所 1/2）

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
第1分団詰所	詰所兼車庫	平成 9年 3月(1897. 3)	29	2	—	102.80	S	1 a
第2分団詰所	詰所兼車庫	平成 5年12月(1893.12)	32	2	—	76.70	S	1 a
第3分団詰所	詰所兼車庫	平成15年 8月(2003. 8)	22	2	—	102.80	S	1 a
第4分団詰所	詰所兼車庫	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	68.77	S	1 a
第5分団詰所	詰所兼車庫	平成17年 2月(2005. 2)	21	2	—	117.00	S	1 a
第6分団詰所（外神）	詰所兼車庫	平成 7年 3月(1995. 3)	31	2	—	76.80	S	1 a
第6分団詰所（青木）	詰所兼車庫	平成11年 3月(1999. 3)	27	2	—	102.80	S	1 a
第6分団詰所（渡師）	詰所兼車庫	平成21年 2月(2009. 2)	17	2	—	102.80	S	1 a
第7分団詰所	詰所兼車庫	平成 7年 3月(1995. 3)	31	2	—	76.80	S	1 a
第8分団詰所	詰所兼車庫	平成 8年 3月(1996. 3)	30	2	—	76.80	S	1 a
第9分団詰所	詰所兼車庫	平成18年 2月(2006. 2)	20	2	—	102.80	S	1 a
第10分団詰所（安居山）	詰所兼車庫	平成10年 3月(1998. 3)	28	2	—	117.00	RC+S	1 a
第10分団詰所（沼久保）	詰所兼車庫	平成 8年 3月(1994. 3)	32	2	—	64.20	S	1 a
第11分団詰所（貫戸）	詰所兼車庫	昭和58年 3月(1981. 3)	45	1	—	19.87	W	未診断
第11分団詰所（黒田）	詰所兼車庫	昭和58年 3月(1981. 3)	45	2	—	65.22	S	未診断
第11分団詰所（墨山）	詰所兼車庫	平成27年 3月(2015. 3)	11	2	—	101.94	S	1 a
第12分団詰所（山本）	詰所兼車庫	平成 2年 3月(1990. 3)	36	2	—	77.40	S	1 a
第12分団詰所（小泉）	詰所兼車庫	平成13年 2月(2001. 2)	25	2	—	117.00	S	1 a
第13分団詰所	詰所兼車庫	平成19年 3月(2007. 3)	19	2	—	102.80	S	1 a
第14分団詰所（小泉）	詰所兼車庫	平成元年 3月(1989. 3)	37	2	—	76.70	S	1 a
第14分団詰所（大岩）	詰所兼車庫	平成25年 3月(2013. 3)	13	2	—	101.94	S	1 a
第15分団詰所（二又）	詰所兼車庫	平成23年 3月(2011. 3)	15	2	—	102.80	S	1 a
第15分団詰所（村山）	詰所兼車庫	昭和57年 3月(1982. 3)	44	1	—	60.27	S	1 a
第15分団詰所（神成）	詰所兼車庫	平成29年 2月(2017. 2)	8	2	—	101.94	S	1 a

表 4-27 対象施設（分団詰所 2/2）

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
第16分団詰所	詰所兼車庫	昭和57年 6月(1982. 6)	43	2	—	77.63	S	I a
第17分団詰所（上組）	詰所兼車庫	昭和60年 3月(1985. 3)	41	2	—	120.00	S	I a
第18分団詰所	詰所兼車庫	令和 3年 2月(2021. 2)	5	2	—	165.02	S	I a
第19分団詰所（妙蓮寺）	詰所兼車庫	昭和56年 3月(1981. 3)	45	1	—	52.31	S	未診断
第19分団詰所（下条）	詰所兼車庫	平成31年 1月(2019. 1)	7	2	—	165.02	S	I a
第20分団詰所（上井出）	詰所兼車庫	昭和59年 3月(1984. 3)	42	2	—	145.52	S	I a
第20分団詰所（人穴）	詰所兼車庫	昭和60年11月(1985.11)	40	1	—	52.30	S	I a
第21分団詰所（猪之頭）	詰所兼車庫	昭和58年 3月(1983. 3)	43	2	—	146.44	S	I a
第21分団詰所（麓）	詰所兼車庫	昭和60年11月(1985.11)	40	1	—	19.87	W	I a
第22分団詰所（原）	詰所兼車庫	昭和63年 3月(1988. 3)	38	2	—	145.50	S	I a
第23分団詰所	詰所兼車庫	平成17年12月(2005.12)	20	1	—	76.58	S	I a
第24分団詰所	詰所兼車庫	平成13年 1月(2001. 1)	25	2	—	79.18	S	I a
第25分団詰所	詰所兼車庫	昭和61年 1月(1986. 1)	40	1	—	77.40	S	I a
第26分団詰所	詰所兼車庫	平成10年12月(1998.12)	27	2	—	79.29	S	I a
第27分団詰所	詰所兼車庫	平成17年 3月(2005. 3)	21	2	—	77.40	S	I a
第28分団詰所	詰所兼車庫	平成18年 2月(2006. 2)	20	2	—	77.40	S	I a



(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-28 施設の劣化状況調査結果（消防署）

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
中央消防署	庁舎	令和5年度長寿命化改修実施																
西消防署	庁舎	平成29年度及び令和7年度長寿命化改修実施																
中央消防署東分署	庁舎	令和6年度長寿命化改修実施																
西消防署上野分署	庁舎	B	B	D	D	-	-	-	E	A	-	A	A	-	-	-	A	-
西消防署北分署	庁舎	B	C	C	A	-	A	-	A	A	-	A	A	-	-	-	A	-
	訓練棟	B	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央消防署芝川分署	庁舎	B	E	D	-	-	-	A	-	A	-	A	A	-	-	-	E	-
芝川分署水防倉庫	倉庫	B	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

表 4-29 施設の劣化状況調査結果（分団詰所 1/2）

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
第1分団詰所	詰所兼車庫	A	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第2分団詰所	詰所兼車庫	A	B	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第3分団詰所	詰所兼車庫	A	C	B	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第4分団詰所	詰所兼車庫	A	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第5分団詰所	詰所兼車庫	A	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第6分団詰所(外神)	詰所兼車庫	A	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第6分団詰所(青木)	詰所兼車庫	B	A	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第6分団詰所(淀師)	詰所兼車庫	B	A	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第7分団詰所	詰所兼車庫	A	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	E	-
第8分団詰所	詰所兼車庫	A	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	B	-
第9分団詰所	詰所兼車庫	A	B	B	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第10分団詰所(安居山)	詰所兼車庫	A	B	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第10分団詰所(沼久保)	詰所兼車庫	D	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第11分団詰所(貫戸)	詰所兼車庫	A	D	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	-
第11分団詰所(黒田)	詰所兼車庫	D	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第11分団詰所(星山)	詰所兼車庫	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第12分団詰所(山本)	詰所兼車庫	B	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	B	-
第12分団詰所(小泉)	詰所兼車庫	A	A	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第13分団詰所	詰所兼車庫	B	A	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第14分団詰所(小泉)	詰所兼車庫	D	C	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

表 4-29 施設の劣化状況調査結果（分団詰所 2 / 2）

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
第14分団詰所(大岩)	詰所兼車庫	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第15分団詰所(二又)	詰所兼車庫	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第15分団詰所(村山)	詰所兼車庫	C	D	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第15分団詰所(神成)	詰所兼車庫	A	A	A	-	-	A	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第16分団詰所	詰所兼車庫	B	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-
第17分団詰所(上組)	詰所兼車庫	B	C	D	A	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第18分団詰所	詰所兼車庫	令和2年度竣工のため未実施																
第19分団詰所(妙蓮寺)	詰所兼車庫	B	C	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第19分団詰所(下条)	詰所兼車庫	A	A	A	A	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第20分団詰所(上井出)	詰所兼車庫	令和元年度長寿命化改修実施のため未実施																
第20分団詰所(人穴)	詰所兼車庫	B	D	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-
第21分団詰所(猪之頭)	詰所兼車庫	D	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	B	-
第21分団詰所(麓)	詰所兼車庫	A	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-
第22分団詰所(原)	詰所兼車庫	C	B	C	E	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第23分団詰所	詰所兼車庫	A	B	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第24分団詰所	詰所兼車庫	B	B	E	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第25分団詰所	詰所兼車庫	C	E	D	-	-	-	-	-	-	-	-	B	-	-	-	A	-
第26分団詰所	詰所兼車庫	A	B	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	E	-
第27分団詰所	詰所兼車庫	B	A	D	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
第28分団詰所	詰所兼車庫	A	A	C	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

(ア) 消防署

施設名称	現状と課題	
中央消防署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 25 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 5 (2023) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化の検討が必要です。</li> </ul>
西消防署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 29 (2017) 年度及び令和 7 (2025) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化の検討が必要です。</li> </ul>
中央消防署東分署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 29 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 6 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化の検討が必要です。</li> </ul>
西消防署上野分署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 21 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化の検討が必要です。</li> </ul>
西消防署北分署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 10 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
中央消防署芝川分署	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 34 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 5.0m～10.0m未満の区域に指定されているため、令和 10 年度にかけて洪水浸水想定区域外に移転を伴う建て替えを実施予定です。</li> </ul>
芝川分署水防倉庫	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 5.0m～10.0m未満の区域に指定されているため、令和 10 年度にかけて洪水浸水想定区域外に移転を伴う建て替えを実施予定です。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

(イ) 分団詰所

施設名称	現状と課題	
第1分団詰所	現状	・ 建築後 29 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第2分団詰所	現状	・ 建築後 32 年が経過しています。
	課題	・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第3分団詰所	現状	・ 建築後 22 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第4分団詰所	現状	・ 建築後 41 年が経過しています。
	課題	・ 品質※及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第5分団詰所	現状	・ 建築後 21 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第6分団詰所 (外神)	現状	・ 建築後 31 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第6分団詰所 (青木)	現状	・ 建築後 27 年が経過しています。
	課題	・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m 未満の区域に指定されています。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）  
 ※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
第6分団詰所 (淀師)	現状	・ 建築後 17 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第7分団詰所	現状	・ 建築後 31 年が経過しています。
	課題	・ 機能 <sup>※</sup> に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第8分団詰所	現状	・ 建築後 30 年が経過しています。
	課題	・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第9分団詰所	現状	・ 建築後 20 年が経過しています。
	課題	・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第10分団詰所 (安居山)	現状	・ 建築後 28 年が経過しています。
	課題	・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第10分団詰所 (沼久保)	現状	・ 建築後 32 年が経過しています。
	課題	・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 5.0m～10.0m 未満の区域に指定されています。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
第 11 分団詰所 (貫戸)	現状	・ 建築後 45 年が経過しています。
	課題	・ 品質*及び機能*ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 11 分団詰所 (黒田)	現状	・ 建築後 45 年が経過しています。
	課題	・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 11 分団詰所 (星山)	現状	・ 建築後 11 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 12 分団詰所 (山本)	現状	・ 建築後 36 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 12 分団詰所 (小泉)	現状	・ 建築後 25 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 13 分団詰所	現状	・ 建築後 19 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）  
 ※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
第14分団詰所 (小泉)	現状	・ 建築後37年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは0.5m未満～1.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第14分団詰所 (大岩)	現状	・ 建築後13年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第15分団詰所 (二又)	現状	・ 建築後15年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第15分団詰所 (村山)	現状	・ 建築後44年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第15分団詰所 (神成)	現状	・ 建築後9年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第16分団詰所	現状	・ 建築後43年が経過しています。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
第 17 分団詰所 (上組)	現状	・ 建築後 41 年が経過しています。
	課題	・ 品質 <sup>※</sup> に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 18 分団詰所	現状	・ 建築後 5 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 19 分団詰所 (妙蓮寺)	現状	・ 建築後 45 年が経過しています。
	課題	・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 19 分団詰所 (下条)	現状	・ 建築後 7 年が経過しています。
	課題	・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。
第 20 分団詰所 (上井出)	現状	・ 建築後 42 年が経過しています。 ・ 令和元（2019）年度に長寿命化改修を実施しました。
	課題	・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。 ・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

施設名称	現状と課題	
第20分団詰所 (人穴)	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後40年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第21分団詰所 (猪之頭)	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後43年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは0.5m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第21分団詰所 (麓)	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後40年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質及び機能※ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第22分団詰所 (原)	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後38年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 敷地の一部が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは0.5m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第23分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後20年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
第 24 分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 25 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域及び河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～3.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第 25 分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 40 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>※</sup>及び機能<sup>※</sup>ともに課題があるため、今後の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> <li>・ 敷地全体が河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 0.5m～1.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第 26 分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 27 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 敷地全体が土砂災害警戒区域及び河川の氾濫による洪水浸水想定区域内にあり、浸水想定深さは 1.0m～3.0m未満の区域に指定されています。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

施設名称	現状と課題	
第 27 分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 21 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>
第 28 分団詰所	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 20 年が経過しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>*</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化及び集約化の検討が必要です。</li> <li>・ 団員の活動拠点として管轄区域に配置しており、その組織、管轄区域は規則で定めていることから、集約化を図るには組織再編、規則改正が必要となります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

(2) 対策の内容と実施時期

ア 改修履歴と実施計画

(ア) 消防署

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
中央消防署	庁舎	令和5年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
西消防署	庁舎	平成28年度空調設備改修 平成29年度長寿命化改修 (建築) 令和2年度LED化改修 令和6・7年度長寿命化改修 (建築)	—	—	—
中央消防署東分署	庁舎	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械・電気)	—	—	—
西消防署上野分署	庁舎	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 71,300千円	—
西消防署北分署	庁舎	—	—	—	—
	訓練棟	—	—	—	—
中央消防署芝川分署	庁舎	—	造成工事 170,000千円	建設工事 267,500千円	建設工事 695,369千円
芝川分署水防倉庫	倉庫	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

## (イ) 分団詰所 (1/2)

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
第1分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第2分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第3分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第4分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第5分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第6分団詰所(外神)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第6分団詰所(青木)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第6分団詰所(淀師)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第7分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第8分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第9分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第10分団詰所 (安居山)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第10分団詰所 (沼久保)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第11分団詰所(貴戸)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第11分団詰所(黒田)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第11分団詰所(星山)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第12分団詰所(山本)	詰所兼車庫	—	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 20,400千円
第12分団詰所(小泉)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第13分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第14分団詰所(小泉)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第14分団詰所(大岩)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第15分団詰所(二又)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第15分団詰所(村山)	詰所兼車庫	—	—	長寿命化改修 (建築・機械) 12,800千円	—
第15分団詰所(神成)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第16分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

(イ) 分団詰所 (2 / 2)


施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
第17分団詰所(上組)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第18分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第19分団詰所 (妙蓮寺)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第19分団詰所(下条)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第20分団詰所 (上井出)	詰所兼車庫	令和元年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
第20分団詰所(人穴)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第21分団詰所 (猪之頭)	詰所兼車庫	—	—	旧詰所解体 7,000千円	—
第21分団詰所(麓)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第22分団詰所(原)	詰所兼車庫	—	—	—	—
第23分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第24分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第25分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第26分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第27分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—
第28分団詰所	詰所兼車庫	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

(ア) 消防署

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
中央消防署	1,606.78			「富士宮市消防総合基本計画」に基づく消防体制基盤の充実	
西消防署	724.22			「富士宮市消防総合基本計画」に基づき施設の配置を検討	
中央消防署東分署	293.37			「富士宮市消防総合基本計画」に基づく消防体制基盤の充実	
西消防署上野分署	340.27		長寿命化改修を実施	「富士宮市消防総合基本計画」に基づき施設の配置を検討	
西消防署北分署	853.87			「富士宮市消防総合基本計画」に基づく消防体制基盤の充実	
中央消防署芝川分署	503.27		更新 移転を伴う 建て替え		
芝川分署水防倉庫	196.05		更新 移転を伴う 建て替え		


凡例) 適切な維持管理の実施 : 

(イ) 分団詰所

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
第1分団詰所	102.80				
第2分団詰所	76.70			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第3分団詰所	102.80				
第4分団詰所	68.77		移転を伴う建て替え		
第5分団詰所	117.00			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第6分団詰所 (青木)	102.80			敷地の一部が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ0.5m未満)のため、施設の浸水対策について検討	
第6分団詰所 (外神)	76.80			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第6分団詰所 (淀師)	102.80				
第7分団詰所	76.80				
第8分団詰所	76.80				
第9分団詰所	102.80				
第10分団詰所 (安居山)	117.00			敷地全体が土砂災害警戒区域内のため、施設の移転を含め検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第10分団詰所 (沼久保)	64.20			敷地全体が洪水浸水想定区域内(浸水想定深さ5.0m～10.0m未満)のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第11分団詰所 (貫戸)	19.87			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第11分団詰所 (黒田)	65.22				
第11分団詰所 (星山)	101.94				
第12分団詰所 (山本)	77.40		長寿命化改修を実施		
第12分団詰所 (小泉)	117.00				
第13分団詰所	102.80				

凡例) 適切な維持管理の実施 : →

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
第14分団詰所（小泉）	76.70			敷地の一部が洪水浸水想定区域内（浸水想定深さ0.5m未満～1.0m未満）のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第14分団詰所（大岩）	101.94				
第15分団詰所（二又）	102.80				
第15分団詰所（村山）	60.27		長寿命化改修を実施	規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	更新 集約化
第15分団詰所（神成）	101.94			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第16分団詰所	77.63			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	更新 集約化
第17分団詰所（上組）	120.00			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	更新 集約化
第18分団詰所	165.02				
第19分団詰所（妙蓮寺）	52.31			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	
第19分団詰所（下条）	165.02				
第20分団詰所（人穴）	52.30			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	更新 集約化
第20分団詰所（上井出）	145.52			規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	更新 集約化

凡例) 適切な維持管理の実施 : 

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
第21分団詰所（麓）	19.87		第21分団詰所（猪之頭）へ集約		
第21分団詰所（猪之頭）	146.44		更新 移転を伴う 建て替え	敷地の一部が洪水浸水想定区域内（浸水想定深さ0.5m未満）のため、施設の浸水対策について検討	→
第22分団詰所（原）	145.50			敷地の一部が洪水浸水想定区域内（浸水想定深さ0.5m未満）のため、施設の浸水対策について検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	→
第23分団詰所	76.58			敷地全体が土砂災害警戒区域内のため、施設の移転も含め検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	→
第24分団詰所	79.18			敷地全体が土砂災害警戒区域内及び洪水浸水想定区域（浸水想定深さ1.0m～3.0m未満）のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	→
第25分団詰所	77.40				更新 集約化 敷地全体が洪水浸水想定区域内（浸水想定深さ0.5m～1.0m未満）のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討
第26分団詰所	79.29			敷地全体が土砂災害警戒区域内及び洪水浸水想定区域（浸水想定深さ1.0m～3.0m未満）のため、地域の浸水想定及び施設の機能・規模・利用状況を踏まえ、浸水対策のほか、移転等を含めて総合的に検討 規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討	→
第27分団詰所	77.40				→
第28分団詰所	77.40				規模及び配置の適正化を精査した上で、集約化等を検討 →

凡例) 適切な維持管理の実施 : →

### 13. 環境・衛生プラント

#### (1) 衛生プラント

表 4-30 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
衛生プラント	本館	昭和63年 9月(1988. 9)	37	2	1	2,253.59	RC	I a

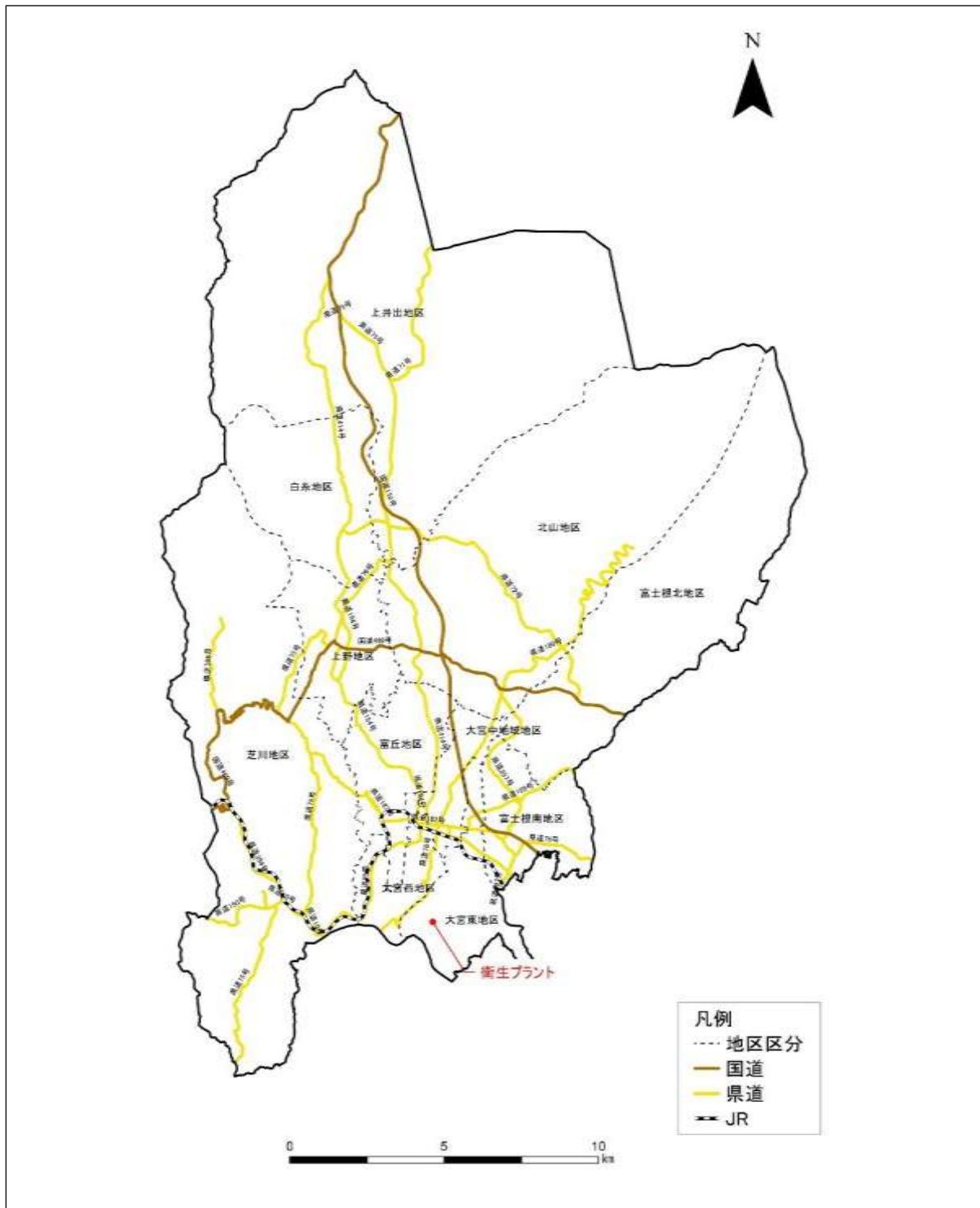


図 4-13 位置図

(1) 衛生プラント

ア 個別施設の状態等

(ア) 施設の概要

施設名称	富士宮市衛生プラント	
施設所管	富士宮市	
所在地	静岡県富士宮市星山 757	
施設規模	150 kl/日 (し尿 75 kl/日、浄化槽汚泥 75 kl/日)	
建設年月	着工	昭和 61 年 10 月
	竣工	平成元年 3 月
設計・施工	アタカ工業株式会社 (カナデビア株式会社)	
建設費	1, 258, 844 千円	
処理方式	高負荷脱窒素処理方式	
(1)	受入貯留設備	受入・除去・貯留設備
(2)	主処理設備	高負荷脱窒素処理設備
(3)	高度処理設備	砂ろ過処理設備＋活性炭吸着設備 (休止中)
(4)	汚泥処理設備	脱水設備 (脱水汚泥は場外搬出)
(5)	脱臭設備	高濃度 生物脱臭設備
		中低濃度 薬液洗浄脱臭設備＋活性炭吸着脱臭設備
処理工程	処理工程図 参照	

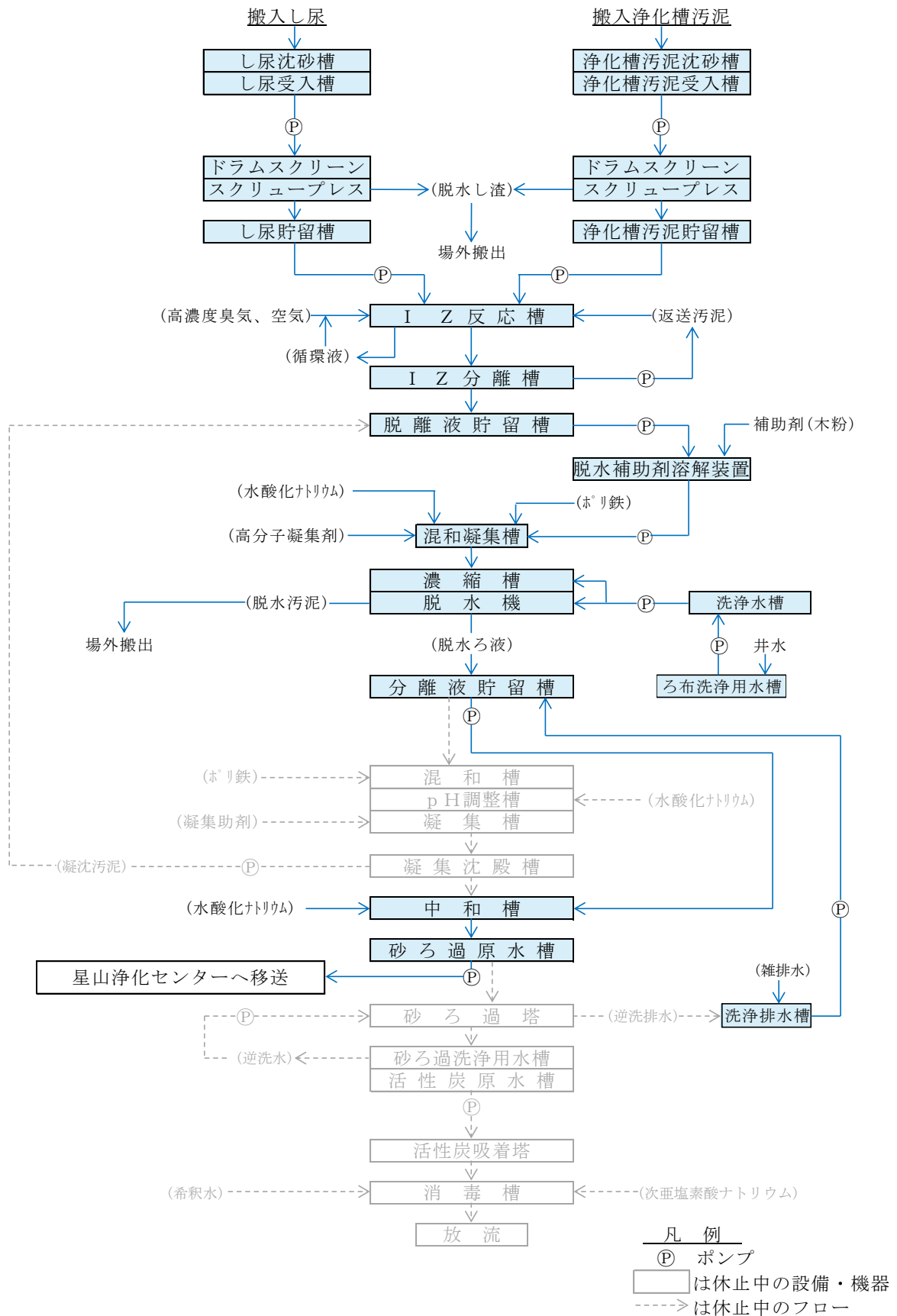
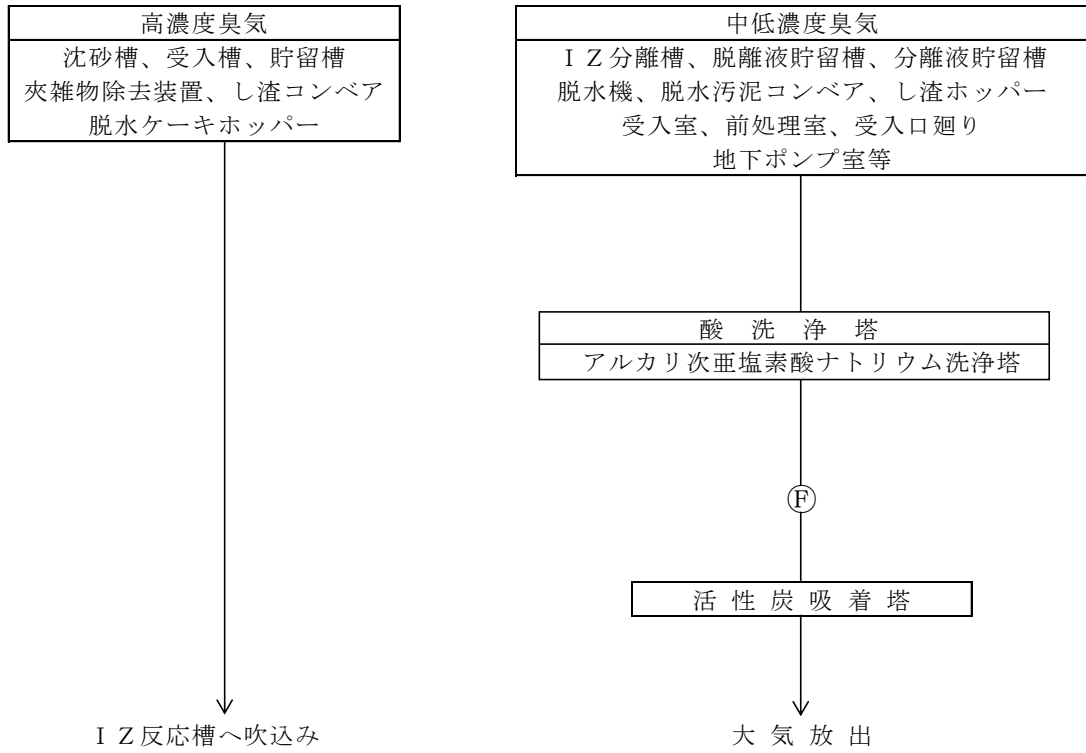


図 4-14 処理工程図 (水処理・汚泥処理)



凡 例  
 ① ファン

図 4-15 処理工程図 (脱臭工程)

(イ) 建築物等

a 劣化状況調査結果

表 4-31 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気						機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調
衛生プラント	本館	平成30年度長寿命化改修実施のため未実施															

b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
衛生プラント	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 37 年が経過しています。</li> <li>・ 平成 30 (2018) 年度に長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 令和 7 (2025) 年度に実施した耐震診断により、地下水槽部分等の耐震補強が必要な状況です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能<sup>※</sup>に課題があるため、維持管理・運営の効率化の検討が必要です。</li> <li>・ 人口減少に伴う稼働率の変動が見込まれることから、必要性及び効率性を見極めた上で適切な維持管理を継続していく必要があります。</li> </ul>

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

c 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴 <sup>※</sup>	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
衛生プラント	本館	平成30年度長寿命化改修(建築・機械)	—	施設改修実施設計 16,000千円	施設改修工事 20,000千円

※ 過去 10 年間（平成 28(2016)～令和 7(2025)年度）に実施した 500 万円以上の改修工事を記載

注) 実施計画は毎年見直すものとする。

d 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第 1 次再編計画 2022～2025	第 2 次再編計画 2026～2035	第 3 次再編計画 2036～2045	第 4 次再編計画 2046～2055
衛生プラント	2,253.59		地下水槽部分等の耐震化を検討	「星山浄化センター」との集約化に向けた検討	

凡例) 適切な維持管理の実施： →

## (ウ) 設備・機器

### a 健全度評価

各設備・機器の状態を把握するため、表 4-32 に示す精密機能検査を実施し、各設備・機器の健全度を評価しました。健全度は、表 4-33 に基づき 4 段階に分けて判定しました。結果については、123 ページ以降の「表 4-36 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-32 精密機能検査方法

区分	検査方法
土木・建築設備	外観検査、水槽検査※、軽打音検査、書類検査
機械設備・配管弁設備	外観検査、異音検査、触診検査、書類検査
電気計装	外観検査

※ し尿及び浄化槽汚泥受入槽、し尿及び浄化槽汚泥貯留槽、沈砂槽、分離液貯留槽、砂ろ過原水槽は清掃後の内部を目視検査。その他の槽は点検蓋周辺を目視検査

表 4-33 健全度判定基準

健全度	状態	措置
4	支障なし。	対処不要
3	軽微な劣化があるが、機能に支障なし。	経過観察
2	劣化が進んでいるが、機能回復が可能である。	部分補修・部品交換
1	劣化が進み、機能回復が困難である。	全交換

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（し尿処理施設・汚泥再生処理センター編）（平成 27 年 3 月改訂）」より出典

### b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
衛生プラント	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工から 37 年が経過しています。</li> <li>・平成 23 (2011) 年度～平成 24 (2012) 年度に設備・機器の基幹的設備改良工事を実施しました。</li> <li>・星山浄化センターで一部共同処理を行っていることにより現在休止中の設備がありますが、今後、更なる共同化を検討しています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 (2011) 年度～平成 24 (2012) 年度に実施した基幹的設備改良工事は、中央監視制御装置、高効率変圧器など CO<sub>2</sub> 削減効果の大きな設備を主に更新して延命化を図りましたが、その時に更新しなかった設備・機器、一部の水槽の老朽化の進行が顕著に表れています。</li> </ul>

### c 重要度評価

効果的に施設を保全管理していくために、設備・機器の重要性を表 4-34 に基づき評価しました。結果については、123 ページ以降の「表 4-36 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-34 重要度判定基準

重要度	状態
A	故障した場合に施設の運転停止に結びつく設備・機器
B	故障した場合でも、予備機で対応することができるなど、ある程度の冗長性を有するもの 施設の運転に重要で、修繕に日数を要し、かつ、高価な設備・機器
C	A及びBに分類されるもの以外の設備・機器

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き (し尿処理施設・汚泥再生処理センター編) (平成 27 年 3 月改訂)」より出典

### d 設備・機器の保全方式

設備・機器に対する保全方式は、それぞれの重要度に応じて表 4-35 に示す保全方式から選定します。

表 4-35 保全方式

保全方式		保全方式選定の留意点	設備・機器例
事後保全 (BM)	故障停止、又は著しく機能低下してから修繕を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障してもシステムを停止せず容易に保全可能なもの</li> <li>保全部材の調達が容易なもの</li> </ul>	照明装置、予備系列のあるポンプ類
予防保全 (PM)	時間基準保全 (TBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な劣化の兆候を把握が難しい、又はパッケージ化されて消耗部のみのメンテナンスが難しいもの</li> <li>構成部品に特殊部品があり、その調達期限があるもの</li> </ul>	コンプレッサ、ブロワ等回転機器類、電気計装部品、電気基板等
	状態基準保全 (CBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>摩耗、破損、性能劣化が、日常稼動中又は定期点検において、定量的に測定又は比較的容易に判断できるもの</li> </ul>	爽雑物除去装置、汚泥脱水機など予備系列のない大型機器の摩耗、RC 製水槽類の劣化・腐食等

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き (し尿処理施設・汚泥再生処理センター編) (平成 27 年 3 月改訂)」より出典

e 設備・機器別管理基準

設備・機器の健全度、重要度及び保全方式を踏まえて、表4-36のとおり設備・機器別管理基準を定めました。

表4-36 設備・機器別管理基準（1/9）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	EM	TBM	CEM				
受入貯留設備	受入室（投入室）	屋根防水	劣化	3	○					○	著しい漏水、変形がないこと	劣化、漏水状況	3年/回	10～15年
	受入口（し原用）		腐食、変形	4	○			○	○	①著しい腐食変形がないこと②正常に動作すること	腐食、変形状況 動作状況	2～3年/回	7～10年	
		（浄化槽汚泥用）		腐食、変形	4	○			○	○	①著しい腐食変形がないこと②正常に動作すること	腐食、変形状況 動作状況	2～3年/回	7～10年
	沈砂槽（し原用）		腐食、変形	3	○			○	○	○	①著しい腐食変形がないこと②正常に動作すること	腐食、変形状況 動作状況	2～3年/回	7～10年
		（浄化槽汚泥用）		腐食、変形	3	○			○	○	①著しい腐食変形がないこと②正常に動作すること	腐食、変形状況 動作状況	2～3年/回	7～10年
	沈砂除去装置（真空ポンプ）	真空ポンプ	腐食、摩耗	4		○				○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2～3年/回	7～10年
		（真空タンク）	パキニウムタンク	腐食、摩耗	4		○			○	腐食、穴空き等著しい劣化がないこと	腐食、運転状況	2～3年/回	7～10年
	エアバブル用コンプレッサー	水処理用空気圧縮機	摩耗、腐食	-	○				○	○	①異常音、振動、発熱がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7～10年
	排砂ビット	水槽防食	劣化、腐食	2			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視（防食層調査（剥離状況等）	1年/回	10～15年
		水槽漏水	劣化	2			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	1年/回	20～30年
	受入槽（し原用）	水槽防食	劣化、腐食	2			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視（防食層調査（剥離状況等）	1年/回	10～15年
		水槽漏水	劣化	2			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	1年/回	20～30年
	（浄化槽汚泥用）	水槽防食	劣化、腐食	2			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視（防食層調査（剥離状況等）	1年/回	10～15年
		水槽漏水	劣化	2			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	1年/回	20～30年
	破砕機（し原用）	シャフト	摩耗	4		○		○		○	著しい摩耗がないこと	メーカー基準値	半年/回	7～10年
		ケーシング	腐食	4		○		○		○	著しい減肉、破孔がないこと	メーカー基準値	半年/回	7～10年
	（浄化槽汚泥用）	シャフト	摩耗	4		○		○		○	著しい摩耗がないこと	メーカー基準値	半年/回	7～10年
		ケーシング	腐食	4		○		○		○	著しい減肉、破孔がないこと	メーカー基準値	半年/回	7～10年
	し原用計量ボックス	除鉄・除マンガン装置	腐食、変形	4	○					○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	2年/回	10～15年
	し原用ドラムスクリーン	ドラムスクリーン	腐食	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年
			摩耗劣化	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年
	し原用スクリュープレス	スクリュープレス	腐食	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年
			摩耗劣化	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年
し原用油圧ユニット	スクリュープレス油圧ユニット	腐食	-	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年	
浄化槽汚泥用計量ボックス	除鉄・除マンガン装置	腐食、変形	4	○					○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	2年/回	10～15年	
浄化槽汚泥用ドラムスクリーン	ドラムスクリーン	腐食	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年	
		摩耗劣化	1	○					○	①著しい発熱、腐食がないこと②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7～10年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-36 設備・機器別管理基準 (2/9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理事例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	FM	TBM	CM				
受入貯留設備	浄化槽汚泥用スクリープレス	スクリープレス	腐食	1	○				○		①著しい劣化、腐食がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7~10年
			摩耗劣化	1	○				○		①著しい劣化、腐食がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7~10年
	浄化槽汚泥用油圧ユニット	スクリープレス油圧ユニット	腐食	-	○				○		①著しい劣化、腐食がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2年/回	7~10年
	高圧温水洗浄装置	高圧温水洗浄装置	腐食	-			○	○			漏水・漏れ、腐食、変形、亀裂のないこと	腐食状況、運転状況	2~3年/回	10~15年
	N0-1し道コンベアー	きょう雑物搬送装置	摩耗、腐食	3	○					○	著しい劣化、腐食、摩耗がないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年
	N0-2し道コンベアー	きょう雑物搬送装置	摩耗、腐食	3	○					○	著しい劣化、腐食、摩耗がないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年
	N0-3し道コンベアー	きょう雑物搬送装置	摩耗、腐食	3	○					○	著しい劣化、腐食、摩耗がないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年
	し道ホッパー(コンベアー付き)	きょう雑物貯留ホッパー	摩耗、腐食	4	○					○	著しい劣化、腐食、摩耗がないこと	腐食、運転状況	2~3年/回	7~10年
	し尿貯留槽	水槽防食	劣化、腐食	2			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	1年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	2			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	1年/回	20~30年
	し尿スカムポンプ	貯留槽スカム破砕ポンプ	摩耗、腐食	4			○	○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	し尿投入ポンプ	し尿等投入ポンプ	摩耗、腐食	4		○		○	○		①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	浄化槽汚泥スカムポンプ	貯留槽スカム破砕ポンプ	摩耗、腐食	4			○	○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	浄化槽汚泥投入ポンプ	し尿等投入ポンプ	摩耗、腐食	4		○		○	○		①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	浄化槽汚泥貯留槽	水槽防食	劣化、腐食	2			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	1年/回	10~15年
水槽漏水		劣化	2			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	1年/回	20~30年	
高負荷脱窒素処理設備	反応槽(消化脱窒素槽)	水槽防食	劣化、腐食	3	○				○		著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	3	○				○		著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	I・2階機ポンプ(製薬品)		摩耗、腐食	2		○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
	オーバーフローシャフト		摩耗、腐食	3	○			○		①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	サンプリングポンプ	活性供 洗浄プロブ	摩耗、腐食	4			○	○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	内紋循環ポンプ		摩耗、腐食	4			○	○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	冷却水ポンプ	冷却水ポンプ	劣化	2			○	○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	クーリングタワー	冷却塔	劣化	3			○			○	異常音・振動がないこと	劣化状況	3年/回	7~10年
	熱交換器	熱交換器	摩耗、腐食	4		○				○	腐食・変形・亀裂等著しい損傷のないこと	摩耗、腐食状況	1年/回	7~10年
	清濁剤貯留タンク(2m)	清濁剤貯留槽	劣化	4			○			○	清濁剤漏れ・変形・亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	清濁剤注入ポンプ	清濁剤 注入ポンプ	劣化、腐食	4			○	○		○	異常音・振動がないこと	劣化、腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年
	清濁装置	清濁剤 注入ポンプ	劣化、腐食	3	○			○		○	異常音・振動がないこと	劣化、腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年
	総流ピット	水槽防食	劣化、腐食	-			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	-			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-36 設備・機器別管理基準 (3/9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	EM	TBM	CEM				
高負荷脱窒素処理設備	換ガスビット	水槽防食	劣化、腐食	-			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	-			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	分離槽	水槽防食	劣化、腐食	4	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	4	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	分離槽汚泥掻き機		摩耗、腐食	4	○					○	著しい摩耗、腐食がないこと	摩耗、腐食状況	3年/回	10~15年
	送泥汚泥ポンプ		摩耗、腐食	4		○		○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	分離槽用スカムビット	水槽防食	劣化、腐食	3			○			○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	3			○			○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
分離槽用スカムポンプ	スカムポンプ	摩耗、腐食	4			○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
固液分離設備汚泥脱水機設備	脱離液貯留槽	水槽防食	劣化、腐食	2	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	2	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	脱離液掻き機ポンプ	濃縮汚泥引込ポンプ	摩耗、腐食	3		○		○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	脱離液掻き機シャフト	濃縮汚泥攪拌装置	劣化、腐食	-			○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	脱離液集束板	濃縮汚泥攪拌装置	劣化、腐食	-			○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	脱離液攪拌機ポンプ	濃縮汚泥引込ポンプ	摩耗、腐食	4		○		○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	脱離液供給ポンプ	濃縮汚泥引込ポンプ	摩耗、腐食	4		○		○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	脱水補助剤供給装置(新設)		摩耗、腐食	4	○			○		○	著しい発熱、腐食、摩耗がないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年
	脱水補助剤溶解装置(新設)	攪拌装置	劣化、腐食	4	○			○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
		脱水補助剤溶解	劣化	4	○					○	漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	汚泥移送ポンプ(新設)	汚泥移送ポンプ	摩耗、腐食	4		○		○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3~4年/回	7~10年
	脱水補助剤供給装置用コンプレッサ(新設)	空気圧縮機	摩耗、腐食	-	○			○		○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	10~15年
	ポリマー溶解槽	無機系調質剤貯留	劣化	3	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	ポリマー溶解攪拌機	無機系調質剤貯留	劣化	3	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	ポリマー注入ポンプ	無機系調質剤注入ポンプ	劣化、腐食	4		○		○		○	異常音・振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年
	凝集剤混合槽	無機系調質剤貯留	劣化	4	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	凝集剤混合槽攪拌機	無機系調質剤貯留	摩耗、腐食	4	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	摩耗、腐食状況	3年/回	10~15年
	凝集剤原液貯留タンク(3m)	無機系調質剤貯留	劣化	4	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	凝集剤原液移送ポンプ	無機系調質剤注入ポンプ	劣化、腐食	4		○		○		○	異常音・振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-36 設備・機器別管理基準 (4 / 9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理権利	診断頻度	目標耐用年数	
					A	B	C	IM	TIM	CEM					
固液分離設備 汚泥脱水機設備	ろ布洗浄水槽	水槽防食	劣化、腐食	4	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	4	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	ろ布洗浄水槽ドレンポンプ	分離液移送ポンプ	摩耗、腐食	3		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	ろ布洗浄ポンプ	分離液移送ポンプ	摩耗、腐食	2		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	ろ布洗浄水槽排水ポンプ	分離液移送ポンプ	摩耗、腐食	3		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	脱水機	脱水機	腐食、摩耗	2		○				○	①異常音、振動、発熱がないこと ②内部に傷、摩耗がないこと ③性能が低下していないこと	メーカー基準値	1~2年/回	7~10年	
	N0-1 ケーキコンベアー	脱水汚泥搬送装置	摩耗、腐食	2	○					○	著しい発熱、腐食、摩耗のないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年	
	N0-2 ケーキコンベアー	脱水汚泥搬送装置	摩耗、腐食	2	○					○	著しい発熱、腐食、摩耗のないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年	
	N0-3 ケーキコンベアー	脱水汚泥搬送装置	摩耗、腐食	2	○					○	著しい発熱、腐食、摩耗のないこと	腐食、摩耗状況	2~3年/回	7~10年	
	ケーキホッパー (コンベアー付き)	脱水汚泥貯留ホッパー	摩耗、腐食	2	○					○	著しい発熱、腐食、摩耗のないこと	腐食、運転状況	2~3年/回	7~10年	
	分離液貯留槽	水槽防食	劣化、腐食	3	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	3	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	分離液循環ポンプ	濃縮汚泥引抜ポンプ	摩耗、腐食	4		○				○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	分離液循環シャフト	濃縮汚泥攪拌装置	劣化、腐食	-		○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	分離液衝突板	濃縮汚泥攪拌装置	劣化、腐食	-		○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年
	分離液移送ポンプ	濃縮汚泥引抜ポンプ	摩耗、腐食	4		○				○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	分離液移送ポンプ (下水へ)	濃縮汚泥引抜ポンプ	摩耗、腐食	4		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	分離液希釈水ポンプ (下水へ)	濃縮汚泥引抜ポンプ	摩耗、腐食	-		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	分離液攪拌ポンプ	濃縮汚泥引抜ポンプ	摩耗、腐食	2		○	○			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	床排水ポンプ	床排水ポンプ	摩耗、腐食	-		○	○			○	異常音・振動・発熱がないこと	性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
福集沈殿池 脱泥設備	混和槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	FI調整槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	懸架槽	水槽防食	劣化、腐食	4	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	4	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	懸架沈殿槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層調査(剥離状況等))	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器。休止中の設備・機器は、網掛けで表示

表 4-36 設備・機器別管理基準 (5/9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理役割	診断頻度	目標耐用年数	
					A	B	C	PM	TBM	CBM					
凝集沈殿処理設備	中和槽	水槽防食	劣化、腐食	3	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	3	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	混和槽アルカリ注入ポンプ	劣化、腐食	-	○		○			○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	薬注スカムピット	水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
	ポリ鉄注入ポンプ	混和槽アルカリ注入ポンプ	劣化、腐食	4	○		○			○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	アルカリ注入ポンプ	混和槽アルカリ注入ポンプ	劣化、腐食	-	○		○			○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	中和槽アルカリ注入ポンプ	混和槽アルカリ注入ポンプ	劣化、腐食	-	○		○			○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	混和槽攪拌機	混和槽攪拌機	腐食、減耗	-	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②著しい摩耗、腐食がないこと	腐食、減耗状況	3年/回	10~15年	
	円調整攪拌機	混和槽攪拌機	腐食、減耗	-	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②著しい摩耗、腐食がないこと	腐食、減耗状況	3年/回	10~15年	
	ポリ鉄貯留タンク(5m)	無機薬集剤貯留	劣化	4	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年	
	水酸化ナトリウム貯留タンク(8m)	無機薬集剤貯留	劣化	4	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年	
	薬集剤溶解タンク	無機薬集剤貯留	劣化	-	○					○	薬品漏れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年	
	薬集剤溶解攪拌機	混和槽攪拌機	腐食、減耗	-	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②著しい摩耗、腐食がないこと	腐食、減耗状況	3年/回	10~15年	
	薬集用ブロー	活性炭 洗浄ブロー	摩耗、腐食	4	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
	薬集剤注入ポンプ	混和槽アルカリ注入ポンプ	劣化、腐食	-	○		○			○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	薬沈汚泥掻き機		摩耗、腐食	-	○					○	著しい摩耗、腐食がないこと	摩耗、腐食状況	3年/回	10~15年	
	薬沈掃出ポンプ		摩耗、腐食	-	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	高度処理設備	砂ろ過原水槽	水槽防食	劣化、腐食	3	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
			水槽漏水	劣化	3	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
砂ろ過原水ポンプ		砂ろ過原水ポンプ	摩耗、腐食	4	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
砂ろ過塔		砂ろ過装置	腐食、変形	-	○					○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	2~3年/回	10~15年	
		ろ材	劣化	-	○					○	性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
洗浄排水槽		水槽防食	劣化、腐食	4	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	4	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
砂ろ過洗浄排水ポンプ		砂ろ過 洗浄ポンプ	摩耗、腐食	4	○					○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
洗浄用水槽		水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器。休止中の設備・機器は、網掛けで表示

表 4-36 設備・機器別管理基準 (6/9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理経路	診断頻度	目標耐用年数		
					A	B	C	TM	TBM	CBM						
高度処理設備	砂ろ過洗ポンプ	砂ろ過 洗浄ポンプ	摩耗、腐食	-	○					○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
	砂ろ過洗浄ブロー	砂ろ過 洗浄ブロー	摩耗、腐食	-	○					○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
	活性炭原水槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○						○	○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	-	○						○	○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	活性炭原水ポンプ	活性炭原水ポンプ	摩耗、腐食	-	○					○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	活性炭吸着塔	活性炭吸着装置	腐食、変形	-	○						○	○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	2~3年/回	10~15年
		活性炭	劣化	-	○						○	○	①性能が低下していないこと ②着色のないこと	メーカー基準値	1年/回	7~10年
	再生炭貯槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○						○	○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
水槽漏水		劣化	-	○						○	○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年	
活性炭移送ポンプ	活性炭 洗浄ポンプ	摩耗、腐食	-	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
活性炭洗浄ポンプ	活性炭 洗浄ポンプ	摩耗、腐食	-	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7~10年	
清毒処理設備	清毒槽	水槽防食	劣化、腐食	-	○					○	○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年	
		水槽漏水	劣化	-	○						○	○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	次亜塩素酸ソーダ貯留タンク(2m <sup>3</sup> )	清毒剤貯留槽	劣化	4	○						○	○	アルカリ流れ、変形、亀裂のないこと	劣化状況	3年/回	10~15年
	次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	清毒剤 注入ポンプ	劣化、腐食	-	○					○	○	異常音、振動がないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年	
	放流ピット	水槽防食	劣化、腐食	-	○						○	○	著しい腐食、剥離がないこと	目視(防食層)調査(剥離状況等)	3年/回	10~15年
		水槽漏水	劣化	-	○						○	○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20~30年
	放流水電磁流量計(交換構造付)	液面計	機能点検 計器調整部品 交換	-	○						○	○	機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	有機汚濁モニタ(水中ポンプ付き)	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-	○						○	○	機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	プラント用水ポンプ	モニタリングポンプ	摩耗、腐食	-	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年
	井戸水ポンプ	モニタリングポンプ	摩耗、腐食	-	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	腐食状況 性能(吐出量)状況	3年/回	7~10年
取水給水設備	活性炭移送水供給ポンプ	取水ポンプ	摩耗、腐食	-	○					○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年	
	プラント用水ポンプ	取水ポンプ	摩耗、腐食	3	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	生活用水ポンプ	取水ポンプ	摩耗、腐食	3	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	受水タンク	除鉄・除マンガン装置	腐食、変形	4	○						○	○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	3年/回	10~15年
	希釈水ポンプ	取水ポンプ	摩耗、腐食	3	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年
	取水ポンプ	取水ポンプ	摩耗、腐食	2	○						○	○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年/回	7~10年

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器。休止中の設備・機器は、網掛けで表示

表 4-36 設備・機器別管理基準（7 / 9）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理事例	診断頻度	目標耐用年数	
					A	B	C	EM	TBM	CEM					
取水給水設備	濾過器（ポンプ付き）	除鉄・除マンガン装置	腐食、変形	-	○					○	著しい腐食、変形がないこと	メーカー基準値	3年/回	10～15年	
	受水槽	水槽防食	劣化、腐食	4	○					○	著しい腐食、剥離がないこと	目視（防食層調査（剥離状況等））	3年/回	10～15年	
		水槽漏水	劣化	4	○					○	著しい漏水、クラックがないこと	目視、指触	3年/回	20～30年	
脱臭設備	アルカリ洗浄循環ポンプ	酸循環ポンプ	摩耗、腐食	3		○				○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7～10年	
	酸洗浄循環ポンプ	酸循環ポンプ	摩耗、腐食	3		○				○	①異常音、振動、発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年/回	7～10年	
	脱臭水酸化ナトリウム注入ポンプ	脱臭用酸注入ポンプ	劣化、腐食	4		○				○	異常音、振動がないこと	劣化、腐食状況 性能（吐出量）状況	3年/回	7～10年	
	脱臭次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ	脱臭用酸注入ポンプ	劣化、腐食	3		○				○	異常音、振動がないこと	劣化、腐食状況 性能（吐出量）状況	3年/回	7～10年	
	硫酸注入ポンプ	脱臭用酸注入ポンプ	劣化、腐食	3		○				○	異常音、振動がないこと	劣化、腐食状況 性能（吐出量）状況	3年/回	7～10年	
	臭気ファン	中濃度臭気吸引ファン	異音、振動腐食	2		○				○	①異常音、振動、発熱、腐食がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2～3年/回	7～10年	
	ダクトファン	吸排気設備	摩耗、腐食	3		○				○	著しい摩耗、腐食がないこと	腐食状況	3年/回	7～10年	
	酸・アルカリ洗浄脱臭塔	酸洗浄塔	劣化、腐食	2		○				○	臭気漏れ、変形、亀裂がないこと	腐食状況運転状況	3年/回	10～15年	
	硫酸貯留タンク	低濃度 活性炭着塔	劣化、腐食	2		○				○	臭気漏れ、変形、亀裂がないこと	腐食状況運転状況	3年/回	10～15年	
	活性炭脱臭塔	低濃度 活性炭着塔	劣化、腐食	2		○				○	臭気漏れ、変形、亀裂がないこと	腐食状況運転状況	3年/回	10～15年	
	ミストセパレータ	吸排気設備	摩耗、腐食	3		○				○	著しい摩耗、腐食がないこと	摩耗、腐食状況	3年/回	7～10年	
	電気計装設備	中央監視室			-	○									
中央監視盤1		本体	動作確認	-	○					○	動作が正常であること		1～2年/回	10～15年	
中央監視盤2		本体	動作確認	-	○					○	動作が正常であること		1～2年/回	10～15年	
中央監視盤3		本体	動作確認	-	○					○	動作が正常であること		1～2年/回	10～15年	
中央監視盤4		本体	動作確認	-	○					○	動作が正常であること		1～2年/回	10～15年	
L-2盤		本体	動作確認	-	○					○	動作が正常であること		1～2年/回	10～15年	
プータローガシステム			機能点検	-	○					○	機能が正常であること	メーカー保守可能 期間内、外	1～2年/回	7～10年	
トラックスケール		データ処理装置	システム動作状況	4		○					○	動作不良のないこと	システム動作状況	1～2年/回	5～7年
			システム老朽化	4		○					○	故障頻度が高くないこと	劣化状況	1～2年/回	5～7年
				4		○					○	OS、ソフトメーカーの保守部品補給が可能な期間であること	メーカー保守可能 期間内、外	1～2年/回	5～7年
電氣盤			-	○											
受電盤	高圧受電盤	外観点検、増設の操作機構点検 接地線点検 遮断機試験 増設機器試験 絶縁診断	-		○					○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	①電技解釈による 基準値	1年/回	10～15年	
400V動力盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○					○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	①電技解釈による 基準値	1年/回	10～15年	
200V動力盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○					○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	①電技解釈による 基準値	1年/回	10～15年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-36 設備・機器別管理基準（8 / 9）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TBM	CBM				
電気計装設備	電灯版	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○		○			①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	コンデンサ盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-	○				○		①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	発電機室			3			○							
	発電機	発電機	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-			○			○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	室内外照明機器	液面計	機能点検 計器調整部品 交換	-			○	○			機能が正常であること		1～2年/回	7～10年
	電動シャッター	液面計	機能点検 計器調整部品 交換	-			○	○		○	機能が正常であること		1～2年/回	7～10年
	冷暖房機器	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-		○		○	○		機能が正常であること		1～2年/回	7～10年
	汚泥脱水機設備操作盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	2	○					○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	分離液移送ポンプ操作盤 (下水へ)	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	4			○			○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	地下			-		○								
	現場操作盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	4		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	現場電磁弁盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	現場開閉器盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	1階			-		○				○				
	現場操作盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	4		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	現場電磁弁盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	現場開閉器盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	2階			-		○								
	現場操作盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	4		○				○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
	現場電磁弁盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○		○	○		①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年
現場開閉器盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○		○	○		①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10～15年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-36 設備・機器別管理基準 (9 / 9)

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TBM	CBM				
電気計装設備	屋上			-		○								
	現場操作盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○			○	○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10~15年
	現場電磁弁盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○		○	○		①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10~15年
	現場開閉器盤	動力制御盤	絶縁抵抗測定 遮断機試験	-		○		○	○		①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理地以上であること②動作が正常であること	①電技解釈による基準線	1年/回	10~15年
	P、H計	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-		○		○	○		機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	O、R、P計	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-		○			○		機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	D、O計	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-		○			○		機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	電磁流量計 (各流量計)	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-		○			○		機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	液位計 (レベル計)	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-	○				○		機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	計装			-	○									
	コンプレッサー	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-	○				○	○	機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	アフタークーラー	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-	○				○	○	機能が正常であること		1~2年/回	7~10年
	エアードライヤー	液面計	機能点検計器 調整部品交換	-	○				○	○	機能が正常であること		1~2年/回	7~10年

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器



表4-37 整備履歴 (2/9)

設備	装置・機種	形式・主要部材	所属内容															
			平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)				
製氷機	冷凍コンベア	スクリーン・チエーン																
	冷凍ホッパ(コンベア付き)	SIS																
	印刷管理	EC, FFP																
	し尿スラムポンプ	浮遊			No.2 浮遊部品交換	No.1 浮遊部品交換												
	し尿投入ポンプ	軸ネジ			No.1 浮遊部品交換													
	浄化槽汚泥吸入ポンプ	浮遊			No.2 浮遊部品交換													
	浄化槽汚泥吸入ポンプ	軸ネジ			浮遊部品交換													
	浄化槽汚泥管理	EC, FFP																
	配管																	
	反応槽(硝化脱窒槽)		EC															
電気設備	1.2 循環ポンプ (浮遊品)	浮遊			No.1 浮遊部品交換	No.2 浮遊部品交換												
	オーバーフローシャフト	SIS																
	サンプリングポンプ	軸ネジ			No.2 浮遊部品交換	No.2 浮遊部品交換												
	汚泥循環ポンプ	浮遊			No.2 浮遊部品交換	No.1 浮遊部品交換												
	汚泥ホッパ	浮遊			No.2 浮遊部品交換	No.2 浮遊部品交換												
	クローリングロー	丸型																
	無交換器	スライダル																
	汚泥管理タンク(2F)	FFP																
	汚泥投入ポンプ	ダイヤラム																
	汚泥管理	機材式																
濁流ピット																		

(注) 主要設備・機器に対して、過去10年(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施したすべての補修・整備を記載





表4-37 整備履歴 (5/9)

設備	装置・機種	型番・主要部材	数量	設置内訳													
				平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)				
実業用設備	排水貯留タンク		2														
	排水貯留タンク用ポンプ		2														
	排水用フロア	ルーフ	1														
	排水貯留タンク	ダイヤフラム	2														
	排水貯留タンク	中心駆動	1														
	排水貯留タンク	浮動	2														
	排水貯留タンク	EC	1														
	排水貯留タンク	浮動	2														
	排水貯留タンク	SS	1														
	排水貯留タンク	EC	1														
実業用設備	排水貯留タンク	浮動	2														
	排水貯留タンク	SS	1														
	排水貯留タンク	EC	1														
	排水貯留タンク	EC	1														
	排水貯留タンク	浮動	1														
	排水貯留タンク	ルーフ	1														
	排水貯留タンク	EC	1														
	排水貯留タンク	浮動	2														
	排水貯留タンク	SS	1														
	排水貯留タンク	浮動	1														
排水設備	排水																
	排水	FRP	1														
	排水	FRP	1														
	排水	ダイヤフラム	1														
	排水		1														
	排水		1														
	排水		1														
	排水		1														
	排水		1														
	排水		1														

(注) 主要設備・機器に対して、過去10年(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施したすべての補修・整備を記載

表4-37 整備履歴 (6/9)

設備	設備・機種	形式・主要材料	数量	整備内容															
				平成26年度 (2016)	平成27年度 (2017)	平成28年度 (2018)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)								
	汚水浄化槽		1																
配水・浄水	プラント取水ポンプ	加圧機	1																
	生活排水ポンプ	加圧機	1																
	雨水ポンプ	圧機	1																
	排水ポンプ	圧機	2																
	排水ポンプ	圧機	1																
	排水ポンプ	圧機	1																
	排水ポンプ	圧機	1																
	排水ポンプ	圧機	1																
	排水ポンプ	圧機	2																
	排水ポンプ	圧機	1																
配電設備	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	1																
	高圧変圧機	変圧機	1																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
	高圧変圧機	変圧機	2																
配管設備	高圧配管	パイプ	2																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																
	高圧配管	パイプ	1																

注) 主要設備・機器に対して、過去10年(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施したすべての補修・整備を記載

表4-37 整備履歴 (7/9)

設備	仕様・機器	形式・主要材料	数量	整備内容																		
				平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)									
中央監視室			1																			
				中央監視器 1																		
				中央監視器 2																		
				中央監視器 3																		
				中央監視器 4																		
保安監視設備			1	監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
保安監視設備			1	監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
保安監視設備			1	監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		
				監視カメラ設置																		

(注) 主要設備・機器に対して、過去10年(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施したすべての補修・整備を記載

表4-37 整備履歴 (8/9)

年度	施設・機器	形式・主要仕様	数量	整備内容												
				平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和3年度 (2019)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)					
警察本部 警備課	分署ご特定ゲージ検出器 (Tホベ)		1													
	地下		1													
	防音機作製															
	防音電灯工事															
	防音機調整															
	1階		1													
	防音機作製															
	防音電灯工事															
	防音機調整															
	2階		1													
警察本部 警備課	防音機作製															
	防音電灯工事															
	防音機調整															
	防音機作製															
	防音電灯工事															
	防音機調整															
	防音機作製															
	防音電灯工事															
	防音機調整															
	防音機作製															
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																
防音機調整																
防音機作製																
防音電灯工事																



(b) 整備計画

表 4-38 整備計画 (1 / 7)

設備	○：補修等									
	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)
装置・機器										
受入室 (投入室)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
受入口 (し尿用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(浄化槽汚泥用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沈砂槽 (し尿用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(浄化槽汚泥用)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沈砂除去装置 (真空ポンプ)	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
(真空タンク)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排砂ビット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
受入槽 (し尿用)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
(浄化槽汚泥用)	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
破砕機 (し尿用)	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
(浄化槽汚泥用)	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
前処理機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
し尿用計量ボックス	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
し尿用ドラムスクリーン	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
し尿用スクリュエープレス	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
し尿用油圧ユニット	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥用計量ボックス	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥用ドラムスクリーン	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥用スクリュエープレス	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥用油圧ユニット	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
高圧温水洗浄装置	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
NO-1 し尿コンパアー	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
NO-2 し尿コンパアー	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
NO-3 し尿コンパアー	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
し尿コホッパー (コンバアー付き)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
し尿貯留槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
し尿スクラムポンプ	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
し尿投入ポンプ	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥スクラムポンプ	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥投入ポンプ	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
浄化槽汚泥貯留槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

受入貯留設備

表 4-38 整備計画 (2 / 7)

設備	装置・機器	○：補修等																			
		令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)										
高負荷脱窒素装置	反応槽 (消化脱窒素槽)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	I・Z循環ポンプ (開閉品)	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	オーバーフローシャフト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	サンプリングポンプ	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	内液循環ポンプ	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	冷却水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クーリングタワー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	熱交換器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消化剤貯留タンク (2m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消化剤注入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消化装置	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	越流ピット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排ガスピット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	分離槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	分離槽汚泥掻き機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	移送汚泥ポンプ	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	分離槽用スクラムピット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	分離槽用スクラムポンプ	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	固液分離設備	脱離液貯留槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		脱離液循環ポンプ	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脱離液循環シャフト		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱離液衝突版		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱離液攪拌ポンプ		-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱離液供給ポンプ		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱水補助供給装置		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱水補助溶解装置		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
汚泥移送ポンプ		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
脱水補助供給装置用コンプレッサ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ポリマー溶解槽		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ポリマー溶解槽攪拌機		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表 4-38 整備計画 (3/7)

設備	装置・機器	○：補修等														
		令和4年度 (2026)	令和5年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)					
図章分館 観覧棟 展示室 図書室 水産交流室	ゴミマワー進入ポンプ	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	暖房設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	暖房設備換気機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	換気扇取付予定タンク (3㎡)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	換気扇取付移送ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ゴミ搬入ポンプ	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ろ過浄水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ろ過浄水ポンプドレンポンプ	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ろ過浄水ポンプ	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ろ過浄水ポンプ換水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雨水ポンプ	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	00-1 ケーネコンバスター	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	00-2 ケーネコンバスター	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	00-3 ケーネコンバスター	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ケーネコンバスター (コンバスター付)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	分館取付設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	分館取付ポンプ	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	分館取付シャフト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	分館取付弁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	分館取付移送ポンプ	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
分館取付移送ポンプ (下水へ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
分館取付換水ポンプ (下水へ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
分館取付換水ポンプ	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
換水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
暖房機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
防音設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
換気機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
換気機設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中和槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
次亜塩素酸ソーダ投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
薬液スカムピスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ゴミ搬入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表 4-38 整備計画 (4 / 7)

設備	設置・機器	○：整備等												
		令和3年度 (2025)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)			
堤原北地区 処理設備	アルカリ投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中和槽アルカリ投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	濃和槽送排機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汚濁監視送排機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ポリ砂野留タンク (5m <sup>3</sup> )	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水酸化ナトリウム野留タンク (5m <sup>3</sup> )	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	懸濁物溶解タンク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	懸濁物溶解送排機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	掃集用ブロー	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	懸濁物投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	懸濁物送排機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	懸濁物送排ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	砂ろ過器水槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	砂ろ過器	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	堤原北地区 処理設備	洗淨排水槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洗淨用水槽		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砂ろ過器排水ポンプ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 4-38 整備計画 (5 / 7)

設備	装置、機器	○：補修等											
		令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)		
汚水処理設備	汚水槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	次亜塩素酸ソーダ貯留タンク (2m <sup>3</sup> )	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	次亜塩素酸ソーダ投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投薬ピスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	次亜水酸化装置 (投薬機含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有機物分解ユニット (水中ポンプ付)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	井戸水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	遊離性亜塩素酸供給ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プラント用ポンプ	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活用水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取水・給水設備	給水タンク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	給水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	取水ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浄水器 (ポンプ付き)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	給水槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アルカリ洗浄機ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	熱洗浄機ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	原水水酸化ナトリウム投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	原水水酸化装置ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	硫酸投入ポンプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配水設備	電気ファン	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	ダクトファン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	熱・アルカリ洗浄機設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	硫酸貯留タンク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	衛生用洗剤槽	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	エラストマパレータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	オーバーフローシャフト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	硫酸処理機 (脱色処理・しぼり機)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



表 4-38 整備計画（7 / 7）

設備	装置・機器	○：補修等																				
		令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)											
電気 計 装 設 備	2階	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	現場操作盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	現場電磁弁盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	現場開閉器盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	装置・機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	屋上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現場操作盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現場電磁弁盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	現場開閉器盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	P.H計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	O.R.P計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	D.O計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電磁流量計（各流量計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	液位計（レベル計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コンプレッサー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アフタークーラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エアードライヤー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(2) 富士宮聖苑

表 4-39 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士宮聖苑	火葬棟・収骨室	昭和57年 3月 (1982. 3)	44	2	-	842.62	RC	II
	待合棟・渡廊下	昭和57年 3月 (1982. 3)	44	1	-	829.78	RC+S	I a

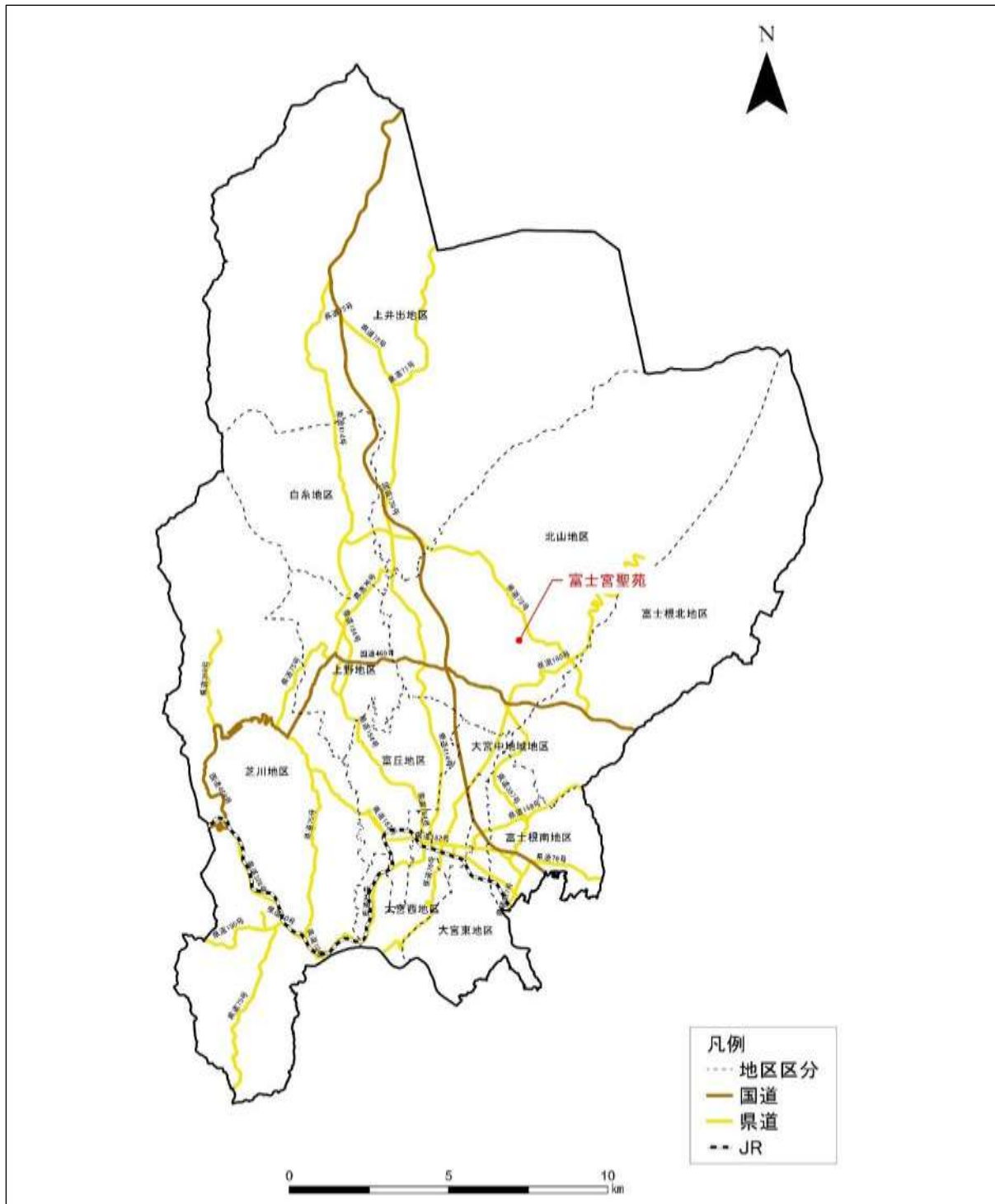


図 4-16 位置図

ア 個別施設の状態等

(ア) 劣化状況

a 劣化状況調査結果

表 4-40 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気					機械							
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
富士宮聖苑	火葬棟・収骨室	令和6年度長寿命化改修実施																
	待合棟・渡廊下	令和4～6年度長寿命化改修実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

b 構造躯体の健全性調査結果

表 4-41 構造躯体の健全性調査結果

施設名称	棟名称	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	中性化深さ(mm)					鉄筋かぶり厚(mm)			
			箇所	筒元※		筒先※		柱頭		柱脚	
				最大	平均	最大	平均	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況	かぶり厚 (最小値)	鉄筋腐食 状況
富士宮聖苑	待合棟・ 渡廊下	30.65	①	0.0	0.0	27.0	22.7	25	B	59	B
			②	7.0	3.4	33.5	28.6				

注) 基準値はP.6参照

※ ②は内壁のため、筒元及び筒先ともに室内側。①は筒元：室外側、筒先：室内側

(富士宮聖苑)

- ・コンクリート圧縮強度、中性化深さについては基準値内です。鉄筋のかぶり厚については1ヶ所基準値を満たしていません。

(イ) 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士宮聖苑	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後44年が経過しています。</li> <li>・ 火葬棟については耐震性能がやや劣る状況ですが、施設の特異な形状及び性質上、耐震補強が困難な状況です。</li> <li>・ 運営は、指定管理者により行われています。</li> <li>・ 待合棟・渡廊下は令和4(2022)～6(2025)年度、火葬棟・収骨室は令和6(2024)年度に長寿命化改修を実施しました。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火葬棟については炉の更新が10年毎に必要になります。</li> </ul>

## イ 対策の内容と実施時期

### (ア) 改修履歴と実施計画


施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士宮聖苑	火葬棟・ 収骨室	令和6年度長寿命化改修 (建築・機械)	—	—	—
	待合棟・ 渡廊下	平成30年度待合室等改修 令和4年度長寿命化改修 (建築・機械) 令和5年度長寿命化改修 (建築・機械・電気) 令和5・6年度長寿命化改修 (機械・電気)	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載

注) 実施計画は毎年見直すものとする。

### (イ) 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士宮聖苑	1,672.40				<b>更新</b> 利用状況等を考慮し、施設の在り方を検討 火葬棟は建て替えを検討

凡例) 適切な維持管理の実施: 

(3) 清掃センター

表 4-42 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
清掃センター	旧管理棟	昭和50年 1月(1975. 1)	51	2	—	300.00	RC	未診断
	管理棟	平成 6年 9月(1994. 9)	31	2	—	739.61	RC	I a
	工場棟	平成 6年 9月(1994. 9)	31	6	1	7,187.40	RC+S	I a
	倉庫車庫	平成 6年 9月(1994. 9)	31	1	—	214.19	S	I a
	破砕棟	昭和51年 6月(1976. 6)	49	2	—	349.07	RC	II
	破砕投入棟	昭和51年 6月(1976. 6)	49	1	1	178.75	S	III
	選別棟	昭和51年 6月(1976. 6)	49	3	—	207.41	S	III
	投入棟	昭和55年 3月(1980. 3)	46	1	1	163.15	S	II

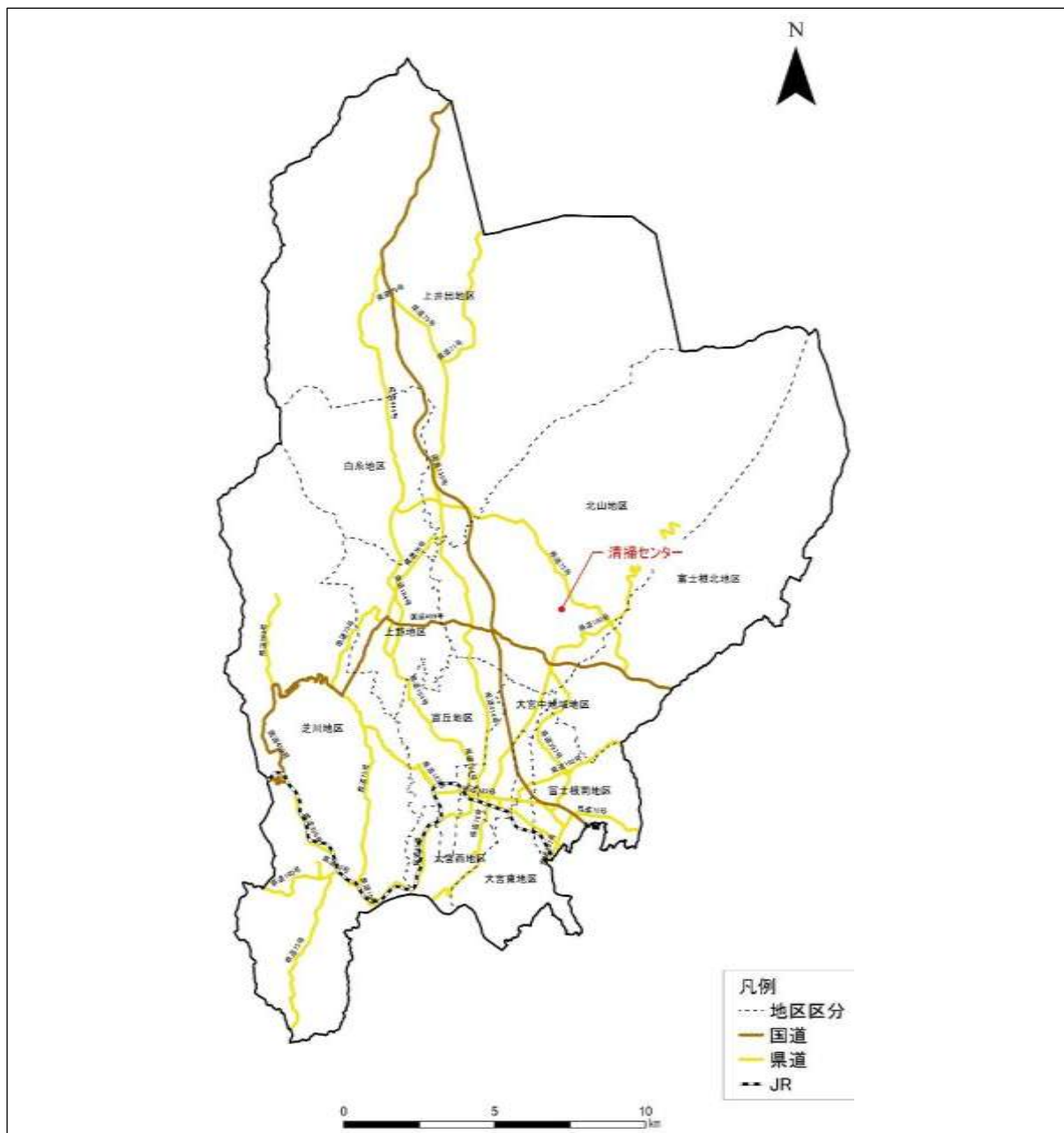


図 4-17 位置図

ア 個別施設の状態等

(ア) 施設の概要

焼却施設		
施設名称	富士宮市清掃センター	
施設所管	富士宮市	
所在地	富士宮市山宮 3678 番地の 4	
施設規模	240t (120 t /24 h ×2 炉)	
建設年月	着工	平成 3 年 12 月
	竣工	平成 6 年 8 月
設計・施工	株式会社タクマ	
建設費	8,012,000 千円	
基幹的設備改良工事	着工	平成 24 年 9 月
	竣工	平成 28 年 3 月
基幹的設備改良工事設計・施工	株式会社タクマ	
基幹的設備改良工事費	953,925 千円 (総事業費)	
処理方式	連続燃焼式焼却炉	
(1) 受入・供給設備	ピット&クレーン方式	
(2) 燃焼設備	ストーカ式焼却炉	
(3) 燃焼ガス冷却設備	水噴射式	
(4) 排ガス処理設備	薬剤噴霧 (消石灰+助剤) +バグフィルタ	
(5) 余熱利用設備	場内給湯、冷暖房、場外給湯 (天母の湯)	
(6) 通風設備	平衡通風方式	
(7) 排水処理設備	プラント排水	凝集沈殿、ろ過、再利用
	ごみピット排水	ろ過、炉内噴霧
(8) 灰出し設備	焼却灰	ピット&クレーン方式
	飛灰	固形化装置+ダストバンカ
処理工程	焼却施設フローシート 参照	

粗大ごみ処理施設		
施設名称	富士宮市清掃センター（粗大ごみ処理施設）	
施設所管	富士宮市	
所在地	静岡県富士宮市山宮 3678 番地の 4	
施設規模	50 t /5 h	
建設年月	着工	昭和 50 年 11 月
	竣工	昭和 51 年 7 月
設計・施工	クボタ環境エンジニアリング株式会社	
建設費	349,420 千円	
処理方式	回転衝撃剪断式破砕機	
(1) 受入・供給設備	貯留ホッパ式	
(2) 破砕設備	縦型回転式	
(3) 搬送設備	コンベヤ方式	
(4) 選別設備	マグドラム式、トロンメル	
(5) 貯留・搬出設備	バンカ方式	
(6) 集じん設備	サイクロン、バグフィルタ	
処理工程	粗大ごみ処理施設フローシート 参照	

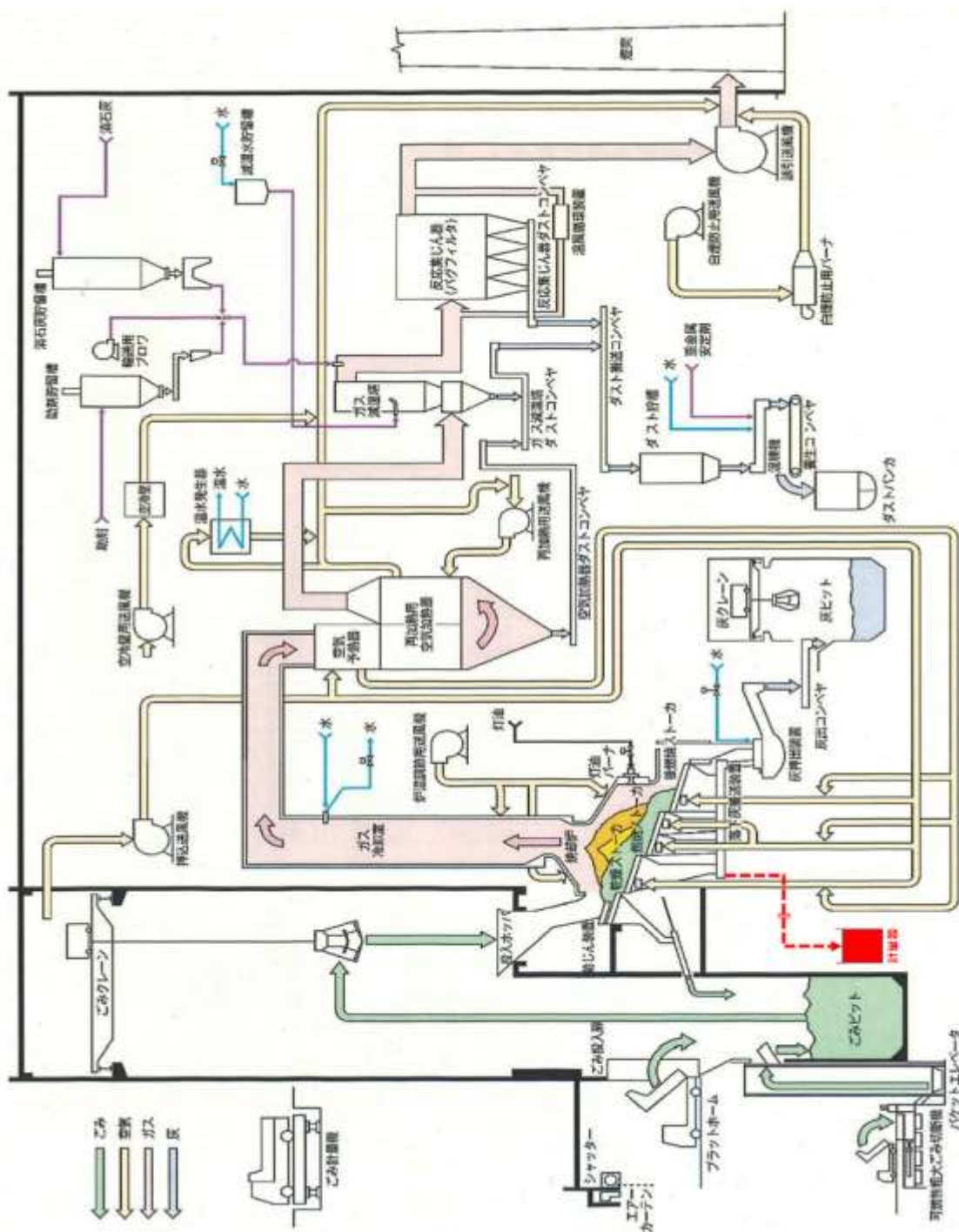


図 4-18 焼却施設フローシート

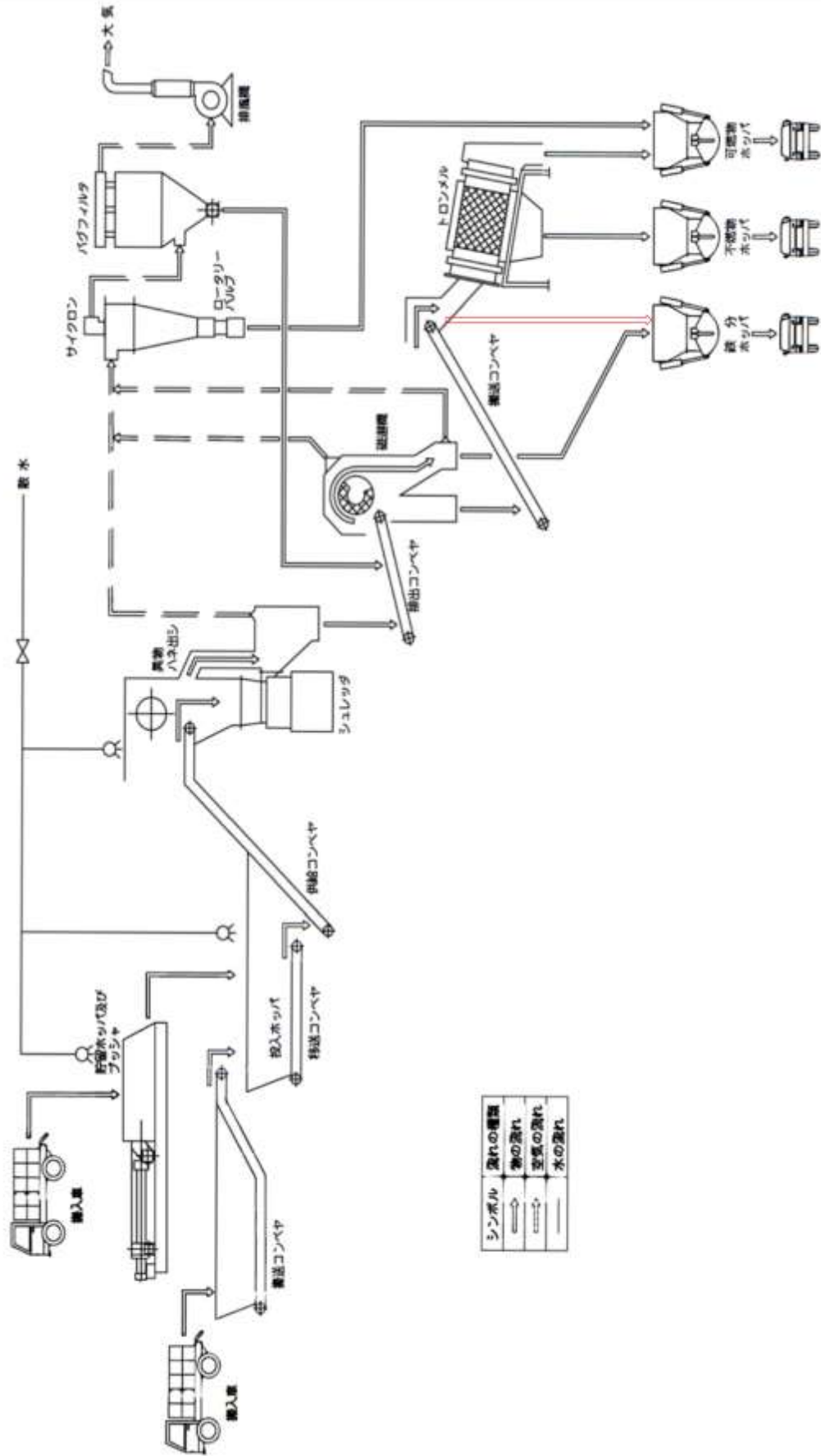


図 4-19 粗大ごみ処理施設フローシート

(イ) 建築物等

a 劣化状況調査結果

表 4-43 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械						
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御	
清掃センター	旧管理棟	A	C	E	-	-	-	-	E	-	-	-	-	-	-	-	C	-	
	管理棟	A	C	D	D	-	-	A	E	-	A	-	A	-	-	-	E	-	
	工場棟	平成30・令和元年度長寿命化改修実施のため未実施																	
	倉庫車庫	B	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	破砕棟	D	E	D	-	-	-	A	-	-	A	A	-	-	-	-	B	-	
	破砕投入棟	D	E	D	-	-	-	A	-	-	A	A	-	-	-	-	B	-	
	選別棟	D	C	E	-	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	
	投入棟	D	E	D	-	-	-	A	-	-	A	A	-	-	-	-	B	-	

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
清掃センター	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 31～51 年が経過しています。</li> <li>・ 破砕棟及び投入棟は耐震性能がやや劣る、破砕投入棟は耐震性能が劣る状況ですが、施設の特殊な形状及び性質上、耐震補強が困難な状況です。</li> <li>・ 平成 30 (2018) 年度～令和元 (2019) 年度に工場棟の長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 令和 6 (2024) 年度～令和 8 (2026) 年度にかけて主要設備の更新を実施中です。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質※に課題があるため、施設の改修・建て替え等による品質の改善が必要です。</li> <li>・ 粗大ごみ処理施設の棟については耐震性能がやや劣る、又は、劣る状況です。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標（築年数、耐震性、バリアフリー対応状況）


c 改修履歴と実施計画

施設分類	施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
環境・衛生プラント	清掃センター	旧管理棟	—	—	—	—
		管理棟	令和3年度LED化改修	長寿命化改修 (建築・機械・電気) 178,000千円	—	—
		工場棟	平成30・令和元年度長寿命化改修(建築) 平成30年度長寿命化改修(機械) 令和元年度長寿命化改修(電気) 令和4・5年度灰出コンベヤ室更新(機械) 令和6・7年度主要設備更新	主要設備更新 (焼却施設) 1,656,050千円 工事監理委託料 12,122千円	長寿命化改修 (建築) 70,000千円	—
		倉庫車庫	—	—	—	—
		破砕棟	—	—	主要設備更新 (電気) 65,200千円 発注支援及び工事 監理委託料 22,000千円	主要設備更新 (電気) 97,800千円 工事監理委託料 11,000千円
		破砕投入棟	—	—	—	—
		選別棟	—	—	—	—
		投入棟	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

d 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
清掃センター	8,997.68		長寿命化改修を 実施 旧管理棟の除却 を検討	破砕棟は破砕投入棟及び投入棟と あわせて建て替えを検討	<b>更新</b> 利用状況等を考慮 し、建て替えを効 率的に実施

凡例) 適切な維持管理の実施: 

## (ウ) 設備・機器

### a 健全度評価

各設備・機器の状態を把握するため、表 4-44 に示す精密機能検査を実施し、各設備・機器の健全度を評価しました。健全度は、表 4-45 に基づき 4 段階に分けて判定しました。結果については、161 ページ以降の「表 4-48 及び表 4-49 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-44 精密機能検査方法

区分	検査方法
土木・建築設備	外観検査、軽打音検査、書類検査
機械設備・配管弁設備	外観検査、異音検査、触診検査、書類検査
電気計装	外観検査

表 4-45 健全度判定基準

健全度	状態	措置
4	支障なし。	対処不要
3	軽微な劣化があるが、機能に支障なし。	経過観察
2	劣化が進んでいるが、機能回復が可能である。	部分補修・部品交換
1	劣化が進み、機能回復が困難である。	全交換

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き(ごみ焼却施設編)(平成 27 年 3 月改訂)」より出典

## b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
焼却施設	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工から 31 年以上が経過しています。</li> <li>・平成 24 (2012) 年度～平成 27 (2015) 年度に設備・機器の基幹的設備改良工事を実施しました。</li> <li>・焼却処理量は、年々減少傾向にあるものの、安定的に処理量があり、今後も一定の需要が見込まれます。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度 (2015) に完了した基幹的設備改良工事では、大型送風機、空気圧縮機などCO2削減効果の大きな設備・機器を主に更新して延命化を図りましたが、その際、更新しなかった設備・機器の老朽化の進行が顕著に表れています。</li> </ul>
粗大ごみ処理施設	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竣工から 51 年以上が経過していますが、毎年の定期的な整備の実施により、現在も 5 時間で 5 トンの処理能力を維持しています。</li> <li>・破碎・選別処理を行った後の金属類（鉄、アルミ）については再資源化、その他の残渣は清掃センター焼却施設で焼却処理しています。</li> <li>・不燃物、粗大ごみの処理量は減少傾向にありますが、今後も一定の需要が見込まれます。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備の老朽化が顕著に表れています。</li> </ul>

## c 重要度評価

効果的に施設を保全管理していくために、設備・機器の重要性を表 4-46 に基づき評価しました。結果については、161 ページ以降の「表 4-48 及び表 4-49 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-46 重要度判定基準

重要度	状態
A	故障した場合に施設の運転停止に結びつく設備・機器
B	故障した場合でも、予備機で対応することができるなど、ある程度の冗長性を有するもの 施設の運転に重要で、修繕に日数を要し、かつ、高価な設備・機器
C	A及びBに分類されるもの以外の設備・機器

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（ごみ焼却施設編）（平成 27 年 3 月改訂）」より出典

#### d 設備・機器の保全方式

設備・機器に対する保全方式は、それぞれの重要度に応じて表 4-47 に示す保全方式から選定します。

表 4-47 保全方式

保全方式		保全方式選定の留意点	設備・機器例
事後保全 (BM)	故障停止、又は著しく機能低下してから修繕を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障してもシステムを停止せず容易に保全可能なもの</li> <li>保全部材の調達が容易なもの</li> </ul>	照明装置、予備系列のあるポンプ類
予防保全 (PM)	時間基準保全 (TBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な劣化の兆候を把握が難しい、又はパッケージ化されて消耗部だけのメンテナンスが難しいもの</li> <li>構成部品に特殊部品があり、その調達期限があるもの</li> </ul>	コンプレッサ、ブロワ等回転機器類、電気計装部品、電気基板等
	状態基準保全 (CBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>性能水準が一定以下になる前に、施設の状態を基準に保全処置を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>摩耗、破損、性能劣化が、日常稼動中又は定期点検において、定量的に測定又は比較的容易に判断できるもの</li> </ul> 爽雑物除去装置、汚泥脱水機など予備系列のない大型機器の摩耗、RC 製水槽類の劣化・腐食等

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（ごみ焼却施設編）（平成 27 年 3 月改訂）」より出典

e 設備・機器別管理基準

設備・機器の健全度、重要度及び保全方式を踏まえて、表 4-48 及び表 4-49 のとおり設備・機器別管理基準を定めました。

表 4-48 設備・機器別管理基準（焼却施設）（1 / 4）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理確率	診断頻度	目標耐用年数	
					A	B	C	BM	TBM	CBM					
受入・供給設備	ごみ計量器	計量機本体	劣化	4		○				○	①計量法による ②目視で著しい腐食、劣化のないこと、荷重試験	±10%	3ヶ月～2年	15～20年	
		データ処理装置	システム動作状況	4		○				○	①動作が正常であること ②OS・ソフトのメーカー保守期間、部品供給が可能な期間であること		1～2年	6～10年	
	ごみ投入扉	本体	腐食、変形	3			○			○	著しい腐食変形がないこと		—	15～20年	
	可燃性燃大ごみ切断機	刃、本体	摩耗	3			○				○	著しい摩耗、腐食がないこと		1～2年	10～15年 刃は約1年
		駆動装置	劣化	3			○				○	著しい劣化がないこと		1年	5～15年
	ごみピット	本体	破損、剥離	-			○	○				有害な破損・剥離がないこと		—	
	ごみクレーン	油圧バケット本体	変形	4			○				○	①著しい変形、摩耗がないこと ②寸法計測で残存肉厚が基準値以内であること		6ヶ月～1年	5～15年
		油圧バケットシリンダ	摩耗	4			○				○	著しい摩耗や油漏れがないこと		6ヶ月～1年/回	5～10年
		油圧バケット油圧ユニット	劣化	4			○					開閉速度低下や異常音、温度上昇、油漏れがないこと		6ヶ月～2年	5～15年
		ワイヤー	劣化、摩耗	3			○					法規制による基準以内であること（断線切断、直径減少等）	断線切断10% 直径減少7%	6ヶ月～1年	1～2年
横行・走行装置		摩耗	2			○				○	法規制による基準以内であること（車輪保、レール、パット等）	車輪5～10% パット10～50%	1～4年	5～10年	
ゴーター		変形	2			○					○	法規制による基準以内であること（積み等）	積み：スパンの1/500～1/300	6ヶ月～4年	15～20年
燃焼設備	ごみホッパ	本体	摩耗、変形	2			○				○	著しい摩耗、破孔がないこと		6ヶ月～1年	5～8年
	給じん装置	本体	摩耗	2		○					○	目視による、著しい摩耗、破孔または割れがないこと	メーカー基準値	6ヶ月～1年	5～15年
		駆動装置（油圧シリンダ）	劣化	3			○				○	油漏れがなく損傷がないこと		6ヶ月～4年	5～15年
	燃焼装置	火格子（空冷）	焼損、摩耗	3			○				○	目視または打動による、著しい焼損、摩耗、破孔または割れがないこと	メーカー基準値	6ヶ月～1年	2～5年
		火格子（水冷）	焼損、摩耗	3			○				○	①目視または打動による、著しい焼損、摩耗、破孔または割れがないこと ②出口温度が基準値以内であること	メーカー基準値	6ヶ月～1年	5～10年
		駆動装置（油圧シリンダ）	劣化	3			○				○	油漏れがなく損傷がないこと		6ヶ月～4年	5～15年
		駆動装置（揺動部）	摩耗	3			○				○	目視または寸法測定による、著しい摩耗がないこと。	メーカー基準値	6ヶ月～1年	5～15年
	焼却炉本体	耐火物	剥離・脱落・摩耗	2			○				○	管理値以内であること（見えると確認）	メーカー基準値	6ヶ月～1年	1～5年
		ケーシング	腐食、変形	3			○				○	目視により著しい変形・腐食、液内がないこと		6ヶ月～1年	15～20年
	ストローカ駆動装置	本体	摩耗、油漏れ	3			○				○	異常音・振動・発熱のないこと、内部に傷・摩耗のないこと	メーカー基準値	1ヶ月～4年	7～15年
タンク		腐食、油漏れ	2			○				○	油漏れがなく損傷がないこと		6ヶ月～1年	10～30年	
助燃装置	助燃バーナ本体	劣化・燃焼状況	3			○				○	腐食、変形、亀裂等著しい損傷のないこと		1～2年	5～10年	
空冷送風機	本体	異常・振動・発熱	4			○				○	振動、温度が管理値以下であること		6ヶ月～3年	15～20年	
燃焼ガス冷却	ガス冷却室	本体（ケーシング）	腐食	3			○			○	目視により著しい腐食・液内がないこと		1年	10～15年	
		耐火物	損傷・脱落・亀裂	3			○				○	著しい損傷・脱落・亀裂等がないこと	アンカ露出で補修	1～2年	1～5年
	噴射水加圧ポンプ	本体	腐食、摩耗	3			○			○	目視及び計測による、異常な腐食、摩耗・軸の湾曲がないこと	メーカー基準値	1～2年	10～15年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-48 設備・機器別管理基準（焼却施設）（2 / 4）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TBM	CBM				
排ガス処理設備	ガス減温塔	本体	腐食・加温状況	4	○					○	目視により著しい腐食・減肉がないこと	1年	15～20年	
	減温水吹込ポンプ	本体	異音・振動・発熱	3		○				○	異常音・振動・発熱がないこと	1年	15～20年	
	バグフィルタ	ケーシング	腐食	3	○					○	目視により著しい腐食・減肉がないこと	1年	7～20年	
		ろ布	劣化・通気性	4	○					○	①目視によりダストリークのないこと ②サンプリング分析による強度・通気性の劣化	ろ布分析又は時間基準	6ヶ月～1年	4～6年
	温風循環ファン	本体	異音・振動・発熱	3		○				○	異常音・振動・発熱がないこと	6ヶ月～1年	5～10年	
	スクリーコンベヤ	スクリーコンベヤ	腐食・磨耗	4	○					○	目視により著しい腐食・減肉がないこと	6ヶ月～1年	5～10年	
	消石灰貯留槽	本体	腐食・閉塞	4		○				○	目視により著しい腐食がないこと。ブリッジがないこと	6ヶ月～1年	15～20年	
	消石灰定量供給装置	本体	変形	3		○				○	異常音・振動・発熱がないこと	6ヶ月～4年	5～10年	
	助剤貯留槽	本体	腐食・閉塞	3		○				○	目視により著しい腐食がないこと。ブリッジがないこと	6ヶ月～1年	15～20年	
	助剤定量供給装置	本体	腐食・劣化	3		○				○	①本体に著しい腐食及び破孔がないこと ②ろ布に目詰まりがないこと	6ヶ月～1年	5～10年	
	消石灰溶解槽	本体	腐食・閉塞	-	-	-	-			○	目視により著しい腐食がないこと。ブリッジがないこと	6ヶ月～1年	15～20年	
	消石灰溶解槽定量フィーダ	本体	変形	-			○			○	異常音・振動・発熱がないこと	6ヶ月～4年	5～10年	
	再加熱用空気加熱器	伝熱管	腐食	2		○				○	目視により著しい腐食・破孔がないこと	6ヶ月～1年	8～15年	
		ケーシング	腐食	3		○				○	著しい腐食や空気吹出しがある場合補修	6ヶ月～1年	10～20年	
	再加熱用送風機	本体	異音・振動・発熱	4		○				○	目視による。腐食・歪・漏れのないこと	6ヶ月～3年	15～20年	
輸送用ブロワ	本体	磨耗	3			○			○	①異常音・振動・発熱がないこと ②振動測定が管理値以内であること	②メーカー基準値	1ヶ月～1年	10～15年	
設備備水	プラント揚水ポンプ	主要部	磨耗	3		○				○	性能低下により補修もしくは部品交換	定格流量、定格電流値	6ヶ月～1年	5～10年
余熱利用設備	温水発生器	水管	水漏れ・閉塞	4		○				○	目視により水漏れがないこと。また水管に閉塞がないこと（圧力計監視）		6ヶ月～1年	5～10年
	温水発生ポンプ	本体	劣化・液漏れ・電流値	3		○				○	劣化・液漏れがないこと	定格流量、定格電流値	1ヶ月～2年	5～10年
	温水タンク	本体	破損・水漏れ	4		○				○	水漏れがなく、損傷がないこと		6ヶ月～1年	10～15年
	温水タンク循環ポンプ	本体	劣化・液漏れ・電流値	3		○				○	劣化・液漏れがないこと	定格流量、定格電流値	1ヶ月～2年	5～10年
通風設備	押込送風機	本体	異音・振動・発熱	4	○					○	振動・温度が管理値以下であること	6ヶ月～3年	15～20年	
	折返調節用送風機	本体	異音・振動・発熱	4	○					○	振動・温度が管理値以下であること	6ヶ月～3年	15～20年	
	空気予熱器	伝熱管	腐食	2		○				○	目視により、著しい腐食・破孔がないこと	6ヶ月～1年	10～15年	
		ケーシング	腐食	4		○				○	著しい腐食や空気吹出しがある場合補修	6ヶ月～1年	10～15年	
	空気ダクト	本体	腐食	2		○				○	目視・打撃により、著しい腐食・破孔がないこと	1～2年	10～15年	
	ガスダクト	本体	腐食	3		○				○	目視・打撃により、著しい腐食・破孔がないこと	1～2年	10～15年	
	誘引送風機	本体	異音・振動・発熱	4	○					○	振動・温度が管理値以下であること	6ヶ月～3年	15～20年	
	煙突	内筒	腐食・肉厚	2		○				○	①肉厚測定による。腐食・破孔がないこと ②内面付着物が頂部より拉散しないこと	1～2年	15～20年	
外筒		コンクリート強度	3		○				○	劣化診断により、十分な強度が保たれていること	3～6年	15～20年		

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-48 設備・機器別管理基準（焼却施設）（3 / 4）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TEM	CBM				
灰出し設備	落下灰搬送装置	ケーシング	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと		1年	7～15年
		スクレーパ	変形・摩耗	4	○					○	著しい変形・摩耗がないこと		1年	3～10年
		チェーン	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと	必要設計強度以上	1年	3～10年
	灰押出装置	ケーシング	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと		1年	7～15年
		駆動装置	腐食・摩耗・油濡れ	4	○					○	著しい腐食・摩耗・油濡れがないこと		1年	3～10年
	灰出コンベヤ	ケーシング	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	7～15年
		スクレーパ	変形・摩耗	4	○					○	著しい変形・摩耗がないこと		1年	3～10年
		チェーン	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと	必要設計強度以上	1年	3～10年
	灰分散装置	本体	腐食・摩耗	4			○			○	著しい腐食・摩耗がないこと		1年	3～10年
	灰クレーン	油圧バケット本体	変形	1	○					○	①著しい変形・摩耗がないこと ②寸法計測で残存肉厚が基準値以内であること		1ヶ月～1年	5～10年
		油圧バケット油圧ユニット	劣化	1	○					○	開閉速度低下や異常音・温度上昇・油濡れがないこと		1ヶ月～2年	6～15年
		ワイヤー	劣化・摩耗	1	○					○	法規制による基準以内であること。（索線切断、直径減少等）	索線切断10% 直径減少7%	1ヶ月～1年	1～2年
		横行・走行装置	摩耗	1	○					○	法規制による基準以内であること。（車輪径・レール・パット等）	車輪5～10% パット10～50%	3ヶ月～1年	10～15年
		ガーター	変形	1	○					○	法規制による基準以内であること。（撓み等）	撓み：スパンの1/800～1/800	3ヶ月～4年	15～20年
	空気が熱器用ダストコンベヤ	ケーシング	腐食・摩耗	3	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	7～15年
		チェーン	腐食・摩耗	3	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと		1年	3～10年
	ガス減温塔ダストコンベヤ	ケーシング	腐食・摩耗	3	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	7～15年
		チェーン	腐食・摩耗	3	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	3～10年
No.1, No.2ダスト搬送コンベヤ	ケーシング	腐食・摩耗	1	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	7～15年	
	チェーン	腐食・摩耗	1	○					○	著しい腐食・減肉がないこと		1年	3～10年	
灰固形化設備	ダスト分配コンベヤ	本体	変形	3	○					○	異常音・振動・発熱がないこと		6ヶ月～4年	7～20年
	ダスト貯留槽	本体	腐食・摩耗	3	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと		1年	10～15年
	ダスト定量供給装置	本体	変形	3	○					○	異常音・振動・発熱がないこと		6ヶ月～4年	7～20年
	運轉機搬入スクリーンコンベヤ	本体	変形	3	○					○	異常音・振動・発熱がないこと		6ヶ月～1年	7～20年
	運轉機	本体	腐食・劣化	4	○					○	著しい腐食・劣化がないこと		6ヶ月～1年	5～10年
		シャフト	腐食・摩耗	4	○					○	著しい腐食・摩耗がないこと		6ヶ月～1年	5～10年
		ロッド	摩耗	4	○					○	著しい摩耗がないこと		3ヶ月～6ヶ月	1～3年
	養生コンベヤ	本体	腐食・劣化	4	○					○	①著しい腐食・劣化がないこと ②ベルトに著しい摩耗がないこと		6ヶ月～1年	5～10年
	ダストパンカ	本体	劣化	4	○					○	著しい摩耗がないこと		2年	5～15年
		駆動装置（油圧シリンダ）	劣化	4	○					○	油濡れがなく損傷がないこと		6ヶ月～4年	5～15年
	重金屬安定剤注入ポンプ 添加水注入ポンプ	主要部	劣化・油濡れ	2	○					○	異常音・振動・発熱がないこと		6ヶ月～1年	5～10年

表 4-48 設備・機器別管理基準（焼却施設）（4 / 4）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	RM	TRM	CBM				
電気・計測設備	高圧設備	構内引込用柱上開閉器	外観点検 操作機構点検 接地線点検 遮断器試験 絶縁器試験 絶縁診断	3	○						絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること	高圧：10MΩ以上 特別高圧等：電気設備・技術基準・解釈	1年	10～20年
		高圧受電盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
		高圧配電盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
		高圧進相コンデンサ・リアクトル		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	12～20年
	低圧設備	440V用動力主幹盤	遮断器試験 絶縁器試験 絶縁診断	3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
		200V用動力主幹盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
		照明用単相主幹盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
		非常用電源盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	15～20年
		その他の配電盤		3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	15～20年
	変圧器	変圧器本体	外観点検・増粘異音診断（油入：油ガス分析・モールド：放電試験）	3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②絶縁油劣化試験	電技解釈による基準値	1年	15～25年
	現場操作盤	本体	絶縁抵抗測定 遮断器試験	3	○						①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
	高調波フィルタ	本体	絶縁抵抗測定	4		○					①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
	非常用発電機	本体	絶縁抵抗測定 遮断器試験 保護装置試験	4		○					①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	電技解釈による基準値	1年	10～20年
	無停電電源装置	本体	絶縁抵抗測定 バッテリー点検	4		○					①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②バッテリー特性が正常であること	電技解釈による基準値	1年	5～15年
	誘引送風機 VVVF盤	本体	VVVF特性測定	3	○						等しい風量変化がないこと	設定値	1年	10～15年
	再加熱用送風機 VVVF盤			4	○									
	押込送風機 VVVF盤			4	○									
	伊風調節用送風機 VVVF盤			4	○									
	デジタル計測制御システム	本体	機能点検	1	○					機能が正常であること		1年	5～15年	
	排ガス分析計	NOx, SO2, CO, O2計	機能点検 計器調整 部品交換	2	○						機能が正常であること		1年	10～15年
HCL計				2	○					機能が正常であること		1年	10～15年	
ばいじん計				2	○						機能が正常であること		1年	10～15年
雑設備	プラント用空気圧縮機	本体	劣化	4	○					異常音・振動・発熱がないこと		1～2年	10～15年	
	空気槽	腐食	3	○						目視による異物・腐食・浸食、状態変化その他の異常がないこと		1～2年	15～20年	

表 4-49 設備・機器別管理基準（粗大ごみ処理施設）（1 / 1）

設備	設備・機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数	
					A	B	C	BM	IDM	CDM					
受入・供給	貯留ホッパー	本体（ホッパー壁・床）	破損・剥離	3	○		○				有害な腐食、変形がないこと	目視判断	5~10年	5~20年	
		供給プッシュ	本体（ケーシング）、油圧ユニット	腐蝕・腐食・変形	3	○				○	著しい腐蝕・腐食・圧力、油漏れがないこと	目視判断	1年	5~10年	
	搬送コンベヤ	本体（ケーシング、ホッパー）	本体（ケーシング、ホッパー）	腐蝕・腐食・変形	3	○				○	著しい腐蝕・腐食・変形がないこと	目視判断	1年	5~20年	
			フレームレール	腐蝕・腐食	3	○				○	著しい腐蝕・腐食がないこと	目視判断	1年	3~10年	
			チェーン	腐食・腐蝕・固着	3	○				○	著しい腐蝕、チェーンの伸びがないこと	初期寸法から2%以内	1ヶ月~1年	2~10年	
			エプロンパン	変形・腐蝕	3	○				○	著しい腐蝕・腐食・変形がないこと	目視判断	1ヶ月~1年	2~10年	
			モータ・減速機	劣化	3	○					○	異音、異常発熱がないこと	目視判断	1年	10~15年
			シャフト（スプロケット、軸受を含む）	劣化・腐蝕	3	○					○	著しい変形、腐蝕がないこと	目視判断	1ヶ月~4年	10~20年
	移送コンベヤ 供給コンベヤ	本体（ケーシング、ホッパー）	本体（ケーシング、ホッパー）	腐蝕・腐食・変形	2	○				○	著しい腐蝕・腐食・変形がないこと	目視判断	1年	5~20年	
			フレームレール	腐蝕・腐食	2	○				○	著しい腐蝕・腐食がないこと	目視判断	1年	3~10年	
			チェーン	腐食・腐蝕・固着	3	○				○	著しい腐蝕、チェーンの伸びがないこと	初期寸法から2%以内	1ヶ月~1年	2~10年	
			エプロンパン	変形・腐蝕	3	○				○	著しい腐蝕・腐食・変形がないこと	目視判断	1ヶ月~1年	2~10年	
			モータ・減速機	劣化	2	○					○	異音、異常発熱がないこと	目視判断	1年	10~15年
			シャフト（スプロケット、軸受を含む）	劣化・腐蝕	2	○					○	著しい変形、腐蝕がないこと	目視判断	1ヶ月~4年	10~20年
	選別	高速回転選別機	ロータ（軸受を含む）	腐蝕・変形 割れ 振動	3	○				○	著しい腐蝕・変形がないこと 割れ等がないこと 基準値以内であること	目視判断 主軸曲がり3mm以下	1年	10~15年	
			ケーシング	腐食	4	○				○	著しい腐蝕、破孔がないこと	目視判断	1年	15~20年	
			スクリーン、タイナー	腐蝕	3	○				○	著しい腐蝕がないこと	メーカー基準による	1年	3~5年	
	搬送	排出コンベヤ	ベルト	亀裂・劣化	3	○				○	著しい腐蝕、ひび割れ、亀裂がないこと	目視判断	1年	3~5年	
ローラ			腐食・腐蝕	3	○				○	①著しい腐食、腐蝕がないこと ②動作に支障がないこと	目視判断	1年	3~5年		
可動部搬送コンベヤ		ベルト	亀裂・劣化	3	○				○	著しい腐蝕、ひび割れ、亀裂がないこと	目視判断	1年	3~5年		
		ローラ	腐食・腐蝕	3	○				○	①著しい腐食、腐蝕がないこと ②動作に支障がないこと	目視判断	1年	3~5年		
選別	ドラム式選別機	ドラムライナー	腐蝕・腐食	3	○				○	①著しい腐蝕・腐食、変形がないこと ②肉厚計測により残存厚が管理値以上であること	目視判断	1ヶ月~1年	5~10年		
	トロンメル	本体（筒、網、羽根含む）	腐食・腐蝕・変形・振動	3	○				○	著しい変形、腐蝕がないこと	目視判断	1~2年	5~15年		
貯留・搬出	絶分機 不燃物搬送ホッパー 可燃物搬送ホッパー	本体（ケーシング）	腐食・腐蝕	4	○				○	著しい腐蝕がないこと	目視判断	1年	10~20年		
		シリンダ	変形・損傷・油漏れ	4	○				○	著しい腐蝕や油漏れがないこと	目視判断	1ヶ月~1年	5~10年		
		油圧ユニット（タンク、ポンプ）	腐食・劣化・腐蝕・油漏れ	2	○					○	異常音、温度上昇、圧力異常、油漏れがないこと	目視判断	1~2年	5~15年	
集じん	ティクロン/ロータリーバルブ	本体（ケーシング）	腐食・腐蝕	4	○				○	著しい腐蝕・腐食、変形がないこと	目視判断	6ヶ月~1年	3~15年		
		ケーシング	腐食	4	○				○	著しい腐食破孔や破孔がないこと	目視判断	1年	7~20年		
	排風機/ナイレン	ろ布	劣化	3	○				○	著しい目詰まり、圧力計の悪化	悪化2.0kPa以下	6ヶ月~1年	3~5年		
		本体	動作状態、異音	4	○		○				動作が正常であること	目視判断	1年	15~20年	
電気・計測	集塵配管	本体	腐食・腐蝕・劣化	3	○				○	著しい腐食、腐蝕、劣化がないこと	目視判断	1年	5~10年		
		本体	絶縁部試験、絶縁試験、外観点検、漏れ検出、遮断器試験、接地線点検、絶縁部試験、動作確認	2	○				○	絶縁部試験測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること 動作が正常であること	電験解釈による基準値	1年	10~20年		



表4-50 整備履歴（焼却施設）（2 / 7）

設備	設備・機器	対象箇所	装置番号	整備内容													
				平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)				
燃焼装置	本体	1号			水冷火格子用ホース取替 水冷火格子取替 シュー取替						ストレーカ油圧シリンダー取替						
		2号			水冷火格子用ホース取替		水冷火格子用取替 シュー取替					ストレーカ油圧シリンダー取替					
		1号															
		2号															
	燃焼用油圧装置	本体															
		1号															
		2号															
		3号															
灰処理本体	ケーシング	1号															
		2号															
	耐火物	1号															
		2号															
		1号															
		2号															
	ガス冷却器	本体															
		1号															
噴射水加圧ポンプ	本体	1号															
		2号															
	3号	1号															
		2号															

注) 主要設備・機器に対して、過去10年（平成28(2016)～令和7(2025)年度）に実施したすべての補修・整備を記載









表4-50 整備履歴（焼却施設）（7/7）

設備	設備・機器	対象箇所	伊番号	整備内容											
				平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		
測定装置	フロント用測定圧差機等	本体	No.1								3年度点検	4年度点検	5年度点検	6年度点検	
														5年度点検 インバータ交換	
														4年度点検	
		本体	No.2								2年度点検	3年度点検	4年度点検	5年度点検	
		本体	No.3									1年度点検	2年度点検 トライナー交換	3年度点検	4年度点検

注) 主要設備・機器に対して、過去10年（平成28(2016)～令和7(2025)年度）に実施したすべての補修・整備を記載



(b) 整備計画

表 4-52 整備計画（焼却施設）（1 / 3）

設備	設備・機器	対象箇所	伊番号	●：更新、○：補修、◎：点検整備												
				令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)			
火入・ 出火 発生 防止 設備	2026計画	計量器本体	共通	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2026計画	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	可燃性粗大ごみ処理機	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	焼圧バケット本体 ロイケーター 搬行・走行装置	共通	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2026計画	本体	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	本体	2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	本体	1	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2026計画	本体	2	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2026計画	火格子（燃料）	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2026計画	火格子（水淹）	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
燃焼設備	2026計画	燃焼設備	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2026計画	燃焼設備	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2026計画	燃焼設備	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼設備	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2026計画	燃焼設備	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2026計画	燃焼設備	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼設備	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼設備	1	-	◎	○	-	-	◎	○	-	-	◎	○	-	◎
	2026計画	燃焼設備	2	-	◎	○	-	-	◎	○	-	-	◎	○	-	◎
	2026計画	燃焼設備	1	◎	-	-	-	◎	-	-	-	-	◎	-	-	-
燃焼炉 ガス処理 設備	2026計画	燃焼炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2026計画	燃焼炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 4-52 整備計画（焼却施設）（2 / 3）

設備	設備・機器	対象箇所	部署	●：更新、○：補修、◎：点検整備												
				令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)			
排ガス処理設備	ガス焼通塔	本体	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	減速水噴込ポンプ	本体	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		本体	1	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-
	バグフィルター	本体、ホップ ケーシング	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-
		本体	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
		本体	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
	燃焼制御ファン	本体	1	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		本体	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	スクリーンコンベヤ	本体	1	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		本体	2	-	-	-	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-
	清石回収設備	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		本体	1.2	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	防雨貯留槽	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		本体	1.2	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	防雨定置供排水設備	本体	1.2	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本体		1.2	◎	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
増加新用送気加熱器	本体	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	本体	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
増加新用送風機	本体	1	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	本体	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
冷却水設備	連水発生器	本体	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	連水保温ポンプ	本体	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	連水タンク	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	連水タンク側部ポンプ	本体	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	低気圧循環機	本体	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
清灰設備	排灰送風機	本体	1	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排灰機	本体	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排灰機側用送風機	本体	1	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排灰機側用送風機	本体	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	送灰手動給	本体	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
ガスダクト	送灰ダクト	本体	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ガスダクト	本体	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ガスダクト	本体	2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
排灰送風機	本体	1	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	本体	2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
塵芥	内側	1.2	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	外側	共通	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

表 4-52 整備計画（焼却施設）（3 / 3）

設備	設備・機器	計画箇所	計画年	●：更新、○：新築、◎：片取更新														
				令和16年度 (2024)	令和17年度 (2025)	令和18年度 (2026)	令和19年度 (2027)	令和20年度 (2028)	令和21年度 (2029)	令和22年度 (2030)	令和23年度 (2031)	令和24年度 (2032)	令和25年度 (2033)	令和26年度 (2034)	令和27年度 (2035)			
区出し設備	焼却炉	本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰処理機	本社	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰神出設備	本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰出コンベヤ	本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰出コンベヤ	本社	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰クレーン	◎ 本社 ● 灰処理機、ボーター	共通	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	煙灰加熱機	◎ 本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	煙灰加熱機	◎ 本社	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス加熱機	◎ 本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス加熱機	◎ 本社	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区出し設備	灰1ガス処理機	◎ 本社	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	灰2ガス処理機	◎ 本社	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス分配コンベヤ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス1貯留槽	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガス2貯留槽	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	煙灰加熱機	◎ 本社、サニター	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	煙灰加熱機	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	煙灰コンベヤ	◎ 本社	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガスコンベヤ	◎ 本社	共通	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ガスコンベヤ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
燃費削減設備	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
燃費削減設備	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
燃費削減設備	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
燃費削減設備	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
燃費削減設備	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ボイラ	◎ 本社	1,2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



(4) 鞍骨沢最終処分場

表 4-54 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
鞍骨沢最終処分場	浸出水処理施設	平成10年 3月(1998. 3)	28	2	2	1,089.10	S	I a

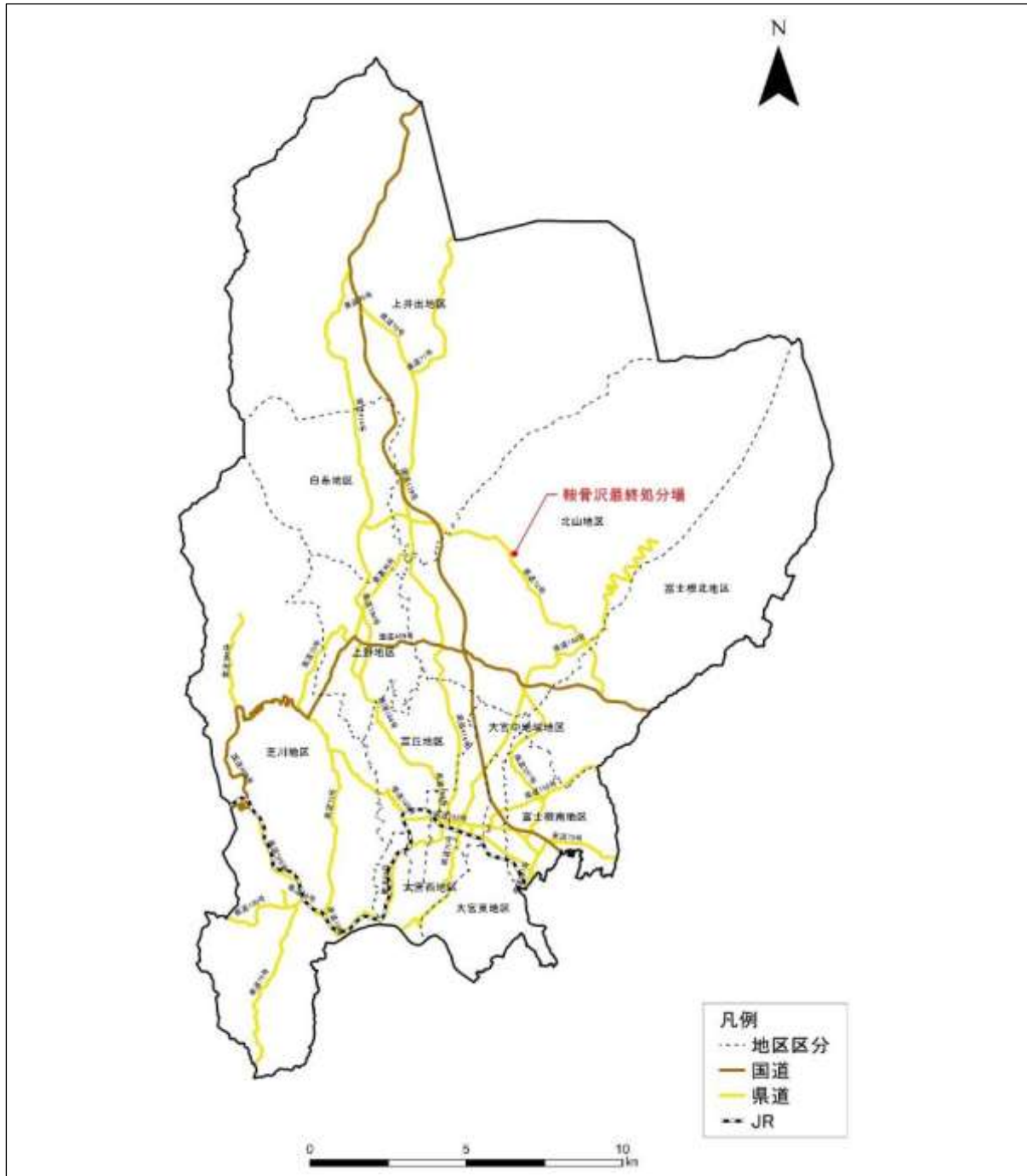


図 4-20 位置図

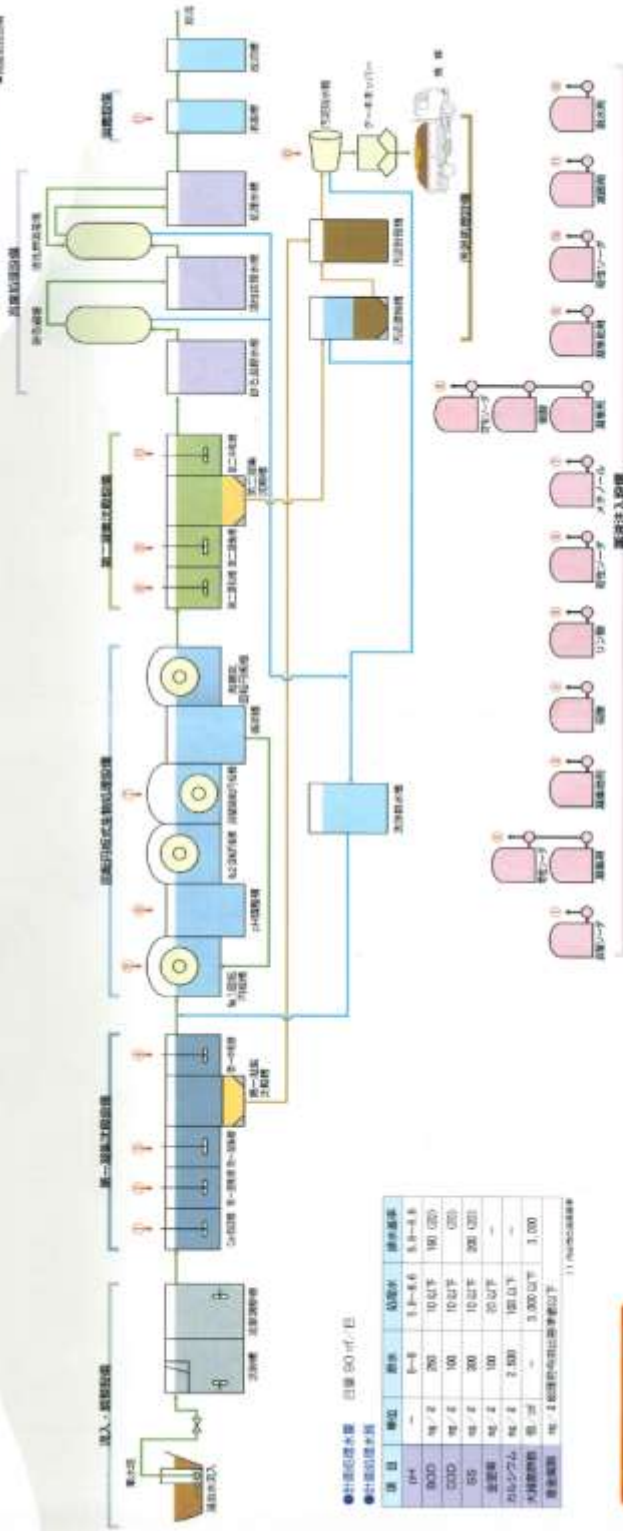
ア 個別施設の状態等

(ア) 施設の概要

施設名称	富士宮市一般廃棄物鞍骨沢最終処分場	
施設所管	富士宮市	
所在地	富士宮市北山 7430 番地の 849	
施設規模	埋立面積	16,714 m <sup>2</sup>
	埋立容量	106,289 m <sup>3</sup>
建設年月	着工	平成 8 年 9 月
	竣工	平成 10 年 3 月
建設費	1,817,950 千円	
埋立方式	セル方式&サンドイッチ方式	
埋立対象	焼却残渣	
埋立期間	平成 10 年度から令和 11 年度	
浸出水処理設備	日処理能力	90 m <sup>3</sup>
	調整容量	2,200 m <sup>3</sup>
	処理方式	カルシウム除去、生物処理、凝集沈殿、高度処理
処理工程	流出水処理フロー 参照	

### 流出水処理フローシート

この施設は、県立地からの流出水を、  
 浄化した後、排水処理まで処理し、  
 定期的に基準以下の清浄な処理水として  
 放出するためのものです。



●計量処理水量 日量 50 m<sup>3</sup>/日  
 ●計量処理水量

項目	単位	標準	処理後	処理基準
pH	-	6~8	6.5~8.5	6.5~8.5
BOD	mg/L	200	10以下	100 (20)
COD	mg/L	100	10以下	200 (20)
SS	mg/L	200	10以下	200 (20)
窒素	mg/L	100	10以下	-
リン	mg/L	2.0	0.1以下	0.1以下
濁度	FTU	-	3.00以下	3.00

1) 汚濁処理基準

### 流出水処理工程の概要

- 流入・調整池**  
 流入水の水質を安定させるため、調整池で滞留させます。
- 第一二次生物処理設備**  
 汚水に存在する有機物を分解し、COD、BOD、SSを削減します。また、活性汚泥法による生物処理を行います。
- 三次沈降槽**  
 第一二次生物処理後の水は、三次沈降槽で沈降させ、上澄み水をろ過槽へ送ります。
- ろ過槽**  
 三次沈降槽からの水をろ過槽でろ過し、濁度を低減させます。
- 活性炭吸着槽**  
 ろ過後の水を活性炭吸着槽で処理し、色度、臭気、残留有機物を低減させます。
- 消毒槽**  
 紫外線殺菌装置を用いて、水中の細菌を殺菌し、衛生基準を満たします。
- 浄水タンク**  
 処理後の水を浄水タンクに貯留させ、配水ポンプで配水します。
- 配水ポンプ**  
 浄水タンクからの水を配水ポンプで配水します。
- 流出水**  
 処理後の水を流出水として放出します。

図 4-21 流出水処理フロー

(イ) 建築物等

a 劣化状況調査結果

表 4-55 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気					機械							
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
鞍骨沢最終処分場	浸出水処理施設	令和4年度長寿命化改修実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
鞍骨沢最終処分場	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後 28 年が経過しています。</li> <li>・ 令和 4 (2022) 年度に浸出水処理施設の長寿命化改修を実施しました。</li> <li>・ 焼却灰を全てリサイクルすることで延命化を図っています。</li> </ul>
	課題	・ 特にありません。

c 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度
鞍骨沢最終処分場	浸出水処理施設	令和4年度長寿命化改修(建築・機械・電気)	—	—	—

※ 過去 10 年間(平成 28(2016)~令和 7(2025)年度)に実施した 500 万円以上の改修工事を記載

注) 実施計画は毎年見直すものとする。

d 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積(m <sup>2</sup> )	第1次再編計画 2022~2025	第2次再編計画 2026~2035	第3次再編計画 2036~2045	第4次再編計画 2046~2055
鞍骨沢最終処分場	1,089.10				→

凡例) 適切な維持管理の実施: →

(ウ) 設備・機器

a 健全度評価

各設備・機器の状態を把握するため、表 4-56 に示す精密機能検査を実施し、各設備・機器の健全度を評価しました。健全度は、表 4-57 に基づき 4 段階に分けて判定しました。結果については、184 ページ以降の「表 4-60 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-56 精密機能検査方法

区分	検査方法
土木・建築設備	外観検査、水槽検査、軽打音検査、書類検査
機械設備・配管弁設備	外観検査、異音検査、触診検査、書類検査
電気計装	外観検査

表 4-57 健全度判定基準

健全度	状態	措置
4	支障なし。	対処不要
3	軽微な劣化があるが、機能に支障なし。	経過観察
2	劣化が進んでいるが、機能回復が可能である。	部分補修・部品交換
1	劣化が進み、機能回復が困難である。	全交換

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き (その他の施設編) (平成 27 年 3 月改訂)」より出典

b 現状と課題

施設名称	現状と課題	
鞍骨沢最終処分場	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竣工から 28 年が経過しています。</li> <li>・ ごみ焼却により発生した焼却灰等の埋立処理を行っています。</li> <li>・ 残余容量のひっ迫に伴い、ごみの減量化・資源化によるごみ排出量の削減に取り組むとともに、平成 23 (2011) 年度から焼却灰等の一部を外部委託し、さらに令和 6 年度からは、全量を外部委託により資源化処理し、埋立地の延命化を図っています。</li> <li>・ 埋立地に降った雨水は、隣接する浸出水処理施設で処理を行い、清浄な処理水として河川に放流しています。</li> <li>・ 浸出水処理施設の設備・機器は老朽化が進行しており、毎年応急的な修繕を行っています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸出水処理施設は、今後老朽化する施設の維持管理及び修繕を計画的かつ効率よく進めていく必要があります。</li> </ul>

### c 重要度評価

効果的に施設を保全管理していくために、設備・機器の重要性を表 4-58 に基づき評価しました。結果については、184 ページ以降の「表 4-60 設備・機器別管理基準」に示すとおりです。

表 4-58 重要度判定基準

重要度	状態
A	故障した場合に施設の運転停止に結びつく設備・機器
B	故障した場合でも、予備機で対応することができるなど、ある程度の冗長性を有するもの 施設の運転に重要で、修繕に日数を要し、かつ、高価な設備・機器
C	A及びBに分類されるもの以外の設備・機器

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き (その他の施設編) (平成 27 年 3 月改訂)」より出典

### d 設備・機器の保全方式

設備・機器に対する保全方式は、それぞれの重要度に応じて表 4-59 に示す保全方式から選定します。

表 4-59 保全方式

保全方式		保全方式選定の留意点	設備・機器例
	事後保全 (BM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>故障してもシステムを停止せず容易に保全可能なもの</li> <li>保全部材の調達容易なもの</li> </ul>	照明装置、予備系列のあるポンプ類
予防保全 (PM)	時間基準保全 (TBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な劣化の兆候を把握が難しい、又はパッケージ化されて消耗部のみのメンテナンスが難しいもの</li> <li>構成部品に特殊部品があり、その調達期限があるもの</li> </ul>	コンプレッサ、ブロワ等回転機器類、電気計装部品、電気基板等
	状態基準保全 (CBM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>摩耗、破損、性能劣化が、日常稼働中又は定期点検において、定量的に測定又は比較的容易に判断できるもの</li> </ul>	爽雑物除去装置、汚泥脱水機など予備系列のない大型機器の摩耗、RC 製水槽類の劣化・腐食等

注) 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き (その他の施設編) (平成 27 年 3 月改訂)」より出典

e 設備・機器別管理基準

設備・機器の健全度、重要度及び保全方式を踏まえて、表 4-60 のとおり設備・機器別管理基準を定めました。

表 4-60 設備・機器別管理基準 (1 / 3)

設備	設備機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	日課耐用年数	
					A	B	C	RM	TSM	CM					
流入・調整設備	集水塔 (1 槽) 流入ゲート		腐食・変形・スケール付着	4	○					○	① 著しい腐食変形がないこと ② 正常に開閉すること	腐食、変形状況 動作状況	3年	15~20年	
	取水ポンプ (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	除砂ポンプ (1 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	流量調整ポンプ (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	3	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	No.2 調整槽送水ポンプ (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	No.3 調整槽送水ポンプ (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	No.4 調整槽送水ポンプ (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	No.2 調整槽攪拌ポンプ (2 台)		腐食・液耗	-	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	No.3 調整槽攪拌ポンプ (2 台)		腐食・液耗	-	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	No.4 調整槽攪拌ポンプ (1 台)		腐食・液耗	-	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
No.1 調整槽攪拌ブロー (2 台)	1,2とも	摩耗	3	○						○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 性能が低下していないこと		3年	7~10年	
第1 福集沈殿代埋設備	Ca処理槽攪拌機 (1 台)		腐食・液耗	4	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	第1 混和槽攪拌機 (1 台)		腐食・液耗	4	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	第1 福集槽攪拌機 (1 台)		腐食・液耗	4	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	第1 福集沈殿槽汚泥掻き機 (1 台)		摩耗・腐食	4	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	摩耗、腐食状況	3年	10~15年	
	第1 中和槽攪拌機 (1 台)		腐食・液耗	4	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	第1 福集沈殿槽汚泥引放ポンプ (2 台)	1,2とも	摩耗・腐食	3	○						○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 性能が低下していないこと		2~3年	7~10年
	No.1 回転円板装置 (2 台)	2のみ	劣化・腐食	4	○						○	① 異常音・振動がないこと ② 正常に回転していること ③ 正常に回転していること ④ 著しい閉塞がないこと	メーカー基準値 劣化状況 閉塞状況	2~3年	7~10年
生物代埋設備	FH調整槽攪拌機 (2 台)		腐食・液耗	-	○					○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 著しい摩耗・腐食がないこと ③ 著しいスケール付着がないこと	腐食、液耗状況	3年	10~15年	
	No.2 回転円板装置 (2 台)	1,2とも	劣化・腐食	4	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 正常に回転していること ③ 正常に回転していること ④ 著しい閉塞がないこと	メーカー基準値 劣化状況 閉塞状況	2~3年	7~10年	
	脱氮回転円板装置 (2 台)	1,2とも	劣化・腐食	4	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 正常に回転していること ③ 正常に回転していること ④ 著しい閉塞がないこと	メーカー基準値 劣化状況 閉塞状況	2~3年	7~10年	
	循環ポンプ1系 (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	循環ポンプ2系 (2 台)		摩耗・腐食・スケール付着	-	○					○	① 異常音・振動がないこと ② 性能が低下していないこと ③ 著しいスケール付着がないこと		2~3年	7~10年	
	再曝気回転円板装置 (2 台)	1,2とも	劣化・腐食	3	○						○	① 異常音・振動がないこと ② 正常に回転していること ③ 正常に回転していること ④ 著しい閉塞がないこと	メーカー基準値 劣化状況 閉塞状況	2~3年	7~10年
	逆洗ブロー (2 台)	1,2とも	摩耗・腐食	3	○						○	① 異常音・振動・発熱がないこと ② 性能が低下していないこと		3年	7~10年

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-60 設備・機器別管理基準 (2/3)

設備	設備機器	対象箇所	診断項目	健全度	重要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TBM	CBM				
第2 基盤沈殿処理設備	第2 濃和槽攪拌機 (1台)		腐食・減耗	3	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗・腐食がないこと	腐食・減耗状況	3年	10~15年	
	第2 凝集槽攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗・腐食がないこと	腐食・減耗状況	3年	10~15年	
	第2 凝集沈殿槽汚泥掻き機 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと	摩耗・腐食状況	3年	10~15年	
	第2 中和槽攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗・腐食がないこと	腐食・減耗状況	3年	10~15年	
	第2 凝集沈殿槽汚泥引抜ポンプ (2台)		摩耗・腐食	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年	
高度処理設備	砂ろ過原水ポンプ (2台)		摩耗・腐食	-	○					①異常音・振動がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年	
	ろ過洗浄用空気弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと ②漏洩がないこと	摩耗・腐食状況 運転(閉鎖)状況	3年	10~15年	
	砂ろ過塔 (1基)		腐食・変形	4	○					①著しい腐食・変形がないこと	メーカー基準値	2~3年	10~15年	
	活性炭原水ポンプ (2台)		摩耗・腐食	-	○					①異常音・振動がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年	
	活性炭吸着装置 (2基)	A	腐食・変形	4	○					①著しい腐食・変形がないこと	メーカー基準値	2~3年	10~15年	
	逆洗ポンプ (2台)		摩耗・腐食	-	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		3年	7~10年	
汚泥処理設備	濃縮汚泥引抜ポンプ (1台)		摩耗・腐食	-	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年	
	第2 凝集沈殿槽スクラムニアリフト電動弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと ②漏洩がなく、正常に動作すること	摩耗・腐食状況 運転(閉鎖)状況	2~3年	7~10年	
	汚泥貯留槽攪拌機 (2台)		摩耗・腐食	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	3年	7~10年	
	汚泥供給ポンプ (2台)		摩耗・腐食	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年	
	脱水機 (1台)		腐食・摩耗	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②内部に傷・摩耗がないこと ③性能が低下していないこと	メーカー基準値	1~2年	7~10年	
	汚泥供給ポンプ入口電動弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと ②漏洩がなく、正常に動作すること	摩耗・腐食状況 運転(閉鎖)状況	2~3年	7~10年	
	汚泥供給ポンプ洗浄水弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと ②漏洩がないこと	摩耗・腐食状況 運転(閉鎖)状況	3年	10~15年	
	脱水機洗浄水弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					①著しい摩耗・腐食がないこと ②漏洩がないこと	摩耗・腐食状況 運転(閉鎖)状況	3年	10~15年	
	ケーキホッパー (1台)	1	摩耗・腐食	3	○					①著しい発熱・腐食・摩耗がないこと	腐食・摩耗状況 運転状況	2~3年	7~10年	
薬品注入設備	炭酸ソーダ定量供給機 (1台)		劣化・腐食	4	○					①異常音・振動がないこと ②著しい劣化・腐食がないこと	劣化・腐食状況	3年	7~10年	
	炭酸ソーダ攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗・腐食がないこと	腐食・減耗状況	3年	10~15年	
	炭酸ソーダポンプ (2台)		劣化・腐食	4	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	リン酸希釈槽攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗・腐食がないこと	腐食・減耗状況	3年	10~15年	
	リン酸注入ポンプ (3台)		劣化・腐食	4	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	メタノール注入ポンプ (3台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	塩化第二鉄注入ポンプ30cc (1台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	塩化第二鉄注入ポンプ70cc (2台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	苛性ソーダ注入ポンプ41cc (2台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	苛性ソーダ注入ポンプ84cc (1台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	
	苛性ソーダ注入ポンプ109cc (1台)	全台	劣化・腐食	3	○					異常音・振動がないこと	劣化・潤滑状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年	

注) 健全度の「-」は、健全度調査対象外の設備・機器

表 4-60 設備・機器別管理基準 (3/3)

設備	設備機器	対象箇所	診断項目	健全度	電要度			保全方式			診断方法	管理値例	診断頻度	目標耐用年数
					A	B	C	BM	TBM	CBM				
薬品注入設備	苛性ソーダ注入ポンプ62cc (3台)	全台	劣化・腐食	3	○					○	異常音・振動がないこと	劣化、薬食状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年
	硫酸注入ポンプ88cc (1台)		劣化・腐食	4	○					○	異常音・振動がないこと	劣化、薬食状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年
	硫酸注入ポンプ132cc (2台)	全台	劣化・腐食	4	○					○	異常音・振動がないこと	劣化、薬食状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年
	高分子凝集剤攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗、腐食がないこと	腐食、減耗状況	3年	10~15年
	高分子凝集剤注入ポンプ125cc (3台)		劣化・腐食	4	○					○	異常音・振動がないこと	劣化、薬食状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年
	脱水助剤定量供給機 (1台)		劣化・腐食	4	○					○	①異常音・振動がないこと ②著しい劣化、腐食がないこと	劣化、腐食状況	3年	7~10年
	脱水助剤攪拌機 (1台)		腐食・減耗	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②著しい摩耗、腐食がないこと	腐食、減耗状況	3年	10~15年
	脱水助剤注入ポンプ (2台)		劣化・腐食	4	○					○	異常音・振動がないこと	劣化、薬食状況 性能(吐出量)状況	3年	7~10年
共通設備	井戸ポンプ (1台)		摩耗・腐食	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと	メーカー基準値	2~3年	7~10年
	自動給水装置ポンプ (1式)	1	摩耗・腐食	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年
	自動給水装置給水弁 (1台)		摩耗・腐食	4	○					○	①著しい摩耗、腐食がないこと ②漏れがないこと	摩耗、薬食状況 運転(閉鎖)状況	3年	10~15年
	コンプレッサー (1台)		劣化	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年
	排水ポンプ (2台)	1,2とも	摩耗・腐食	4	○					○	①異常音・振動・発熱がないこと ②性能が低下していないこと		2~3年	7~10年
電気計装設備	受変電設備盤		外観・絶縁抵抗測定	3	○					○	①絶縁抵抗測定による絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	①電技解釈による基準値	1年	15~20年
	中央監視盤		動作確認	3	○					○	動作が正常であること		1~2年	15~20年
	現場操作盤		動作確認	3	○					○	動作が正常であること		1~2年	15~20年





表4-61 整備履歴 (3/4)

設備 名称	設備・機器	整備内容																				
		平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)											
汚泥処理設備	汚泥槽 (1槽)																					
	貯泥槽 (1槽)																					
	汚泥脱水機 (1槽)																					
	濃縮汚泥引込ポンプ (1台)																					
	薬液濃度調整 システムエアリフト駆動弁 (1台)																					
	汚泥貯留槽 (1槽)																					
	汚泥貯留槽押機 (2台)																					
	汚泥供給ポンプ (2台)																					
	脱臭機 (1台)	水10-9-3スタート 故障																				
	汚泥供給ポンプ入口駆動弁 (1台)																					
汚泥供給ポンプ洗浄弁 (1台)																						
脱臭機洗浄弁 (1台)																						
クーラユニット (1台)																						
脱臭タンク自動溶剤設置 (1槽)																						
脱臭タンクホッパー (1槽)																						
脱臭タンク足量供給機 (1台)																						
脱臭タンク乾燥機 (1台)																						
脱臭タンクポンプ (2台)																						
脱臭タンクポンプ (2台)																						
タンク (1槽)																						
タンク昇降機押機 (1台)																						
タンク投入ポンプ (3台)																						
メタノールタンク (1槽)																						
メタノールタンク投入ポンプ (3台)																						
塩化第二鉄タンク (1槽)																						
塩化第二鉄注入ポンプ30cc (1台)																						
塩化第二鉄注入ポンプ70cc (2台)																						
苛性ソーダタンク (1槽)																						
苛性ソーダ投入ポンプ40cc (2台)																						
苛性ソーダ投入ポンプ80cc (1台)																						
苛性ソーダ投入ポンプ100cc (1台)																						
苛性ソーダ投入ポンプ60cc (3台)																						
硫酸タンク (1槽)																						

注) 主要設備・機器に対して、過去10年(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施したすべての補修・整備を記載





表 4-62 整備計画 (2 / 2)

設備	設備・機器	設置箇所	●:更新、○:増設、◎:廃止														
			令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)	令和15年度 (2033)	令和16年度 (2034)	令和17年度 (2035)					
汚水処理設備	浄化槽引込ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第2浄化槽浮上ポンプ モーター駆動機 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	浄化槽浮上ポンプ駆動機 (2台)		-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	
	汚泥集積ポンプ (2台)		-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水機 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥集積ポンプ入口電動弁 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥集積ポンプ洗浄弁 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水機洗浄弁 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ケーシングカバー (1台)	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汚泥ソーダ送給機 (1台)		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
薬品注入設備	汚泥ソーダ機 (1台)		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥ソーダポンプ (2台)		-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	
	汚泥集積機 (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥集積機 (3台)		-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	メタノール注入ポンプ (3台)		-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	
	塩化第二鉄注入ポンプ20cc (1台)		●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
	塩化第二鉄注入ポンプ70cc (2台)		●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
	亜硫酸ソーダ注入ポンプ40cc (2台)		●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
	亜硫酸ソーダ注入ポンプ40cc (1台)		●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
	亜硫酸ソーダ注入ポンプ400cc (1台)		-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	
薬品注入ポンプ	汚泥ソーダ注入ポンプ60cc (3台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥注入ポンプ30cc (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥注入ポンプ100cc (2台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	汚泥注入ポンプ20cc (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ100cc (3台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ20cc (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ100cc (3台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ100cc (3台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ100cc (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬品注入ポンプ100cc (3台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
排水設備	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
排水設備	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	排水ポンプ (1台)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 14. 市立病院

表 4-63 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士宮市立病院	本館	昭和61年10月(1986.10)	39	5	—	17,938.38	SRC+RC	I a
	南棟	平成15年 5月(2003. 5)	22	4	—	2,011.57	RC	I a
	地域包括ケア病棟	令和元年 8月(2019. 7)	6	2	—	1,870.20	RC	I a
	医師住宅	昭和61年 3月(1986. 3)	40	4	—	1,145.36	RC	I b
	MRI棟	平成 4年 6月(1992. 6)	33	2	—	746.01	RC	I a
	中央倉庫	昭和61年11月(1986.11)	39	2	—	299.79	RC	I a
	保育所	昭和61年10月(1986.10)	39	1	—	112.62	W	I b
	別館1事務所	昭和61年 2月(1986. 2)	40	4	—	2,149.72	RC	I b
	別館1倉庫	昭和61年 2月(1986. 2)	40	2	—	222.75	S	I b
	別館2	昭和56年 4月(1981. 4)	44	2	—	230.17	S	I b

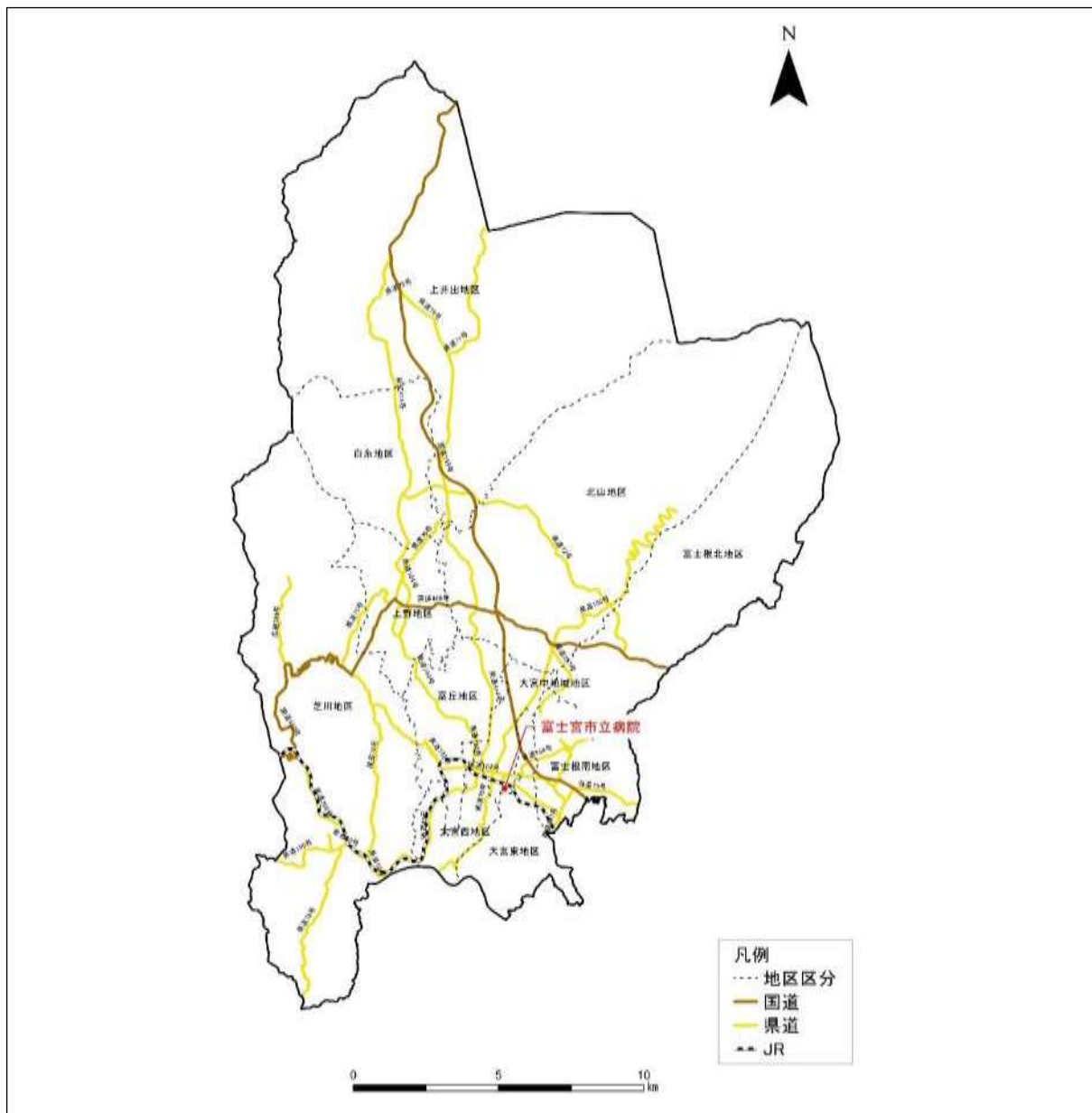


図 4-22 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

表 4-64 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制震
富士宮市立病院	本館	B	E	E	E	A	-	A	A	A	A	A	C	B	A	-	B	A
	南棟	A	E	E	A	-	-	A	A	A	A	A	B	B	A	A	B	-
	地域包括ケア病棟	令和元年度竣工のため未実施																
	医師住宅	A	A	D	-	-	-	-	-	-	-	-	C	-	-	-	A	-
	MRI棟	B	E	D	A	-	-	A	A	-	-	-	-	A	-	-	B	A
	中央倉庫	B	E	E	A	-	-	A	A	-	-	-	A	A	A	-	B	-
	保育所	B	C	E	-	-	-	A	-	-	-	-	A	-	-	-	A	-
	別館1事務所	D	D	D	E	-	-	A	E	A	B	-	D	B	A	-	E	A
	別館1倉庫	B	E	E	-	-	-	A	-	-	-	-	-	-	-	-	E	-
	別館2	B	C	E	-	-	-	-	E	-	-	-	A	-	E	-	C	-

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士宮市立病院	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後6～44年が経過しています。</li> <li>・ 市立病院の機能の強化・拡充を図るため、令和元(2019)年度に地域包括ケア病棟を増築しました。</li> <li>・ 現在の建築物は、建築当時の医療法基準で作られているため、現在の基準に不適合な部分があることや狭隘等により、新たな部門の新設等が困難な状況となっています。</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 品質<sup>*</sup>及び機能<sup>*</sup>ともに課題があるため、施設の在り方を優先的に検討する必要があります。</li> </ul>

※ 品質とは、再編計画で用いた施設評価指標(築年数、耐震性、バリアフリー対応状況)

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標(立地特性、年間収支状況、施設利用率)

(2) 対策の内容と実施時期


ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士宮市立病院	本館	平成28年度空調設備改修【人工透析系系統】	施設改修等配置検討 委託料 20,328千円	施設改修等配置検討 委託料 8,712千円	—
		平成28年度ボイラー改修			
		平成29年度冷却塔改修			
		平成29年度エレベータ改修			
		平成29年度外壁改修			
		平成30年度外壁改修			
		平成30年度中央監視設備改修			
		平成30年度直流電源設備改修			
		令和元年度冷温水発生機改修			
		令和3年度高架水槽改修			
		令和3年度1階照明LED化改修			
		令和4年度1階照明LED化改修			
	令和4年度揚水ポンプ更新				
令和5年度2階照明LED化改修					
令和5年度消火栓、スプリンクラー設備更新					
令和6年度2階照明LED化改修					
令和6年度3B病棟浴室・トイレ改修					
令和7年度3,4,5階照明LED化改修					
令和7年度井戸ポンプ更新					
	南棟	平成30年度外壁改修			—
		令和元年度外壁改修			
		令和4年度南棟空調機更新			
	地域ケア 包括棟	—			—
	MRI棟	—			—
	医師住宅	—	—	長寿命化改修 (機械) 82,000千円	長寿命化改修 (建築) 57,000千円
	中央倉庫	—	—	—	—
	保育所	—	—	—	—
	別館1事務所	—	—	—	—
	別館1倉庫	—	—	—	—
	別館2	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士宮市立病院	26,726.57		医師住宅の長寿命化改修を実施	他医療機関との連携・機能分担、施設改修等の大規模リノベーション等による配置の適正化	更新

凡例) 適切な維持管理の実施 : 

15. その他

表 4-65 対象施設

施設名称	棟名称	完成年月	築年数	地上	地下	延床面積 (㎡)	構造	耐震性能 (ランク)
富士山環境交流プラザ	事務棟	平成21年10月(2009.10)	16	2	-	441.41	RC+S	I b
白糸自然公園	白糸ふれあいホール	平成 2年 2月(1990. 2)	36	1	-	695.00	SRC+S	I a
	作業所	昭和56年12月(1981.12)	44	2	-	258.39	S	I b
	車庫	昭和63年 3月(1988. 3)	38	1	-	148.12	S	I b
若者チャレンジ支援施設	本館	平成 3年 3月(1991. 3)	35	4	-	444.36	RC	I b

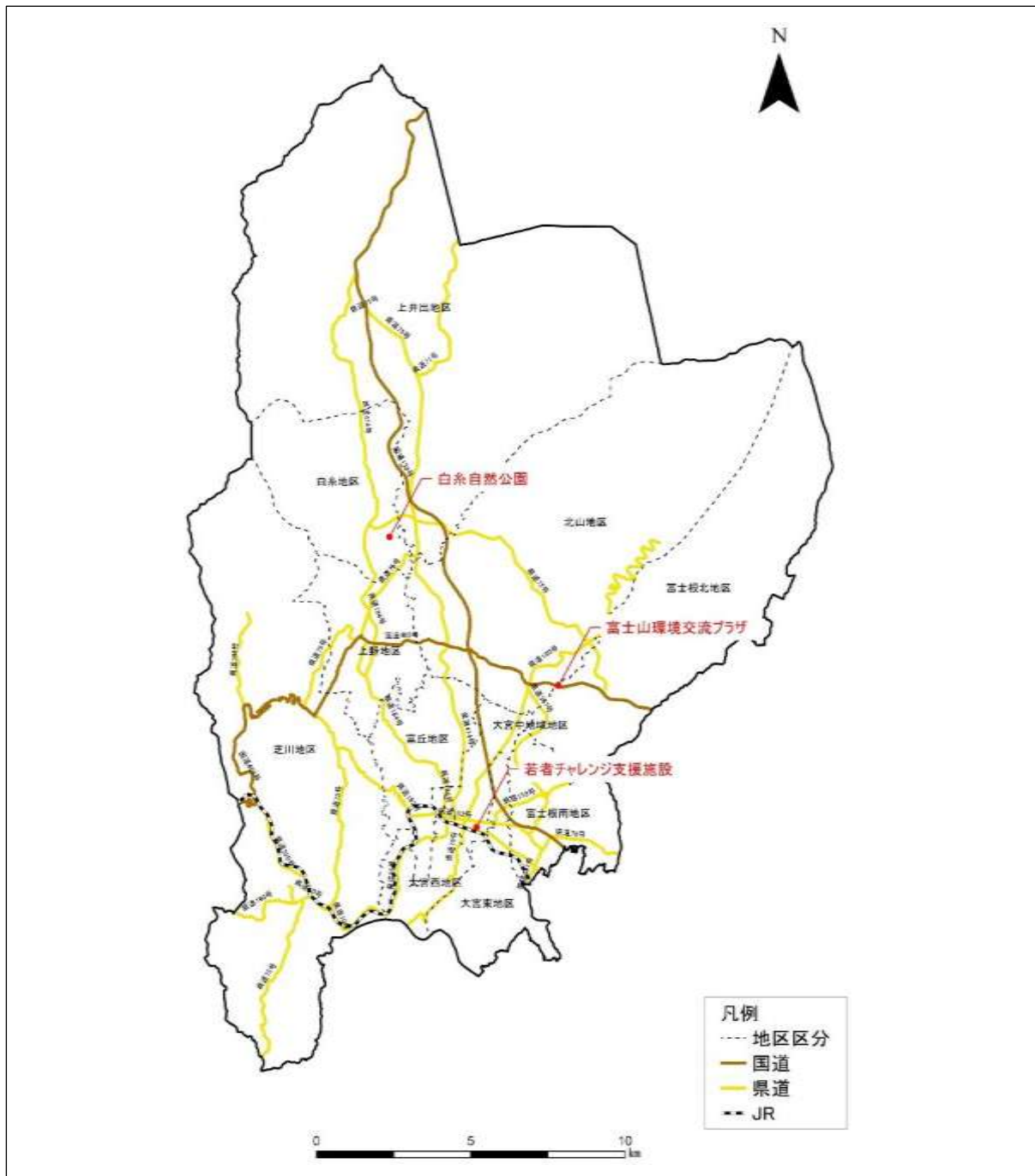


図 4-23 位置図

(1) 個別施設の状態等

ア 劣化状況

(ア) 劣化状況調査結果

表 4-66 施設の劣化状況調査結果

施設名称	棟名称	建築				電気							機械					
		躯体	屋根	外部	その他	監視	通信	通信(防)	電力	発電	受変電	避雷	衛生	消火	昇降機	排煙	空調	制御
富士山環境交流プラザ	事務棟	B	A	E	B	-	-	A	A	-	-	-	-	-	-	-	A	-
白糸自然公園	白糸ふれあいホール	C	A	D	-	-	-	A	A	-	-	-	A	-	-	-	E	-
	作業所	C	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	-	-	E	-
	車庫	B	C	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
若者チャレンジ支援施設	本館	令和5年度に取得したため未実施																

注1) 令和2(2020)年度実施の劣化状況調査による。

注2) 評価方法等はP.4参照。表中の「-」は該当項目なし。また、部位の劣化度は最も悪いものを記載

イ 現状と課題

施設名称	現状と課題	
富士山環境交流プラザ	現状	・ 建築後 16 年が経過しています。
	課題	・ 機能※に課題があるため、維持管理・運営の効率化による行政サービスの改善の検討が必要です。
白糸自然公園	現状	・ 建築後 36～44 年が経過しています。 ・ 運営は、民間委託により行われています。
	課題	・ 特にありません。
若者チャレンジ支援施設	現状	・ 建築後 35 年が経過しています。 ・ 現在は 3 年間の若者チャレンジ支援施設としての実証実験中であり、開設から 1 年が経過した状態です。
	課題	・ 機能に課題があるため、維持管理・運営の効率化、多機能化による行政サービスの改善の検討が必要です。

※ 機能とは、再編計画で用いた施設評価指標（立地特性、年間収支状況、施設利用率）

## (2) 対策の内容と実施時期

### ア 改修履歴と実施計画

施設名称	棟名称	改修履歴*	令和8(2026)	令和9(2027)	令和10(2028)
富士山環境交流プラザ	事務棟	—	—	—	—
白糸自然公園	白糸ふれあいホール	—	—	—	—
	作業所	—	—	—	—
	車庫	—	—	—	—
若者チャレンジ支援施設	本館	—	—	—	—

※ 過去10年間(平成28(2016)～令和7(2025)年度)に実施した500万円以上の改修工事を記載  
注) 実施計画は毎年見直すものとする。

### イ 中・長期ロードマップ

施設名称	延べ床面積 (㎡)	第1次再編計画 2022～2025	第2次再編計画 2026～2035	第3次再編計画 2036～2045	第4次再編計画 2046～2055
富士山環境交流プラザ	441.41				→
白糸自然公園	1,101.51				→
若者チャレンジ支援施設	444.36				→

凡例) 適切な維持管理の実施: →

## 第5章 中長期における更新費用の推計等

### 1. 中長期の更新費用の推計

対象施設の今後31年間に掛かる更新費用（中間期に長寿命化改修）について、従来型、長寿命化型、長寿命化・再編型の3つのケースを試算します。

試算は、総合管理計画と同様に、総務省が提供する「更新費用試算ソフト」の考え方を採用しています。また、改修・更新単価については、「更新費用試算ソフト」に用いる単価や市の実績値を考慮した単価に、建設物価指数<sup>\*</sup>を反映しています。

<sup>\*</sup> 建設物価指数とは、建設工事に必要な「資材価格」「労務費」などの変動を数値化した指標。

表5-1 更新費用推計に使用した主な試算条件（従来型）

更新等の条件	施設分類	大規模改修単価	更新単価
建築後40年で、同規模で建替え (中間期に大規模改修を実施)	地域活性化施設、社会教育施設	151 千円/m <sup>2</sup>	575 千円/m <sup>2</sup>
	スポーツ施設、観光・産業施設	137 千円/m <sup>2</sup>	493 千円/m <sup>2</sup>
	小・中学校、その他学校施設	123 千円/m <sup>2</sup>	452 千円/m <sup>2</sup>
	医療・保健・福祉施設、市立病院	151 千円/m <sup>2</sup>	534 千円/m <sup>2</sup>
	児童クラブ、保育園	151 千円/m <sup>2</sup>	534 千円/m <sup>2</sup>
	庁舎施設、消防施設	164 千円/m <sup>2</sup>	603 千円/m <sup>2</sup>
	環境・衛生プラント施設	164 千円/m <sup>2</sup>	589 千円/m <sup>2</sup>
	その他	164 千円/m <sup>2</sup>	589 千円/m <sup>2</sup>

表5-2 更新費用推計に使用した主な試算条件（長寿命化型、長寿命化・再編型）

更新等の条件	施設分類	長寿命化改修単価	更新単価
建築後70年で、同規模で建替え (中間期に長寿命化改修を実施)	地域活性化施設、社会教育施設	397 千円/m <sup>2</sup>	575 千円/m <sup>2</sup>
	スポーツ施設、観光・産業施設	356 千円/m <sup>2</sup>	493 千円/m <sup>2</sup>
	小・中学校、その他学校施設	315 千円/m <sup>2</sup>	452 千円/m <sup>2</sup>
	医療・保健・福祉施設、市立病院	411 千円/m <sup>2</sup>	534 千円/m <sup>2</sup>
	児童クラブ、保育園	411 千円/m <sup>2</sup>	534 千円/m <sup>2</sup>
	庁舎施設、消防施設	397 千円/m <sup>2</sup>	603 千円/m <sup>2</sup>
	環境・衛生プラント施設	315 千円/m <sup>2</sup>	589 千円/m <sup>2</sup>
	その他	315 千円/m <sup>2</sup>	589 千円/m <sup>2</sup>

### (1) 従来型の更新費用の推計

更新周期を40年とした従来型の更新費用は、令和38年度までの31年間で総額1,883.2億円、1年あたり60.7億円となる見込みです。

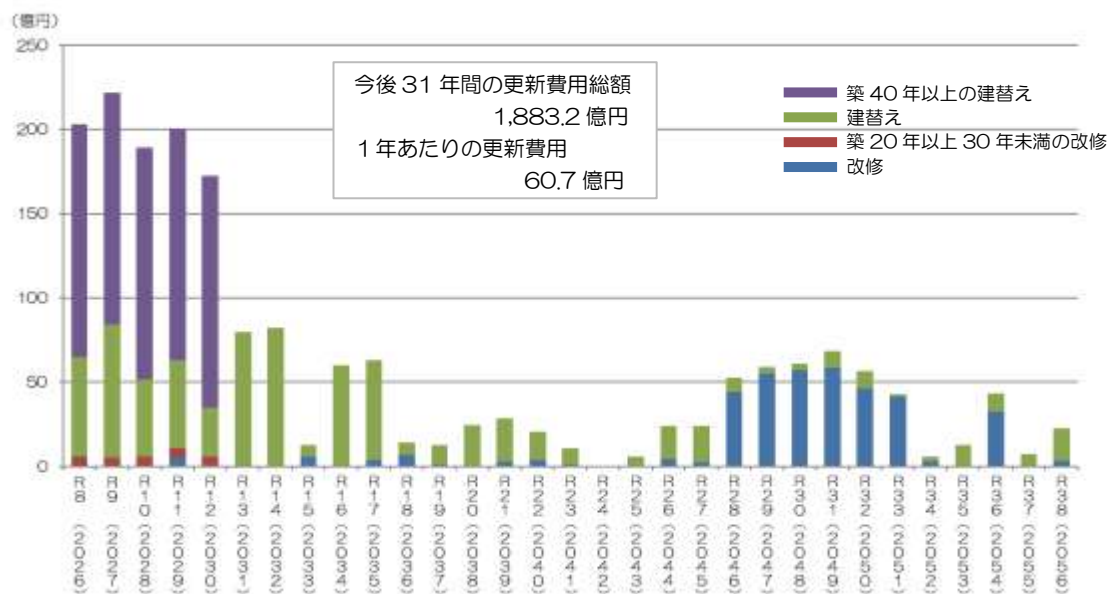


図5-1 更新費用の推計（従来型）

### (2) 長寿命化型の更新費用の推計

更新周期を70年とした長寿命化型の更新費用は、令和38年度までの31年間で総額1,005.5億円、1年あたり32.4億円となる見込みです。



図5-2 更新費用の推計（長寿命化型）

### (3) 長寿命化・再編型の更新費用の推計

更新周期を 70 年とする長寿命化に加え、更新時に延床面積を 30%縮減する再編を反映した長寿命化・再編型の更新費用は、令和 38 年度までの 31 年間で総額 775.1 億円、1 年あたり 25.0 億円となる見込みです。



図 5-3 更新費用の推計（長寿命化・再編型）

## 2. 効果検証

従来型から長寿命化型への転換によって、今後 31 年間で 877.7 億円、46.6%の更新費用の削減、さらに、長寿命化・再編型では、今後 31 年間で 1,108.1 億円、58.8%の更新費用が削減される結果となりました。

表 5-3 今後 31 年間の更新費用の比較

	条件	更新費用の総額	年間平均更新費用	費用の削減効果
従来型	耐用年数 40 年	1,883.2 億円	60.7 億円/年	
長寿命化型	耐用年数 70 年	1,005.5 億円	32.4 億円/年	877.7 億円 (▲46.6%)
長寿命化・再編型	耐用年数 70 年 床面積 30%縮減	775.1 億円	25.0 億円/年	1,108.1 億円 (▲58.8%)

## 第6章 長寿命化等の継続的運用方針

### 1. 情報管理

公共建築物の情報の一元管理と、全庁的な情報共有が可能となるシステムとして既に「富士宮市公共建築物管理システム」を導入しています。

本システムには、公共建築物に関する基本データが登録されていますが、今後、再編を検討する際に必要となるデータ及びシステム機能の充実を検討します。

また、固定資産の評価額等といった資産情報については、別途導入している固定資産台帳管理システム等を併せて活用します。

### 2. 計画の推進体制

#### (1) 全庁的な取組体制

庁内の取組体制として、行政改革推進本部の下部組織である資産活用検討部会及び公共施設再編専門部会を活用し、公共施設の再編に関する具体的事項の企画立案、関係部局との連絡調整等を行います。

また、個別施設計画の推進に当たっては、施設所管課と連携を図りながら、個別施設計画の進捗管理・見直し事項の検討、庁内の意識啓発等を行います。

#### (2) 市民との連携

公共施設の再編は、市民生活との関わりが深いことから、公共施設に関する市民ニーズの把握に努めるとともに、公共施設の現状と今後の課題について、市民への情報提供を積極的に行うことで問題意識の共有を図り、市民と共に議論を重ねて取り組みます。

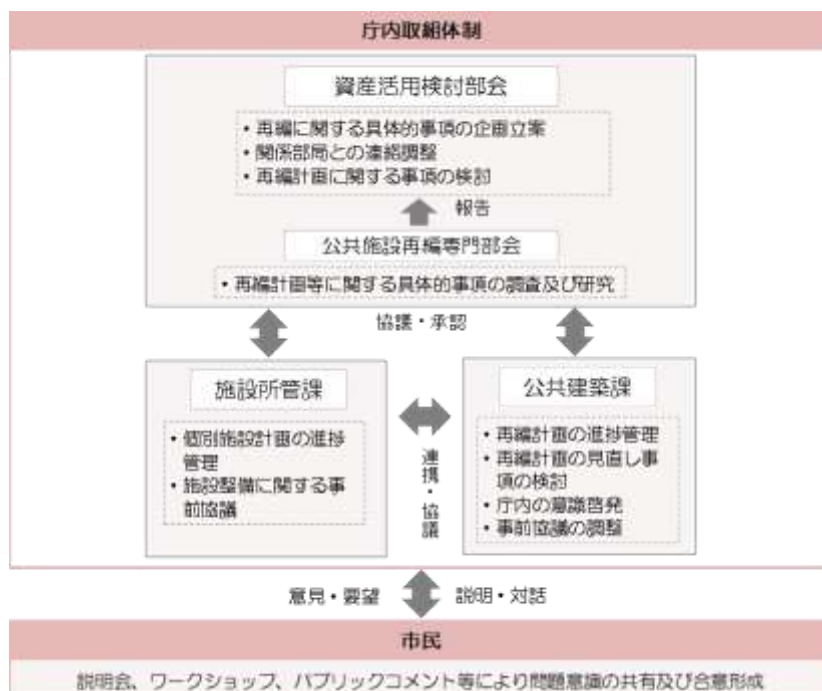


図 6-1 計画の取組体制

### 3. PDCA サイクルの推進方針

個別施設計画は、図 6-2 のとおり PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクル<sup>\*</sup>の手法に基づいた進捗管理を実施し、継続的かつ着実に進めます。

※ Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の4段階のプロセスを循環させ、業務を継続的に改善していくマネジメント手法の1つ

また、再編計画の見直しに合わせて、市民ニーズ、社会情勢等の変化に沿った個別施設計画の見直しを検討します。

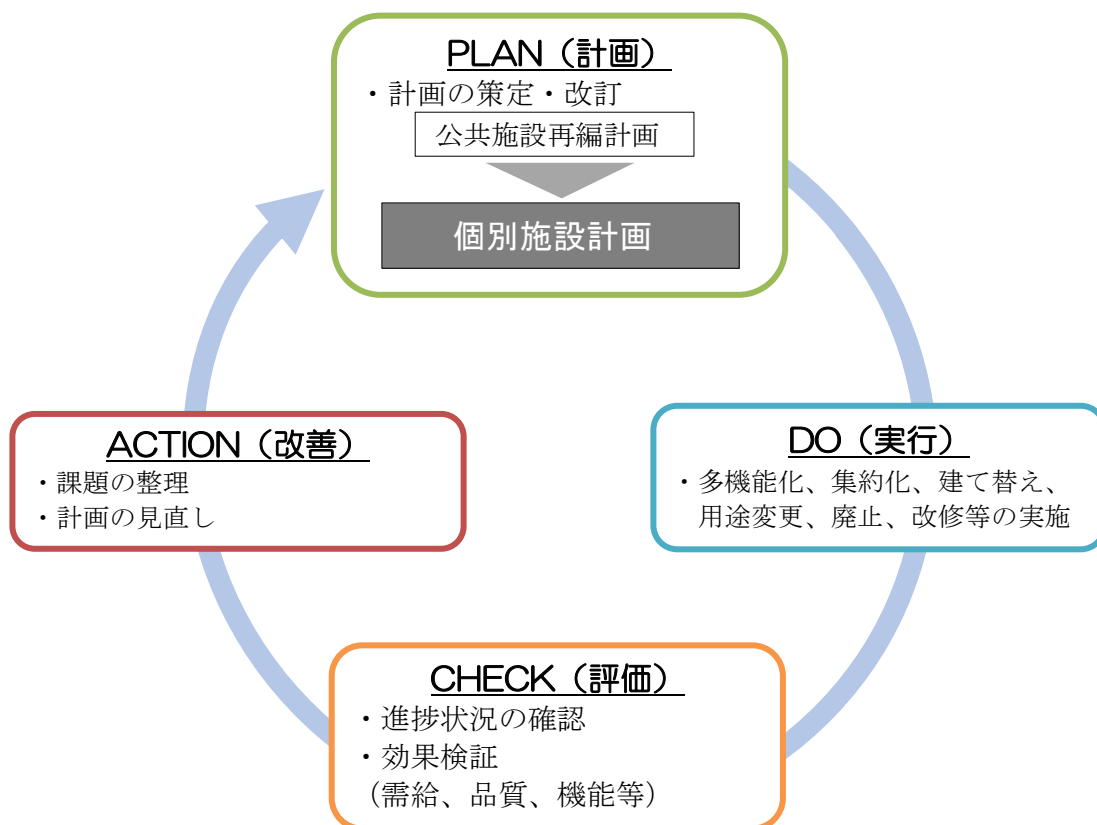


図 6-2 個別施設計画の PDCA サイクル